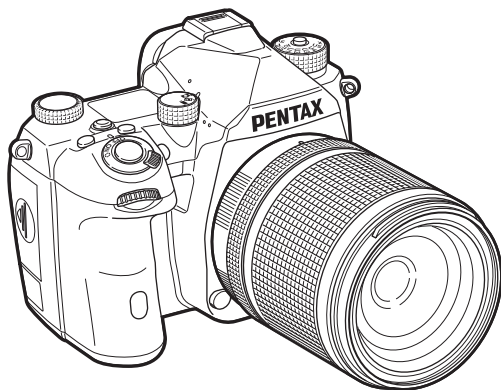


# PENTAX

デジタル一眼レフカメラ

## K-3 III

使用説明書



Model No. R03010

基礎知識 1

準備 2

撮影 3

再生 4

共有 5

設定 6

付録 7

この使用説明書には、本カメラを使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に本書を最後までお読みください。本書が必要になったときにすぐに利用できるよう、お読みになった後は必ず保管してください。ご使用にあたっては、カメラのファームウェアを常に最新の状態でしておくことをお勧めします。最新のファームウェアの詳細については、ファームウェアダウンロードページをご参照ください。

<http://www.ricoh-imaging.co.jp>

リコーイメージング株式会社

## ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



**警告** このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



**注意** このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

## 本体について



### 警告

- ・カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- ・落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- ・太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- ・レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- ・使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



### 注意

- ・本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。
- ・万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- ・お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

## USB電源アダプターについて



### 警告

- ・電源プラグにはほりこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ・使用中に異常な音が出るとき、煙が出るときなどの不具合がある場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げ店または修理受付センターまで連絡してください。機器が故障したり、不具合のまま使用しないでください。
- ・雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



### 注意

- ・電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。

## 別売バッテリー充電器／ACアダプターについて

### ⚠ 警告

- ・別売のバッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- ・分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ・使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- ・電源プラグにはこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

### ⚠ 注意

- ・ACコードの上に重い物を載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- ・コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

## バッテリーについて

### ⚠ 警告

- ・バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

### ⚠ 注意

- ・本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- ・バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- ・万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- ・バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- ・バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- ・バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ・発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
  1. カメラ本体か別売の専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
  2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
  3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

## カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

### ⚠ 警告

- ・カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
  1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
  2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
  3. バッテリーや SD メモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

## 1

### K-3 Mark IIIの基礎知識 ..... p.8

K-3 Mark IIIの全体像を紹介しています。  
まずここを読んでK-3 Mark IIIを知ろう！

- 同梱品を確認しましょう ..... p.8
- 各部の名称と機能 ..... p.9
- 撮影情報の表示 ..... p.12
- 機能の設定方法 ..... p.18
- メニュー一覧 ..... p.22

## 2

### 準備しましょう ..... p.37

K-3 Mark IIIを使えるようにするための準備と基本操作を説明しています。

- ストラップの取り付け ..... p.37
- レンズの取り付け ..... p.37
- バッテリーのセット ..... p.38
- メモリーカードのセット ..... p.41
- 初期設定 ..... p.42
- 撮影のキホン ..... p.44
- 画像の確認 ..... p.47

## 3

### いろいろな写真を撮影してみましょう ..p.48

カメラが正しく動作することが確認できれば、  
たくさん写真を撮ってみよう！

- 記録方法を設定する ..... p.48
- 静止画を撮影する ..... p.49
- 動画を撮影する ..... p.54
- 露出を設定する ..... p.57
- フォーカスモードを設定する ..... p.59
- ドライブモードを選択する ..... p.66
- ホワイトバランスを設定する ..... p.74
- フラッシュを使用する ..... p.77
- 仕上がりイメージを決めて撮影する ..... p.78
- 補正して撮影する ..... p.80

## 4

**いろいろな再生と編集**..... p.85

いろいろな再生方法と画像編集を説明しています。

- 再生機能を選択する ..... p.85
- 再生方法を変更する ..... p.85
- ファイルを操作する ..... p.88
- 画像を加工／編集する ..... p.91

## 5

**画像を共有する**..... p.97

パソコンや通信端末と接続してK-3 Mark IIIを操作したり、画像を利用する方法を説明しています。

- パソコンで利用する ..... p.97
- 通信端末で利用する ..... p.99

## 6

**設定を変更する**..... p.100

その他の設定変更を掲載しています。

- カメラの設定 ..... p.100
- 画像管理に関する設定 ..... p.111

## 7

**付録**..... p.115

資料を掲載しています。

- 特殊機能の組み合わせ制限 ..... p.115
- 各種レンズ使用時の機能 ..... p.116
- 外付けフラッシュ利用時の機能 ..... p.119
- GPSユニットを利用する ..... p.121
- 困ったときは ..... p.123
- 主な仕様 ..... p.126
- 索引 ..... p.131
- 取り扱い上の注意 ..... p.136
- アフターサービスについて ..... p.139

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

## 本書の使い方 ..... 2

## K-3 Mark III の基礎知識 ..... 8

同梱品を確認しましょう ..... 8

各部の名称と機能 ..... 9

ボタン/ダイヤル/レバー ..... 10

撮影情報の表示 ..... 12

画像モニター ..... 12

表示パネル/ファインダー ..... 16

電子水準器 ..... 18

機能の設定方法 ..... 18

ダイレクトキーで設定する ..... 18

スマートファンクションで設定する ..... 19

コントロールパネルで設定する ..... 20

メニューで設定する ..... 20

メニュー一覧 ..... 22

■ 静止画設定メニュー ..... 22

■ 動画設定メニュー ..... 25

■ 再生設定メニュー ..... 26

C カスタマイズメニュー ..... 28

↖ セットアップメニュー ..... 34

## 準備しましょう ..... 37

ストラップの取り付け ..... 37

レンズの取り付け ..... 37

バッテリーのセット ..... 38

バッテリーを入れる ..... 38

バッテリーを充電する ..... 39

ACアダプターを使用する ..... 41

メモリーカードのセット ..... 41

初期設定 ..... 42

電源を入れる ..... 42

言語/日時/配色を設定する ..... 43

メモリーカードをフォーマットする ..... 43

撮影のキホン ..... 44

ファインダーを使って撮影する ..... 44

ライブビュー画像を見ながら撮影する ..... 46

画像の確認 ..... 47

## いろいろな写真を撮影してみましょう ..... 48

記録方法を設定する ..... 48

メモリーカードの記録設定 ..... 48

静止画の記録設定 ..... 48

動画の記録設定 ..... 49

静止画を撮影する ..... 49

露出モード ..... 50

露出補正 ..... 54

動画を撮影する ..... 54

動画の再生 ..... 56

露出を設定する ..... 57

ISO感度 ..... 57

測光モード ..... 59

フォーカスモードを設定する ..... 59

ファインダー撮影のAF設定 ..... 60

ライブビュー撮影のAF設定 ..... 62

AF位置を微調整する ..... 64

被写界深度を確認する (プレビュー) ..... 65

ドライブモードを選択する ..... 66

連続撮影 ..... 67

ブラケット撮影 ..... 67

被写界深度ブラケット ..... 68

モーションブラケット ..... 69

ミラーアップ撮影 ..... 69

多重露出 ..... 70

インターバル撮影 ..... 71

インターバル合成 ..... 72

セルフタイマー ..... 73

リモコン ..... 73

ホワイトバランスを設定する	74
マニュアルでホワイトバランスを調整する	76
色温度でホワイトバランスを調整する	76
フラッシュを使用する	77
フラッシュを接続する	77
フラッシュモードを設定する	77
仕上がりイメージを決めて撮影する	78
カスタムイメージ	78
デジタルフィルター	79
補正して撮影する	80
明るさを補正する	80
レンズ特性を補正する	81
画質／質感を補正する	82
手ぶれを補正する	83
傾きを補正する	84
構図を微調整する	84
<b>いろいろな再生と編集</b>	<b>85</b>
再生機能を選択する	85
再生モードの動作を設定する	85
再生方法を変更する	85
複数画像を表示する	85
フォルダー／撮影日ごとに表示する	87
AV機器と接続する	87
ファイル进行操作する	88
消去する	88
プロテクトする	89
回転する	89
画像をコピーする	90
画像を転送する	90
RAW画像を追加保存する	91
画像を加工／編集する	91
デジタルフィルターで加工する	91
RAW画像	92
画像のサイズを変更する	93
JPEG画像を補正する	94
動画を編集する	96

<b>画像を共有する</b>	<b>97</b>
パソコンで利用する	97
接続モードを設定する	97
メモリーカードの画像をコピーする	97
付属ソフトウェアをインストールする	98
パソコンから本機を操作する	98
通信端末で利用する	99
<b>設定を変更する</b>	<b>100</b>
カメラの設定	100
よく使う設定値を登録する	100
操作方法をカスタマイズする	102
画像モニター／ランプ／電子音を設定する	107
カメラに保存する設定を選択する	111
画像管理に関する設定	111
フォルダー／ファイルを設定する	111
著作権情報の設定	114
<b>付録</b>	<b>115</b>
特殊機能の組み合わせ制限	115
各種レンズ使用時の機能	116
絞りリングを使用する	118
レンズ焦点距離を入力する	119
外付けフラッシュ利用時の機能	119
GPSユニットを利用する	121
天体を撮影する（アストロトレーサー）	121
困ったときは	123
センサーのクリーニング	124
エラーメッセージ	125
主な仕様	126
カメラ本体	126
USB電源アダプター AC-U1	129
USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	130
索引	131
取り扱い上の注意	136
アフターサービスについて	139

### 著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

### 本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。
- 本機の手ぶれ補正機構 SR (Shake Reduction) は、ペンタックス独自の方式で CMOS センサーを磁力によって高速で移動させ、ぶれを補正する機構になっています。構図の変更などでカメラを振ると音がしますが、故障ではありません。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



**K-3 Mark IIIの基礎知識**

**1**

**準備しましょう**

**2**

**いろいろな写真を撮影してみましょう**

**3**

**いろいろな再生と編集**

**4**

**画像を共有する**

**5**

**設定を変更する**

**6**

**付録**

**7**

# 同梱品を確認しましょう

## 1 基礎知識



ホットシューカバー Fk  
(カメラ装着)



アイカップ Fu  
(カメラ装着)



MEファインダーキャップ



シンクロナセット2Pキャップ  
(カメラ装着)



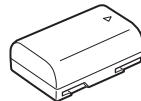
ボディマウントキャップ K II  
(カメラ装着)



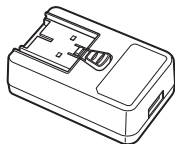
三角環・キズ防止カバー  
(カメラ装着)



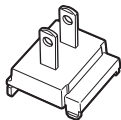
バッテリーグリップ接点カバー  
(カメラ装着)



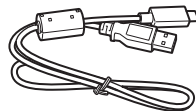
充電式リチウムイオン  
バッテリー D-LI90P



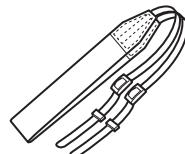
USB電源アダプター  
AC-U1



電源プラグ



USBケーブル  
I-USB166



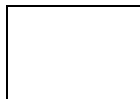
ストラップ  
O-ST162



使用説明書 (本書)



無線ガイド

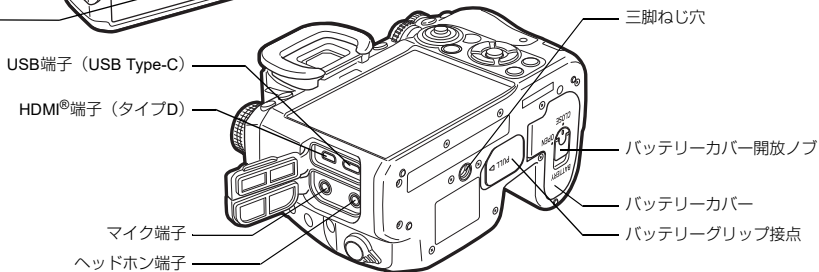
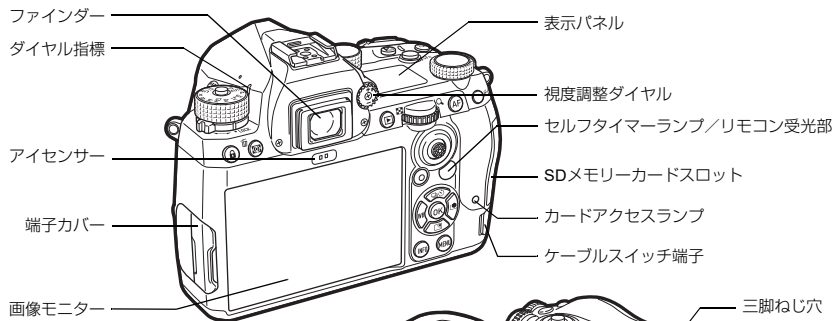
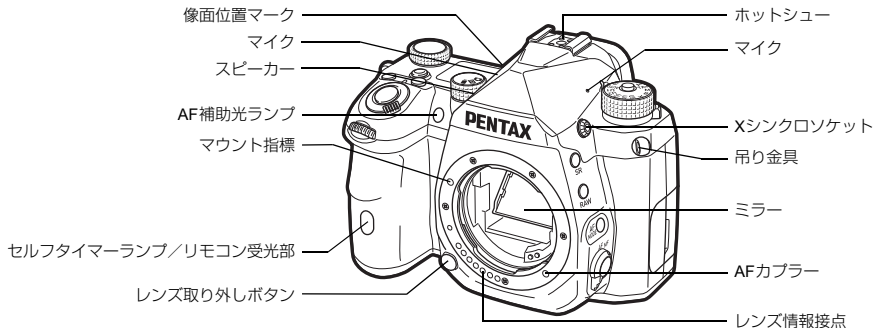


保証書

### 使用できるレンズ

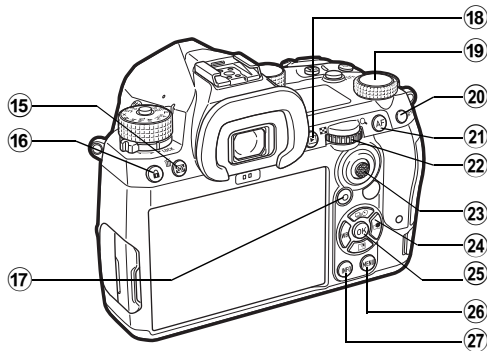
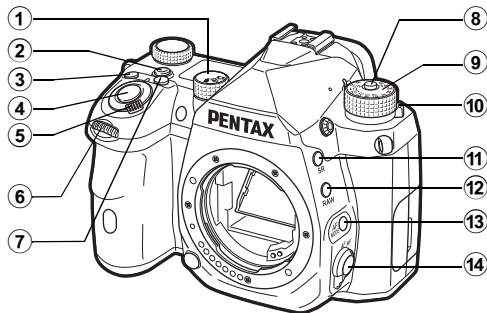
本機で使用できるレンズは、D FA/DA/DA L/FA/FA Jまたは絞り A (オート) 位置のあるレンズです。それ以外のレンズやアクセサリを使用するときは、本書のp.116を参照してください。

# 各部の名称と機能



## ボタン／ダイヤル／レバー

### 1 基礎知識



- ① 静止画／LV／動画切替ダイヤル (📷/LV/🎬ダイヤル)  
📷 (静止画) モードのファインダー撮影とライブビュー撮影、🎬 (動画) モードを切り替えます。(p.44)
- ② スマートファンクションボタン (S.Fn)  
スマートファンクションで設定する機能を選択したり、設定値を変更するときに押します。(p.19)

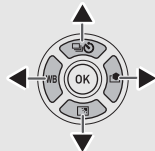
- ③ ISOボタン (ISO)  
ISO感度を変更するときに押します。(p.57)
- ④ シャッターボタン (SHUTTER)  
画像を撮影します。(p.45)  
再生モードでは、半押しで撮影モードに切り替わります。
- ⑤ 電源レバー  
電源のON/OFFとプレビューを行います。(p.42、p.65)
- ⑥ 前電子ダイヤル (🔍)  
露出などの設定値を変更します。(p.51)  
メニューが表示されているときは、メニューの種類を切り替えます。(p.20)  
再生モードでは、画像を切り替えます。
- ⑦ 露出補正ボタン (📏)  
露出補正值を変更するときに押します。(p.54)
- ⑧ モードダイヤルロックボタン  
モードダイヤルを回すときに押します。(p.44)
- ⑨ モードダイヤル  
撮影モードを切り替えます。(p.49)
- ⑩ モードダイヤルロック解除レバー  
モードダイヤルロックボタンを押さずにモードダイヤルを操作したいときに、ロックを解除できます。(p.45)
- ⑪ SRボタン (SR)  
Shake Reduction機能を切り替えます。(p.83)
- ⑫ RAWボタン (RAW)  
一時的に記録形式を変更します。(p.103)
- ⑬ AFモードボタン (M/AF)  
AFモードまたはAFエリアを変更するときに押します。(p.60)
- ⑭ フォーカスモード切替レバー  
フォーカスモードを切り替えます。(p.59)
- ⑮ 測光モード／消去ボタン (☀️/🗑️)  
測光モードを変更するときに押します。(p.59)  
再生モードでは、画像を消去します。(p.47)
- ⑯ キーロックボタン (🔒)  
ボタンの操作を一時的に無効にして、撮影時の誤操作を防ぎます。(p.46)

- ⑰ **グリーンボタン** (■)  
設定中の値をリセットします。  
ISO感度設定中は、ISO AUTOに変更します。  
再生モード時は、画像を再生するメモリーカードスロットを切り替えます。(p.47)
- ⑱ **再生ボタン** (⏮)  
再生モードに切り替えます。(p.47) もう一度押すと撮影モードに切り替わります。
- ⑲ **スマートファンクションダイヤル** (☉)  
スマートファンクションで選択した機能の設定値を変更します。(p.19)
- ⑳ **AEロックボタン** (AE)  
撮影前の露出値を記憶します。  
再生モードのときに押すと、再生機能選択画面を表示します。(p.85)
- ㉑ **AFボタン** (AF)  
**SHUTTER** 半押し代わりにピントを合わせることができます。(p.59)
- ㉒ **後電子ダイヤル** (☺)  
露出などの設定値を変更します。(p.51)  
メニューが表示されているときは、項目を切り替えます。(p.20)  
コントロールパネルが表示されているときは、設定値を切り替えます。(p.20)  
再生モードでは、画像を拡大または複数画像を表示します。(p.47、p.85)
- ㉓ **測距点レバー** (⊕)  
測距点を移動します。(p.60) 上下左右と斜めに動きます。  
ライブビューや再生時に拡大表示しているときは、表示範囲を移動します。押し込むと中央に戻ります。(p.46、p.47)
- ㉔ **十字キー** (▲▼◀▶)  
[ドライブモード] [アウトドアモニター] [ホワイトバランス] [カスタムイメージ]の設定画面を呼び出します。(p.18)  
メニューまたはコントロールパネルが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。
- ㉕ **OKボタン** (OK)  
メニューまたはコントロールパネルが表示されているときに、選択した項目を決定します。

- ㉖ **MENUボタン** (MENU)  
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。(p.20)
- ㉗ **INFOボタン** (INFO)  
画像モニターの表示を切り替えます。(p.13、p.14)

### 十字キーについて

本書では、十字キーを右のように表記します。



### 操作のカスタマイズ

ボタンに別の機能を割り当てて使用することができます。(p.102)

本書の操作は、初期設定をもとに説明します。

## 撮影情報の表示

## 画像モニター

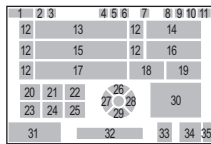
## 撮影時

本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画像モニターを見ながら撮影する方法があります。ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータススクリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。(p.44) ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライブビュー画像を表示しながら撮影します。(p.46) ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されていて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいます。

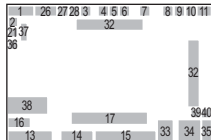
## 撮影待機状態

撮影時の設定などが表示されます。

## ステータススクリーン



## ライブビュー



- 1 撮影モード (p.49)
- 2 AEロック
- 3 明瞭度 (p.83) / 肌色補正 (p.83) / デジタルフィルター (p.79) / HDR撮影 (p.81) / Real Resolution (p.82)
- 4 GPS測位状態 (p.121)
- 5 Bluetooth®通信
- 6 無線LAN通信
- 7 フラッシュモード (p.77)
- 8 ローバセレクトター (p.82)
- 9 測光モード (p.59)
- 10 Shake Reduction (p.83) / 自動水平補正 (p.84)
- 11 バッテリー残量
- 12 電子ダイヤル操作ガイド
- 13 シャッター速度
- 14 絞り値
- 15 ISO感度 (p.57)
- 16 スマートファンクション操作ガイド (p.19)
- 17 露出バー
- 18 フォーカスモード
- 19 AFホールド (p.61)
- 20 SR 操作ガイド
- 21 操作ガイド
- 22 操作ガイド
- 23 RAW 操作ガイド
- 24 操作ガイド
- 25 AE-L 操作ガイド
- 26 ドライブモード (p.66)
- 27 ホワイトバランス (p.74)
- 28 カスタムイメージ (p.78)
- 29 アウトドアモニター
- 30 測距点 (p.60)
- 31 日時/操作ガイド
- 32 電子水準器 (p.18)
- 33 記録形式 (p.48)
- 34 撮影可能枚数
- 35 メモリーカードスロット
- 36 警告表示 (p.110)
- 37 温度警告
- 38 ヒストグラム
- 39 JPEG記録サイズ (p.48)
- 40 クロップ (p.48)

## メモ

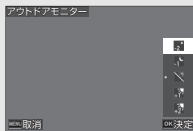
- C4メニュー「画像モニター表示」で、ステータススクリーンとライブビューの表示の設定ができます。(p.108)
- 「初期設定」(p.42)で設定した配色は、C4メニュー「画像モニター表示」の「配色設定」で変更ができます。(p.108)

## 画像モニターの明るさ調節

屋外などで撮影するときに画像モニターの表示が見にくい場合は、**M/2**メニュー [アウトドアマニター] で明るさを調節することができます。初期設定では、**M/2**に [アウトドアマニター] が割り当てられています。(p.102)

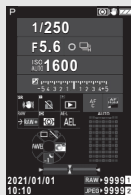
また、暗い場所で長時間撮影するときは、**M/2**メニュー [赤色画面表示] を利用すると、暗所でのまぶしさを軽減できます。

そのほか、**M/2**メニュー [画像モニター調整] で [明るさ] [彩度] [ブルー/アンバー調整] [グリーン/マゼンタ調整] が設定できます。[明るさ] は自動調整することもできます。(初期設定：自動調整) (p.109)



## カメラを縦に構えたとき

カメラを縦位置に構えると、ステータススクリーンの表示も縦になります。縦画面を表示したくない場合は、**C/4**メニュー [画像モニター表示] の [ステータススクリーン] で変更します。(p.108)

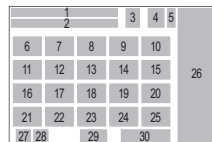


## コントロールパネル

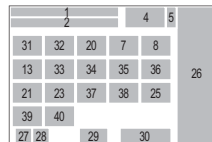
撮影待機状態で **INFO** を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。

初期設定では、以下の機能が表示されます。

### モード



### モード



- 機能名称
- 設定値
- 記録形式 (p.48)
- 撮影可能枚数/記録可能時間
- メモリーカードスロット
- ISO感度オート上限値 (p.57)
- ハイライト補正 (p.80)
- シャドー補正 (p.80)
- 長秒時ノイズ低減 (p.52)
- 高感度ノイズ低減 (p.58)
- 明瞭度 (p.83)
- 肌色補正 (p.83)
- デジタルフィルター (p.79)
- HDR撮影 (p.81)
- Real Resolution (p.82)
- ディストーション補正 (p.81)
- 周辺光量補正 (p.81)
- アストロトレーサー (p.121)
- ローパスセレクター (p.82)
- AF補助光 (p.60)
- カードスロット設定 (p.48)
- 記録形式 (p.48)
- JPEG記録サイズ (p.48) / 動画記録サイズ (p.49)
- プログラムライン (p.52)
- 無線LAN設定
- 設定値一覧
- カメラバッテリー残量

- 28 バッテリーグリップバッテリー残量 (D-BG8装着時)  
 29 カスタマイズ操作ガイド (p.106)  
 30 パラメーター設定  
 31 AFエリア (p.63)  
 32 フォーカスアシスト (p.64)  
 33 Shake Reduction (p.83)
- 34 録音レベル (p.49)  
 35 風切音低減 (p.49)  
 36 ヘッドホン音量 (p.49)  
 37 フレームレート (p.49)  
 38 グリッドの種類  
 39 LV撮影時のタッチAF (p.51)  
 40 動画記録中のタッチAF (p.55)

### メモ

- コントロールパネルの使い方は、「コントロールパネルで設定する」(p.20)を参照してください。
- コントロールパネルに表示する機能は、**C5**メニュー [コントロールパネル] で変更ができます。(p.106)

### 撮影情報の表示切り替え

撮影待機状態で **INFO** を押すごとに表示情報が切り替わりません。

ファインダー撮影時	ステータススクリーン→コントロールパネル→画像モニターオフ→ステータススクリーン
ライブビュー撮影時	標準情報表示→コントロールパネル→簡易情報表示→情報表示なし→標準情報表示

### メモ

- ライブビューに表示する情報は、**C4**メニュー [画像モニター表示] の [ライブビュー] でカスタマイズができます。(p.108)

## 再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。



**INFO** を押すと、1画像表示の表示情報を変更できます。

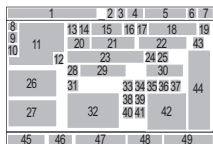
標準情報表示	画像・記録形式・JPEG記録サイズ・露出値・操作ガイドを表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示 (p.15)
情報表示なし	画像だけを表示

### メモ

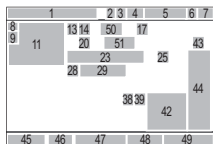
- 再生情報の表示は、**C4**メニュー [画像モニター表示] の [再生情報表示] で設定します。(p.108)
- 電源を入れ直して再生モードにすると、最後に表示した表示情報で1画像表示画面が表示されます。**C5**メニュー [モードメモリ] の [再生情報表示] を  (オフ) に設定すると、電源を入れ直したときに常に [標準情報表示] から表示されます。また [モードメモリ] の [再生対象画像] を  (オン) に設定すると、直前に再生した画像が次回も最初に表示されます。(p.111)



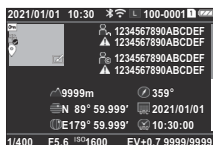
静止画



動画



2ページ目



- 1 撮影日時
- 2 Bluetooth®通信
- 3 無線LAN通信
- 4 記録形式・JPEG記録サイズ (p.48) / 動画記録サイズ (p.49)
- 5 フォルダーNo.-ファイルNo. (p.111)
- 6 再生メモリーカードスロット
- 7 バッテリー残量
- 8 プロテクト (p.89)
- 9 画像転送状態 (p.90)

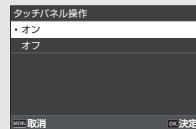
- 10 位置情報の記録
- 11 撮影画像
- 12 画像編集
- 13 撮影モード (p.49)
- 14 測光モード (p.59)
- 15 フラッシュモード (p.77)
- 16 クロップ (p.48)
- 17 JPEG画質 (p.48) / レームレート (p.49)
- 18 JPEG記録サイズ (p.48)
- 19 色空間 (p.48)

- 20 ドライブモード (p.66)
- 21 インターバル撮影/インターバル合成撮影枚数 (p.71)
- 22 インターバル合成総撮影時間 (p.72)
- 23 ホワイトバランス (p.74)
- 24 ローパスセレクター (p.82)
- 25 デジタルフィルター (p.79)
- 26 輝度ヒストグラム
- 27 RGBヒストグラム
- 28 Shake Reduction (p.83) / 自動水平補正 (p.84)
- 29 レンズ焦点距離
- 30 HDR撮影 (p.81) / Real Resolution (p.82) / 明瞭度 (p.83) / 肌色補正 (p.83)
- 31 フォーカスモード (p.59)
- 32 測距点 (p.60)
- 33 ディストーション補正 (p.81)
- 34 周辺光量補正 (p.81)
- 35 倍率色収差補正 (p.81)
- 36 回折補正 (p.81)
- 37 フリンジ補正 (p.92)
- 38 ハイライト補正 (p.80)
- 39 シャドウ補正 (p.80)
- 40 長秒時ノイズ低減 (p.52)
- 41 高感度ノイズ低減 (p.58)
- 42 フィルター効果RGB値
- 43 カスタムイメージ (p.78)
- 44 カスタムイメージパラメーター
- 45 シャッター速度
- 46 絞り値
- 47 ISO感度 (p.57)
- 48 露出補正 (p.54)
- 49 画像数
- 50 録音レベル (p.49)
- 51 記録時間
- 52 撮影者名 (p.114)
- 53 著作権者名 (p.114)
- 54 情報改ざん警告
- 55 高度
- 56 方位
- 57 緯度/経度
- 58 協定世界時

タッチパネルの操作

機能の選択や撮影時の測距点の指定などで、画像モニターをタッチして操作することができます。(p.51)

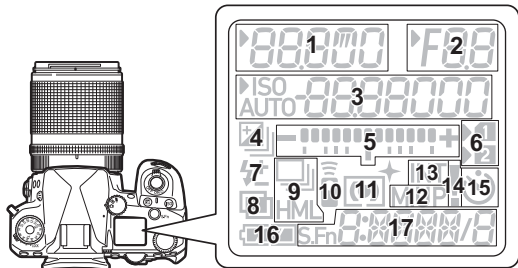
タッチパネルを使用しない場合は、**C3**メニュー [タッチパネル操作] を [オフ] に設定します。



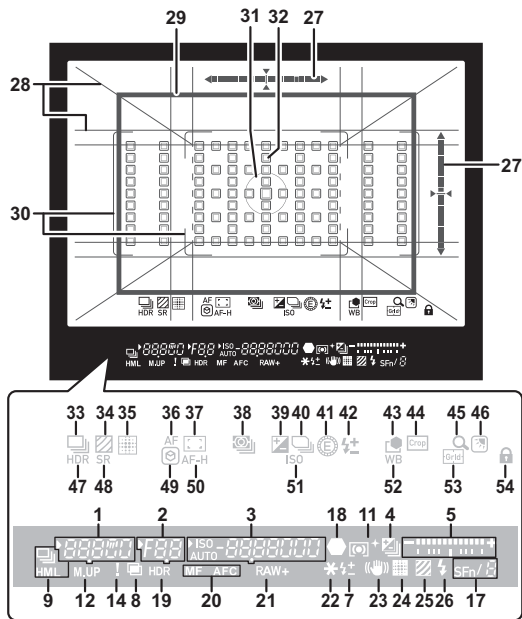
## 表示パネル／ファインダー

表示パネルとファインダーには、露出値などの撮影情報が表示されます。

### 表示パネル



### ファインダー内表示

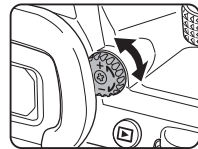


- |   |       |   |                                   |        |               |                       |               |               |                |                 |           |                       |                 |                   |            |
|---|-------|---|-----------------------------------|--------|---------------|-----------------------|---------------|---------------|----------------|-----------------|-----------|-----------------------|-----------------|-------------------|------------|
| 1 シャッター速度／長秒時<br>ノイズ低減残り処理時間<br>(p.52) / AFモード<br>(p.60) / ブラケット撮<br>影枚数 (p.67) | 2 絞り値 | 3 ISO感度 (p.57) / 露出<br>補正値 / 撮影可能枚数 /<br>AFエリア (p.60) | 4 露出補正 (p.54) /<br>ブラケット撮影 (p.67) | 5 露出バー | 6 メモリーカードスロット | 7 フラッシュ光量補正<br>(p.77) | 8 多重露出 (p.70) | 9 連続撮影 (p.67) | 10 リモコン (p.73) | 11 測光モード (p.59) | 12 ミラーアップ | 13 インターバル撮影<br>(p.71) | 14 警告表示 (p.110) | 15 セルフタイマー (p.73) | 16 バッテリー残量 |
|---|-------|---|-----------------------------------|--------|---------------|-----------------------|---------------|---------------|----------------|-----------------|-----------|-----------------------|-----------------|-------------------|------------|

- 17 スマートファンクション (p.19)
- 18 合焦マーク
- 19 HDR撮影 (p.81)
- 20 フォーカスモード (p.59)
- 21 記録形式 (p.48)
- 22 AEロック
- 23 Shake Reduction (p.83)
- 24 Real Resolution (p.82)
- 25 ローパスセクター (p.82)
- 26 フラッシュマーク (p.77)
- 27 電子水準器
- 28 グリッド表示 (p.107)
- 29 クロップ枠 (p.48)
- 30 AFフレーム (p.45)
- 31 スポット測光フレーム (p.59)
- 32 測距点 (p.60)
- 33 ドライブ (p.66)
- 34 ローパスセクター (p.82)
- 35 Real Resolution (p.82)
- 36 AFモード (p.60)
- 37 AFエリア (p.60)
- 38 測光モード (p.59)
- 39 露出補正 (p.54)
- 40 プログラムライン (p.52)
- 41 E-Dial
- 42 フラッシュ光量補正
- 43 カスタムイメージ (p.78)
- 44 クロップ (p.48)
- 45 拡大表示
- 46 アウトドアモニター (p.13)
- 47 HDR撮影 (p.81)
- 48 Shake Reduction (p.83)
- 49 フォーカスアシスト (p.64)
- 50 AFホールド (p.61)
- 51 ISO感度 (p.57)
- 52 ホワイトバランス (p.74)
- 53 グリッド
- 54 キー操作ロック (p.46)

## メモ

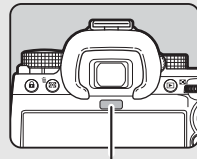
- 表示パネルの照明は**C4**メニュー [表示パネル]、ファインダー内の表示は**C4**メニュー [ファインダー内表示] で変更ができます。(p.108、p.107)
- ファインダー内表示の1~26を「視野外情報表示」と呼びます。視野外情報表示は、**SHUTTER** 半押し時と、測光作動時間(初期設定：10秒)の間に表示されます。**C4**メニュー [ファインダー内表示] の [視野外情報表示] で、表示しないように設定することもできます。また測光作動時間は、**C5**メニュー [測光作動時間] で変更ができます。(p.33)
- 17と33~53には、現在有効なスマートファンクションの機能とその設定値が表示されます。**S.Fn** を操作したときは登録している機能が点灯し、選択中の機能は点滅します。(p.19)
- ファインダー内の見え方は、視度調整ダイヤルで調節できます。



## アイセンサー

アイセンサーは、ファインダー撮影時の撮影待機状態で、撮影者がファインダーをのぞいたかを検出します。センサーが検出すると、画像モニターのバックライトや測光作動と連動します。**C4**メニュー [アイセンサー] で設定を変更できます。(p.107)

なお、アイセンサーは、物が近づいたり直射日光があたったときも反応することがあります。また、アイセンサーは、画像モニターの明るさ自動調整にも使われています。(p.109)



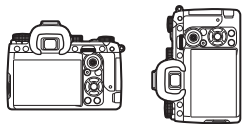
アイセンサー

## 電子水準器

ステータススクリーン/ライブビュー/ファインダー内表示には電子水準器が表示され、カメラの傾きを確認することができます。

横方向の表示で水平方向（左右）の傾き、縦方向の表示でアオリ方向（前後）の傾きが0.5°単位で表示されます。

## ファインダー内表示の例



水平時（傾き0°）



左下がりに5°以上傾いているとき



縦位置に構えて右下がりに3°傾いているとき



## ●メモ

- ファインダー内表示の電子水準器は、**C4**メニュー「ファインダー内表示」の「電子水準器の種類」で、アオリ方向を表示しないように設定できます。（p.107）

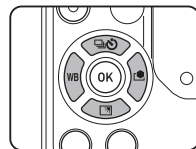
## 機能の設定方法

ほとんどの機能はメニューから設定します。よく使用する機能は、ボタン操作やスマートファンクション、コントロールパネルでも設定ができます。また、使いやすいように設定方法をカスタマイズすることもできます。

## ダイレクトキーで設定する

撮影待機状態で▲▼◀▶を押します。  
初期設定では、以下の機能が設定できます。

▲	ドライブモード	p.66
▼	アウトドアモニター	p.13
◀	ホワイトバランス	p.74
▶	カスタムイメージ	p.78




## ●メモ


- ▲▼◀▶のほか **RAW** などのボタンの機能は、**C2**メニュー「[Fnボタン]」で変更ができます。（p.102）

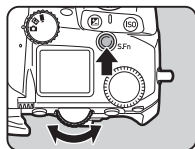
## スマートファンクションで設定する

ファインダーをのぞきながら、またはライブビューを表示した状態で、登録した5つの機能の値をすばやく変更することができます。

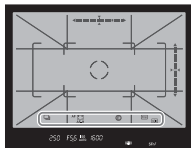
初期設定では、以下の機能が設定できます。

機能	設定内容	参照
ユーザー AF	事前に指定した [AFモード] [AFエリア] [AFホールド] の設定を切り替え	p.60
E-Dial	露出変更	p.50
ドライブ	事前に設定した [ドライブモード] の [ドライブ] の中から設定値を切り替え	p.66
クロップ	 5メニュー [クロップ] を切り替え	p.48
グリッド	(ファインダー撮影時) 事前に設定した [ファインダー内表示] の [ファインダー画面] の設定値を切り替え (ライブビュー撮影時) ライブビューグリッドの種類変更	p.107 p.108

- 1 **S.Fn** を押してから  を回す  
設定する機能を選択





ファインダー内／表示パネルに設定できる機能が点灯  
選択中の機能は点滅



ステータス画面／ライブビューには操作ガイドが表示

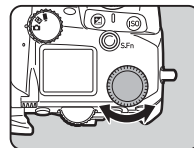


### ボタン・ダイヤル操作


-  設定の開始／終了
-  リセット

### 2 を回す

選択した機能の設定値を変更



### メモ

- スマートファンクションで設定する機能は、**C2**メニュー[スマートファンクション] で変更ができます。(p.106)
- 最後に選択した機能の設定値は、撮影待機状態で  で変更できます。

## コントロールパネルで設定する

撮影機能を設定できます。

1 撮影待機状態で **INFO** を押す  
コントロールパネルが表示

2 ▲▼◀▶で機能を選択



3 で設定を変更



## ボタン・ダイヤル操作

(詳細設定がある場合) パラメーター変更

**OK** 機能のメニュー画面を表示

コントロールパネルカスタマイズ

4 **MENU** を押す  
撮影待機画面に戻る

## ●メモ

- カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。
- コントロールパネルに表示する機能は、手順2の画面で を押すか、**C5**メニュー [コントロールパネル] で変更ができます。(p.106)

## メニューで設定する

ほとんどの機能はメニューで設定できます。

1 **MENU** を押す  
メニューが表示

2 でメニューの種類を切り替え



	静止画設定メニュー (p.22)
	(モード) 動画設定メニュー (p.25)
	再生設定メニュー (p.26)
<b>C</b>	カスタマイズメニュー (p.28)
	セットアップメニュー (p.34)

または を2回押してから で切り替え後、 を2回押す

3 で機能を選択  
選択したメニューによって、1~8の項目に分類  
項目ごとを選択する場合は、 で切り替え

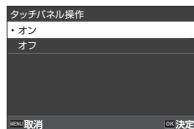
4 設定する機能が見つかったら を押す  
選択した機能の設定値が表示



## 5 ▲▼で設定値を選択し、OKを押す

手順4の画面に戻る

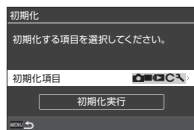
**MENU**を押すと、設定を変更せずに1つ前の画面に戻る



## 6 **MENU**を何回か押して、元の画面に戻す

### メモ

- カメラ/LV/マイクダイヤルの位置によって、手順2で表示されるメニューが異なります。
- MENU**を押すと、直前に操作したメニューの画面が最初に表示されます。そのときの状態に応じたメニューを表示したいときは、**2**メニュー [メニュー選択位置保持] を [オフ] に設定します。
- 設定した値は、電源を切っても保存されています。一部の機能は**5**メニュー [モードメモリ] で、保存のオン/オフが切り替えられます。(p.111)
- 8**メニュー [初期化] で、メニューの種類ごとに設定を初期化することができます。



### 📷 静止画設定メニュー

項目		機能	初期設定	参照
<b>📷 1 フォーカス設定</b>				
ファインダー撮影時 AF	AFモード	ファインダー撮影時のオートフォーカスの方法を選択	シングルAF	p.60
	AFエリア	ファインダー撮影時のAFエリア（測距点）を設定	オートエリア	p.60
	AFエリアの使用制限	選択できる測距点の範囲を制限	オフ	p.61
	AF.Sの動作	[シングルAF] で <b>SHUTTER</b> を全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.61
	AF.C 1コマ目の動作	[コンティニユアスAF] で <b>SHUTTER</b> を全押ししたときの1コマ目の優先動作を設定	オート	p.61
	AF.C連続撮影中の動作	[コンティニユアスAF] で連続撮影中の優先動作を設定	オート	p.61
	AFホールド	[コンティニユアスAF] で合焦後に被写体が動いて見失ったときに、一定時間フォーカスを保持	弱	p.61
	測距不能時の動作	ピント合わせができないときの動作を選択	レンズ駆動する	p.61
	AF.C時の測距点追尾方法	[コンティニユアスAF] で測距点を追尾する方法を選択	Type1	p.62
	被写体認識	認識した被写体を優先してAFを行う	オン	p.62
キャッチインフォーカス	マニュアルフォーカスレンズ使用時に、ピントが合うと自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」を行う	オフ	p.62	
ライブビュー撮影時 AF	AFエリア	ライブビュー撮影時のAFエリア（測距点）を設定	オートエリア	p.63
	フォーカスアシスト	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	p.64
	コントラストAFの動作	<b>SHUTTER</b> 全押し時の優先動作を設定	フォーカス優先	p.64
	顔検出	顔を検出し、オートフォーカスを行う	オン	p.64
AF補助光	暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.60	
<b>📷 2 露出設定</b>				
測光モード	センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるかを設定	分割	p.59	



項目		機能	初期設定	参照
顔優先AE		[測光モード] が [分割] のときに、顔に優先的に露出を合わせる	オン	p.59
測距点と露出の関連付け		測距点の明るさに応じて露出値を調整	オフ	p.59
ISO感度設定	ISO感度オート上限値	ISO AUTOのISO感度上限値	6400	p.57
	ISO感度オート下限値	ISO AUTOのISO感度下限値	100	
	低速限界の指定方法	シャッター速度の低速限界の設定を、自動で行うか直接指定するかを設定	オート	
	低速限界オートの動作	感度の上げ方を設定	標準	
	低速限界シャッター速度	[低速限界の指定方法] が [シャッター速度指定] のときに、ISO感度を上げるシャッター速度を設定	1/125	
フラッシュモード		フラッシュモードを設定	強制発光 または自動発光	p.77
プログラムライン		プログラムラインを選択	標準	p.52
運動外の自動補正		適正露出が得られないときに自動補正	オフ	p.51
<b>☑3 ホワイトバランス設定</b>				
ホワイトバランス		光源に合わせてホワイトバランスを設定	オートWB	p.74
光源指定時の自動調整		ホワイトバランスで光源を指定した場合に、自動で微調整を行う	オフ	p.75
白熱灯下のオートWB		ホワイトバランス [オートWB] のときの白熱灯の補正度合いを設定	強	
<b>☑4 撮影設定</b>				
ドライブモード	ドライブ	ドライブモードを選択	1コマ撮影	p.66
	タイマー/リモコン	タイマーとリモコンの使用を設定	オフ	p.73
ローパスセクター		Shake Reductionユニットを利用して、ローパスフィルター効果をかける	オフ	p.82
HDR撮影	HDR撮影	ハイダイナミックレンジ撮影を設定	オフ	p.81
	振り幅設定		±2.0EV	
	自動位置調整		オン	
Real Resolution		複数の画像を合成し、高精細な画像を取得	オフ	p.82
アストロトレーサー	アストロトレーサー	天体追尾撮影を設定	オフ	p.121
	精密キャリブレーション	キャリブレーションを実行	—	

項目		機能	初期設定	参照
<b>📷5 記録設定</b>				
カードスロット設定	カードスロット設定	メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法を設定	順次	p.48
	順次の記録先スロット	[カードスロット設定] が [順次] のときに記録するスロットを設定	SD1	
記録形式		ファイル形式を設定	JPEG	p.48
クロップ		撮影時の画角を設定	オフ	
JPEG記録サイズ		JPEGの記録サイズを設定	[L]	
JPEG画質		JPEGの画質を設定	スーパーファイン	
RAWファイル形式		RAWのファイル形式を選択	PEF	
色空間		使用する色空間を設定	sRGB	
<b>📷6 画像仕上設定</b>				
カスタムイメージ		色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか	p.78
デジタルフィルター		フィルター効果を指定して撮影	オフ	p.79
明瞭度		画像処理で明瞭度を変更	±0	p.83
肌色補正		画像処理で肌質感を向上	オフ	p.83
レンズ補正	ディストーション補正	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正	オフ	p.81
	周辺光量補正	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正	オフ	
	倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正	オン	
	回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正	オン	
ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.80
	シャドウ補正	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
ノイズリダクション	長秒時ノイズ低減	低速シャッター時のノイズリダクションを設定	オート	p.52
	高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.58
	カスタム時の動作	[高感度ノイズ低減] の感度ごとの強度を設定	中	
<b>📷7 撮影補助</b>				
Shake Reduction		手ぶれ補正機能を設定	オート	p.83
SRの自動オフ		[セルフタイマー] [リモコン] が有効なときに、Shake Reductionを自動的に [オフ] に設定	自動オフする	p.83
自動水平補正		静止画撮影時の左右の傾きを補正	オフ	p.84

項目	機能	初期設定	参照
構図微調整	Shake Reductionユニットを利用して、構図の位置と傾きを補正	オフ	p.84

## ■(動画設定メニュー

項目	機能	初期設定	参照	
<b>■1 フォーカス設定</b>				
ライブビュー撮影時 AF	AFエリア	AFエリア(測距点)を設定	オートエリア	p.63
	動画モード時のAF	■1モードでのAFの動作を設定	AF継続	p.55
	フォーカスアシスト	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	p.64
AF補助光	暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.60	
<b>■2 露出設定</b>				
測光モード	センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割	p.59	
測距点と露出の関連付け	AFエリア内の測距点と露出値の関連付けを設定	オフ	p.59	
<b>■3 ホワイトバランス設定</b>				
ホワイトバランス	光源に合わせてホワイトバランスを設定	オートWB	p.74	
光源指定時の自動調整	光源を指定した場合に、自動で微調整を行う	オフ	p.75	
白熱灯下のオートWB	[オートWB]のときの白熱灯の色味を設定	強		
<b>■4 撮影設定</b>				
リモコン	リモコンの使用を設定	オフ	p.73	
<b>■5 記録設定</b>				
カードスロット設定	動画を記録するメモリーカードスロットを選択	SD1	p.49	
記録サイズ	記録サイズを設定	4K		
フレームレート	フレームレートを設定	30p		
録音レベル	記録時の録音レベルを設定	オート		
風切音低減	風切り音を低減	オン		
ヘッドホン音量	ヘッドホン接続時の音量を設定	20		
<b>■6 画像仕上設定</b>				
カスタムイメージ	色味やコントラストなどの画像の仕上がりに具合を設定	鮮やか	p.78	
デジタルフィルター	フィルター効果を指定して撮影	オフ	p.79	

項目		機能	初期設定	参照
ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.80
	シャドウ補正	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
<b>■7 撮影補助</b>				
Shake Reduction		手ぶれ補正機能を設定	オン	p.83
SRの自動オフ		[リモコン] が有効なときに、Shake Reductionを自動的に [オフ] に設定	自動オフする	p.83

## ▶ 再生設定メニュー

項目		機能	初期設定	参照
<b>▶ 1 再生設定</b>				
再生カードスロット選択		再生時に表示するカードスロットを選択	SD1	p.85
画像の自動回転		縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン	
再生順序設定		再生時の画像の表示順を選択	ファイル番号	
再生音量		動画再生時の音量を設定	20	
タッチ時の画像送り効果		タッチ操作で画像送りしたときの画面効果	オン	
<b>▶ 2 ファイル操作</b>				
消去		画像を消去	—	p.88
プロテクト		画像を誤って消去しないように保護	—	p.89
回転		画像の回転情報を変更	—	p.89
コピー		SD1とSD2のカード間で画像をコピー	—	p.90
転送		通信端末に転送する画像を転送予約	—	p.90
RAW追加保存		撮影済みJPEG画像のRAW画像を追加保存	—	p.91
<b>▶ 3 RAW/JPEG画像編集</b>				
デジタルフィルター		デジタルフィルターで加工	—	p.91
トリミング		画像の必要な部分だけを切り取り	—	p.94
<b>▶ 4 RAW画像編集</b>				
RAW現像		RAW画像をJPEGに変換して保存	—	p.92
<b>▶ 5 JPEG画像編集</b>				
リサイズ		画像の記録サイズを変更	—	p.93


項目	機能	初期設定	参照
レベル補正	ハイライト/中間調/シャドウを指定し、明るさやコントラストを補正	—	p.94
ホワイトバランス補正	ホワイトバランスを補正	—	p.95
色モアレ補正	色モアレが発生した画像を補正	—	p.95
<b>▶ 6 動画編集</b>			
動画切出し	始点と終点を指定し、その範囲を切り出して新規保存	—	p.96
動画分割	分割点を指定し、その前後で分割した2つの動画を新規保存	—	
<b>▶ 7 画像から設定登録</b>			
マニュアルWB登録	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録	—	p.76
クロスプロセス登録	[カスタムイメージ] の [クロスプロセス] で撮影した画像の設定値をお気に入りに登録	—	p.79

















## C カスタマイズメニュー

1




基礎知識

項目	機能	初期設定	参照	
<b>C1 USERモード</b>				
USERモード設定登録	よく使用する撮影設定を10種類まで登録	—	p.100	
USERモード名称変更	名称を変更	—		
USERモード設定呼出し	登録されている設定をモードダイヤル <b>U1</b> ~ <b>U5</b> に割り当て	—		
USERモード設定リセット	設定内容をリセット	—		
USER時の露出モード	<b>U1</b> ~ <b>U5</b> モード時の露出モードを一時的に変更	<b>P</b>	p.101	
USER設定の復元操作	USERモードに登録してある設定に戻すタイミングを設定	Type1	p.101	
<b>C2 操作カスタマイズ</b>				
Fxボタン	SRボタン	ボタンの機能をカスタマイズ	Shake Reduction	p.102
	RAWボタン		ワンタッチRAW+	
	キーロックボタン		キーロック	
	測光モードボタン		測光モード	
	再生ボタン		再生モード	
	AEロックボタン		AEロック	
	上ボタン		ドライブモード	
	下ボタン		アウトドアモニター	
	左ボタン		ホワイトバランス	
	右ボタン		カスタムイメージ	
ワンタッチRAW+	ワンタッチRAW+で切り替える記録形式を選択	RAW+JPEG/ オン	p.103	
Shake Reduction	ボタンを押したときのShake Reduction設定を選択	OFF→AUTO→ PAN	p.103	
キーロック	ボタンを押したときにロックするボタンの種類を設定	露出変更ロック モード		

項目		機能	初期設定	参照
AF/AEロック設定	静止画	📷モード時の <b>AF</b> / <b>SHUTTER</b> 半押しの動作を設定	AF作動/AF作動 オフ	p.104
	動画	📹モード時の <b>SHUTTER</b> 半押しの動作を設定	AF作動	p.55
プレビューレバー	プレビュー方式	電源レバー  位置の動作を設定	光学プレビュー	p.65
	デジタルプレビュー設定	デジタルプレビュー時の機能を設定	すべてオン	

項目		機能		初期設定	参照
電子ダイヤル	静止画	P	露出モード別に  /  /  /  の動作を設定	TvHYPER/ AvHYPER/ ➡P / ISO	p.104
		Sv		OFF / ISO / -- / 	
		Tv		Tv / OFF / -- / ISO	
		Av		OFF / Av / -- / ISO	
		TAv		Tv / Av / -- / 	
		M		Tv / Av / P LINE / ISO	
		B		OFF / Av / タ イマー露光 / ISO	
		X		OFF / Av / -- / ISO	
	動画	P	露出モード別に  /  /  /  の動作を設定	OFF / OFF / -- / 	
		Tv		Tv / OFF / -- / 	
		Av		OFF / Av / -- / 	
		TAv		Tv / Av / -- / 	
		M		Tv / Av / P LINE / ISO	
	回転方向		 /  を操作したときの値の変化	順方向	
HYPER P/Sv時の動作		P / Sv モードでハイパーモードになったときの動作を設定	スタンダード	p.105	



項目		機能	初期設定	参照
スマートファンクション	機能1	スマートファンクションで設定する機能を登録	ユーザー AF	p.106
	機能2		E-Dial	
	機能3		ドライブ	
	機能4		クロップ	
	機能5		グリッド	
ワンブッシュ ISOオート		 でISO感度が変更できる場合に、設定画面を表示せずにISOでリセット	オフ	p.57
ワンブッシュ +/-初期化		 で露出補正が変更できる場合に、  でリセット	オフ	p.54
<b>C3 タッチパネル操作</b>				
タッチパネル操作		タッチパネルで操作を行う	オン	p.15
LV撮影時のタッチAF		ライブビュー撮影でタッチAFを行ったときの動作を設定	測距点移動	p.51
動画記録中のタッチAF		動画撮影中にタッチAFを行ったときの動作を設定	測距点移動	p.55
<b>C4 表示カスタマイズ</b>				
アイセンサー	画像モニター表示連動	アイセンサーが検知したときに画像モニターのバックライトをオフにする	オン	p.107
	測光連動	アイセンサーが検知したときに測光を開始	オフ	
	検出感度	アイセンサーが反応する感度を設定	中	
ファインダー内表示	ファインダースクリーン	ファインダー内の表示を設定	F1	p.107
	電子水準器の種類	ファインダー内に電子水準器を表示	水平+アオリ	
	ファインダー内照明	合焦時と測距点移動時のファインダー内照明の点灯を設定	オート	
	視野外情報表示	ファインダー視野下側の情報を表示する	オン	
表示パネル	照明の明るさ	表示パネルの明るさを選択	強	p.108
	照明の点灯	照明の点灯方法を選択	オート	

項目		機能	初期設定	参照
画像モニター表示	配色設定	ステータススクリーン/コントロールパネル/メニューカーソルの配色とスタイルを設定	(配色) 01/ (スタイル) 1	p.108
	ステータススクリーン	ステータススクリーンの表示を設定	オン/オン/ 水平+アオリ/ Type1	
	ライブビュー	ライブビューで <b>INFO</b> で表示を切り替えたときの表示情報を選択	L1/水平+アオリ/ Type1/ 50Hz	
	再生情報表示	再生モードで <b>INFO</b> で画面を切り替えたときの表示情報を選択	すべてオフ	
	グリッド	グリッドの種類と色を設定	16分割/ ブラック	
クイックビュー	表示時間	クイックビューの表示時間	1秒	p.109
	拡大表示	クイックビュー中に  で拡大表示	オン	
	RAW追加保存 (RAWボタン)	クイックビュー中に <b>RAW</b> でRAW画像を追加保存	オン	
	画像消去 (消去ボタン)	クイックビュー中に  で画像消去	オン	
	画像操作 (AE-Lボタン)	クイックビュー中に <b>AE-L</b> でファイル操作選択画面を表示	オン	
	ヒストグラム	クイックビューにヒストグラムを表示	オフ	
拡大表示	白とび警告	クイックビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	p.109
	クイック拡大	クイック拡大時の表示倍率と、拡大するときの操作方法を選択	100%	
警告表示	測距位置拡大	測距位置を中心に拡大操作を行う	オン	p.110
	リリースロック警告	撮影できない状態のときに警告を表示する	オン	
	リリースタイマー警告	[セルフタイマー] [リモコン] などが有効なときに警告を表示	オン	
<b>C5 機能カスタマイズ</b>				
コントロールパネル		コントロールパネルに表示する機能をカスタマイズ	—	p.106

項目		機能	初期設定	参照
モードメモリ	ISO感度	電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	オン	p.111
	露出補正		オン	
	フラッシュモード		オン	
	フラッシュ光量補正		オン	
	ホワイトバランス		オン	
	ドライブ		オン	
	タイマー/リモコン		オン	
	HDR撮影		オフ	
	Real Resolution		オフ	
	クロップ		オン	
	カスタムイメージ		オン	
	デジタルフィルター		オフ	
	明瞭度		オフ	
	肌色補正		オフ	
	構図微調整範囲		オン	
	撮影情報表示		オン	
再生情報表示	オン			
再生対象画像	オフ			
キーロック	オン			
アウトドアモニター	オフ			
赤色画面表示	オフ			
露出設定ステップ		露出設定の調整ステップを設定	1/3 EVステップ	p.51
ISO感度ステップ		ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.57
測光作動時間		測光開始後に測光を継続する時間を設定	10秒	p.17
Bモードの撮影方法		BモードのSHUTTERの動作を設定	Bulb	p.53
Xモードの同調速度		フラッシュの同調速度を選択	1/200	p.120
<b>C6 機能カスタマイズ</b>				
リモコン撮影時のAF		リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ	p.74
色温度ステップ		ホワイトバランス [色温度] の調整ステップを設定	ケルビン	p.76
MFレンズの焦点距離入力		レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	35mm	p.119

項目	機能	初期設定	参照
起動時の焦点距離入力	レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを装着して電源を入れたときに、焦点距離入力を行う	オン	p.119
回転情報記録	画像に記録する回転情報の角度を指定	オート	p.89
絞りリングの使用	レンズの絞りリングがA位置以外のときも撮影を行う	オフ	p.118
絞り情報記録	レンズの絞り値をカメラが取得できない場合に、手動入力した値を画像に記録	オフ	p.118
<b>C7 機能カスタマイズ</b>			
AF微調整	オートフォーカスのピント位置を微調整	オフ	p.64

## メニュー

項目	機能	初期設定	参照
<b>1 ファイル設定</b>			
フォーマット	メモリーカードをフォーマット	—	p.43
フォルダー新規作成	メモリーカードに新しいフォルダーを作成	—	p.111
フォルダー名	画像が保存されるフォルダー名を設定	日付	p.112
ファイル名	画像に付与されるファイル名を設定	IMGP	p.113
連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続	フォルダー & ファイル	p.113
連番リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	—	p.113
著作権情報	Exifに書き込む撮影者と著作権者の情報を設定	オフ	p.114
<b>2 画像モニター設定</b>			
メニュー選択位置保持	直前に操作したメニューを記憶、次に <b>MENU</b> を押したときに記憶したメニューを表示	オン	p.21
ガイド表示	Fxボタン操作時に変更状態を表示	オン	p.103
画像モニター調整	画像モニターの明るさ/彩度/色味を調整	(明るさ) 自動調整 / (その他) 0	p.109
アウトドアモニター	屋外での画像モニターの明るさを調整	オフ	p.13
赤色画面表示	夜間などの暗い場所での撮影時に、画像モニターを赤く表示	オフ	p.122

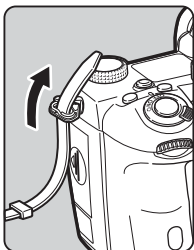
項目		機能	初期設定	参照
露出再現ライブビュー		ライブビュー撮影を行っているときに、露出設定に合わせてライブビューの明るさを調整	オン	p.51
<b>㊦ 3 発光部・電子音設定</b>				
インジケータランプ	セルフタイマー	セルフタイマー撮影時のセルフタイマーランプの点灯を設定	オン	p.110
	リモコン	リモコン撮影時のセルフタイマーランプの点灯を設定	オン	
	GPSユニット	GPSユニット装着時のランプの点灯	オン	
電子音の音量		電子音の音量を設定	3	p.110
電子音設定	電子シャッター音	電子シャッターで撮影時のシャッター音	オン	
	合焦音	合焦時の電子音	オン	
	AEロック	AEロックしたときの電子音	オン	
	カウントダウン	セルフタイマー／リモコン（3秒）撮影でのカウントダウン時の電子音	オン	
	ミラーアップ	ミラーアップ撮影時の電子音	オン	
	Fxボタン操作	Fxボタン操作時の電子音	オン	
<b>㊦ 4 通信設定</b>				
USB設定		パソコンと接続するときの転送モードを設定	MTP	p.97
Bluetooth設定	動作モード	Bluetooth®通信機能の動作を設定	オフ	別冊*1
	ペアリング	通信機器とのペアリングを実行	—	
	通信情報	カメラの [デバイス名] を表示	—	
無線LAN設定	動作モード	無線LAN通信機能の動作を設定	オフ	
	通信情報	カメラの [SSID] [パスワード] [MAC アドレス] を表示	—	
スマートフォン連携機能	位置情報の記録	通信端末の位置情報を画像に記録	オフ	
	自動画像転送	撮影後に画像を自動的に通信端末に転送	オフ	
	オートリサイズ	リサイズして転送	オフ	
	電源オフ時の画像転送	画像転送中にカメラの電源をオフにした場合に、転送を継続	オフ	
GPS設定		別売のGPSユニット装着時に、電子コンパス情報のキャリブレーションを実行	—	p.121

項目	機能	初期設定	参照
<b>㊦ 5 電源設定</b>			
オートパワーオフ	一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分	p.42
省電力モード	ステータススクリーンの表示時間をコントロールしてバッテリーの消費を抑える	強	p.40
バッテリーグリップ設定	別売のバッテリーグリップを装着したときのバッテリーの動作を設定	オート	p.39
外部機器へのUSB給電	USBケーブル経由で外部の機器に給電	—	p.40
<b>㊦ 6 メンテナンス</b>			
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示	—	—
認証マーク	無線LANの認証マークを表示	—	別冊
ピクセルマッピング	センサーの画素の欠損部分を補完	—	p.123
ダストリムーバル	センサーを振動させてクリーニング	オン/オン	p.123
センサークリーニング	センサーをブローアードクリーニングするために、ミラーをアップ	—	p.124
<b>㊦ 7 言語・日時設定</b>			
Language/言語	表示言語の切り替え	English	p.43
日時設定	年月日の表示形式と日時を設定	2021/01/01	p.43
<b>㊦ 8 初期化</b>			
初期化	メニュー/ダイレクトキー/スマートファンクション/コントロールパネルの設定内容をリセット	—	p.21

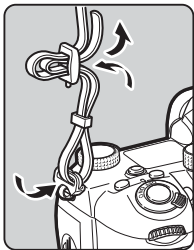
\*1 当社ホームページを参照してください。

## ストラップの取り付け

- 1 ストラップの先端を三角環に通す

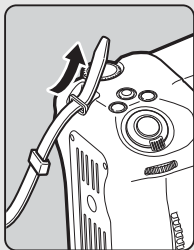


- 2 ストラップ先端を留め具の内側に固定する



### バッテリーグリップを使用しているとき

別売のバッテリーグリップ D-BG8を装着しているときは、ストラップの片方をバッテリーグリップ側に取り付けることもできます。

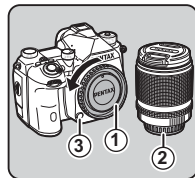


## レンズの取り付け

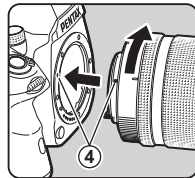
- 1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

- 2 ボディマウントキャップ(①)とレンズマウントカバー(②)を外す

レンズ取り外しボタン(③)を押しながら、ボディマウントキャップを左に回して外す。カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く。

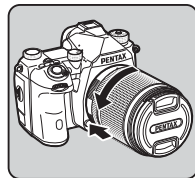


- 3 カメラとレンズのマウント指標(赤点/④)を合わせて差し込み、レンズを右に回す「カチッ」と音がするまで回す



### 取り外すとき

レンズキャップを取り付ける→レンズ取り外しボタンを押しながらレンズを左に回す



**●注意**

- レンズの取り付け／取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所で行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディマウントキャップを装着してください。
- 取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズキャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、ミラーを触ったりしないでください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気系統のトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。沈胴式レンズの操作については、「沈胴式レンズの使い方」(p.46)を参照してください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具合などにつきましては保証いたしかねます。

**●メモ**

- 各レンズの機能は、「各種レンズ使用時の機能」(p.116)を参照してください。

**バッテリーのセット**

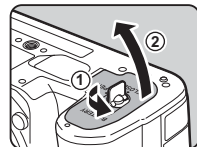
本機専用のバッテリー D-LI90Pを使用します。

**バッテリーを入れる****●注意**

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- 電源が入っているときに、バッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長時間連続で使用した場合は、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、注意してください。
- 長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。
- 長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。

**1 バッテリーカバーを開ける**

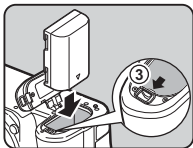
バッテリーカバー開放ノブをつまみ上げ、OPENの方向に回してからバッテリーカバーを引き上げる





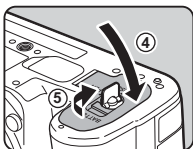
## 2 バッテリーの▲マークをカメラの外側に向け、ロックするまで挿入

取り出すときは、バッテリーロックレバーを③の方向に押す




## 3 バッテリーカバーを閉める

バッテリーカバー開放ノブをCLOSE方向に回してからノブを収納する



### ●メモ

- ・低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されないことがあります。
- ・使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- ・海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。
- ・別売のバッテリーグリップ D-BG8を使用するときは、5メニュー [バッテリーグリップ設定] で優先使用するバッテリーを選択できます。

### リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。

ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

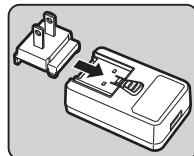


Li-ion 20

## バッテリーを充電する

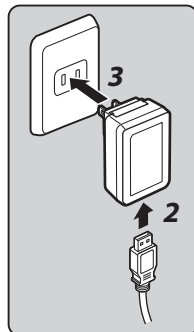
### 1 電源プラグを USB 電源アダプターに取り付ける

「カチッ」と音がするまで取り付ける



### 2 USB 電源アダプターに USB ケーブルを接続

### 3 コンセントに USB 電源アダプターを差し込む

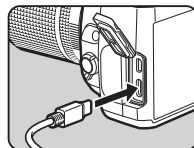


### 4 カメラの電源レバーが OFF になっていることを確認し、端子カバーを開く

### 5 USB 端子に USB ケーブルを接続する

充電中は、カメラ背面のセルフタイマーランプ点灯（5秒に1回点滅）

ランプが消灯したら充電完了



### ●注意

- ・充電中にカメラの電源を入れると、充電が中断します。
- ・セルフタイマーランプの速い点滅が続く場合は、電源レバーがOFFになっていることを確認し、USBケーブルとバッテリーを取り外して最初からやり直してください。それでも改善しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。
- ・正しく充電しても使用できる時間が短い場合は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

### ●メモ

- ・充電時間は、最大で約4時間30分です（周囲の温度や充電状態によって異なります）。周囲の温度が10～40°Cの環境で充電してください。
- ・USBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源がOFFになっているときも、バッテリーの充電ができます。（p.97）
- ・別売のバッテリー充電器 D-BC177 で充電することもできます。
- ・別売のバッテリーグリップ D-BG8を装着している場合は、バッテリーグリップ側のバッテリーを充電することもできます。⌚メニュー [バッテリーグリップ設定] で、優先使用に設定されている方のバッテリーから充電されます。カメラ側のバッテリーを充電しているときは連続して2回、バッテリーグリップ側を充電しているときは連続して3回セルフタイマーランプが点滅します。
- ・USB経由で、市販のモバイルバッテリーから充電することもできます。

### 他の機器への給電

USB経由で、本機のバッテリーから他の機器へ給電することができます。⌚メニュー [外部機器へのUSB給電] で [実行] を選択し、カメラの電源をOFFにします。バッテリーの容量が十分でないときは、USB給電はできません。

### 省電力モード

ステータススクリーンの表示時間をコントロールすることで、バッテリーの消費を抑えます。⌚メニュー [省電力モード] で設定します。

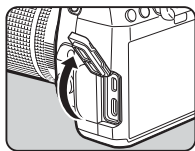
弱	C5メニュー [測光作動時間] の設定時間後、画像モニターをオフ
強	撮影時のクイックビュー後2秒間測光し、画像モニターをオフ（初期設定）
オフ	測光作動終了後も画面表示を継続

## ACアダプターを使用する

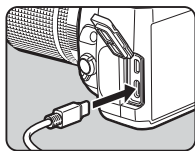
長時間使用するときは、別売のACアダプターキット K-AC166Jのご使用をお勧めします。

**1** ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに差し込む

**2** カメラの電源がOFFになっていることを確認し、端子カバーを開ける



**3** カメラのUSB端子にACアダプターのUSB Type-Cケーブルを接続



### ●注意

- ACアダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにアクセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破損するおそれがあります。
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使用説明書を併せて参照してください。

## メモリーカードのセット

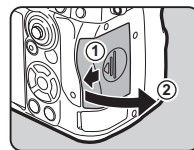
本機では、以下のメモリーカードが使用できます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード

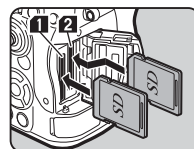
本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。

**1** カメラの電源がOFFになっていることを確認

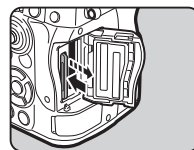
**2** メモリーカードカバーを①の方向にスライド



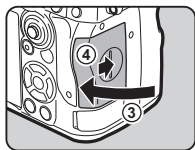
**3** メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けてメモリーカードスロットの奥まで挿入



取り出すときは、メモリーカードをもう一度押し込む



## 4 メモリーカードカバーを閉じ、④の方向にスライド



### ●注意

- メモリーカードをセットするときは、メモリーカードスロットにまっすぐ挿入してください。斜めに挿入したり、無理な力を加えようと、メモリーカードやメモリーカードスロットが破損する場合があります。
- カードアクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- 電源が入っているときにメモリーカードカバーを開けると、電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- 未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。（p.43）
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影途中で終了する場合があります。

### ●メモ

- メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法は、「メモリーカードの記録設定」（p.48）を参照してください。
- SDメモリーカードは、UHS-I/UHS-II規格に対応したものが使用できます。ただし、UHS-IIのカードをスロット2で使用した場合は、UHS-Iの速度で動作します。

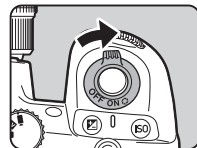
## 初期設定

電源を入れて初期設定をします。

## 電源を入れる

### 1 電源レバーを「ON」に合わせる

初めて電源を入れたときは、  
[Language/言語] 画面が表示



### ●メモ

- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。（初期設定：1分）  
5メニュー [オートパワーオフ] で変更できます。  
SHUTTER または [ ] を押すと、オートパワーオフから復帰します。

## 言語／日時／配色を設定する

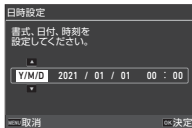
### 1 [Language/言語] 画面で ▲▼ で言語を選択して **OK** を押す

言語が設定され、[日時設定] 画面が表示

### 2 表示形式と日時を設定

◀▶ で項目を移動、▲▼ で数値を変更

**MENU** を押すと、設定をキャンセル



### 3 **OK** を押す

日時が設定され、[配色設定] 画面が表示

### 4 [配色] [スタイル] を選択

◀▶ で項目を移動、▲▼ で数値を変更



配色	ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューカーソルの配色を選択
スタイル	ステータススクリーン／コントロールパネルのスタイルを選択

### 5 **OK** を押す

撮影モードになり、撮影できる状態になる

### ●メモ

- 設定した言語／日時は、7メニュー、配色はC4メニュー [画像モニター表示] の [配色設定] で変更できます。(p.36、p.108)

## メモリーカードをフォーマットする



### 1 **MENU** を押す

メニューが表示

### 2 回転して、を選択

### 3 [フォーマット] で▶を押す [フォーマット] 画面が表示

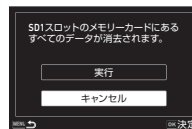


### 4 ▲▼でフォーマットするメモリーカードスロットを選択、▶を押す



### 5 ▲で [実行] を選択、**OK** を押す

フォーマット開始→手順4の画面に戻る



### 6 **MENU** を2回押す

撮影画面に戻る

### ●注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。

### ●メモ

- フォーマットを行うと、メモリーカードに「K-3 III」というボリュームラベルが付きます。

## 撮影のキホン

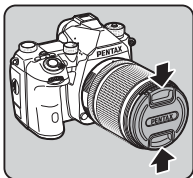
本機が撮影時の状況を判断して最適な撮影条件を自動で設定する**AUTO**（シーンアナライズオート）モードで撮影してみましょう。

### 2 準備

#### ファインダーを使って撮影する

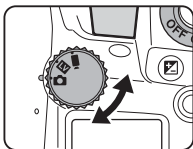
- 1 図の矢印部分を押し、レンズキャップを外す  
沈胴式レンズ装着時は、レンズを繰り出す

☞ 沈胴式レンズの使い方  
(p.46)

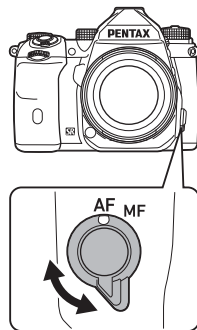


- 2 電源を入れる

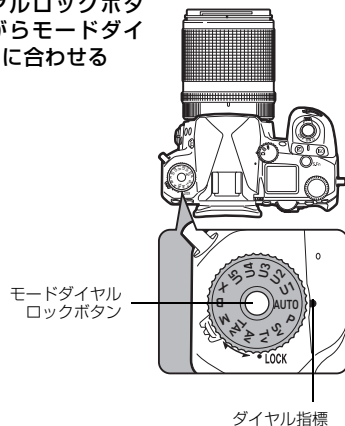
- 3 照相机/LV/照相机ダイヤルを照相机に合わせる



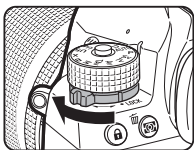
- 4 フォーカスモード切替レバーを**AF**に合わせる



- 5 モードダイヤルロックボタンを押しながらモードダイヤルを**AUTO**に合わせる



モードダイヤルロック解除レバーでロックを解除すると、モードダイヤルロックボタンを押さなくてもモードダイヤルが操作可能



画像モニターに撮影モードが表示



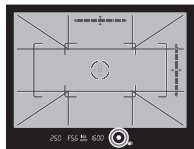
## 6 ファインダーをのぞいて被写体を確認

ズームレンズ使用時は、ズームリングを回して画角を調整

## 7 AFフレーム内に被写体を入れてSHUTTER半押し

オートフォーカスが作動  
ピントが合うと、ファインダー内の●が点灯し「ピピッ」と電子音

🔊 電子音の設定 (p.110)



## 8 SHUTTER全押し

撮影画像が画像モニターに表示 (クイックビュー)

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

	消去
	拡大表示 🔄で拡大位置移動
	RAW画像を追加保存 (保存可能時のみ)
	ファイル操作選択 (消去/プロテクト/転送/RAW追加保存) 画面表示

## メモ

- **AF** でピントを合わせることでもできます。(p.59)
- 撮影前にプレビューを表示して被写界深度が確認できます。(p.65)
- クイックビューの画面表示と動作については、**C4**メニュー [クイックビュー] で設定できます。(p.109)
- **SHUTTER** 半押しで露出値を決定 (AE ロック) させる場合は、**C2**メニュー [AF/AEロック設定] の [静止画] で設定します。

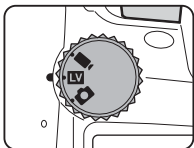
シャッター / AF ボタン	AF作動 / AF作動 機能なし / AF作動 AF作動 / AFキャンセル
撮影時のAEロック	シャッターボタン半押し 合焦時 オフ

## 注意

- **AUTO** モードは、設定できる機能が制限されます。

## ライブビュー画像を見ながら撮影する

- 1 「ファインダーを使って撮影する」の手順3 (p.44) で / / ダイヤルを に合わせる  
画像モニターにライブビュー画像が表示



- 2 ライブビュー画像を確認する

## ボタン・ダイヤル操作

	拡大／等倍
	表示倍率変更 (最大16倍)
	拡大位置移動 押し込むと中央に戻る

- 3 画像モニターのAFフレーム内に被写体を入れて **SHUTTER** 半押し

ピントが合うと、AFフレームが緑になり「ビピッ」と電子音



AFフレーム

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

## キー操作をロックする

撮影時の誤操作を防ぐため、一部のボタン・ダイヤルの操作を一時的に無効にすることができます。 を押しながらかいを回すとボタン・ダイヤルがロックされ、もう一度回すとロックが解除されます。

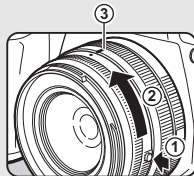


ロック中は、ステータススクリーン／ファインダー内／ライブビューに が表示されます。ロックするボタン・ダイヤルの種類は、**C2**メニュー [Fxボタン] の [キーロック] で選択できます。(p.103)



## 沈胴式レンズの使い方

HD PENTAX-DA 18-50mm F4-5.6 DC WR REなどの沈胴式レンズを装着している場合は、レンズを収納した状態で電源を入れたとメッセージが表示されます。ズームリング上のボタン (①) を押しながらかい②の方向に回してレンズを繰り出します。レンズを収納するときは、ボタンを押しながらかい②の逆方向に回し、白い点を③の位置に合わせます。

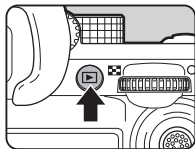




## 画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。

### 1 再生ボタンを押す



再生モードになり、最新画像が表示 (1画像表示)



### 2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

	前後の画像を表示
	消去
右/ピンチアウト /ダブルタップ	拡大表示 (最大16倍) ⊕で拡大位置移動 押し込むと中央に戻る
<b>OK</b>	<b>C4</b> メニュー [拡大表示] の [クイック拡大] (p.109) で 設定した倍率に拡大 (拡大表示中) 全体表示に戻る
左/ピンチイン	分割表示 (p.85)
	再生スロット切り替え
<b>RAW</b>	RAW画像を追加保存 (保存 可能時のみ)
<b>INFO</b>	表示情報切り替え (p.14)
<b>AE-L</b> /ロングタップ	再生機能選択画面を表示 (p.85)

### メモ

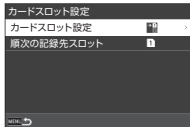
- 右で拡大表示したときの拡大率は、画面右下に表示されず。「100%」と表示されたときは、ピクセル等倍表示です。**C4**メニュー [拡大表示] の [クイック拡大] で、最初の表示倍率と操作方法が設定できます。(p.109)
- 画像モニターに**RAW**が表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。(バッファ RAW保存)
- 1画像表示のときの表示情報は、**C4**メニュー [画像モニター表示] の [再生情報表示] で設定を変更できます。(p.108)
- 電源オンの間、最後に再生した画像が記憶されています。電源を入れ直しても最後に再生した画像を記憶しておきたい場合は、**C5**メニュー [モードメモリ] の [再生対象画像] を  (オン) に設定します。(p.111)

## 記録方法を設定する

### メモリーカードの記録設定

📷5 / 📷15

メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法を📷5メニュー [カードスロット設定] で設定します。



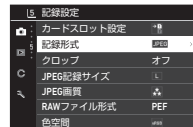
順次	1枚目のカードがいっぱいになったら、2枚目に記録 [順次の記録先スロット] で記録するスロットを切り替え
複製	SD1 / SD2に同じデータを同時記録
RAW/JPEG分離	SD1にRAW、SD2にJPEGを記録

■(モードでは、[SD1] [SD2] のどちらかに記録するかを選択します。

## 静止画の記録設定

📷5

静止画の記録形式は、📷5メニューで設定します。



記録形式	JPEG / RAW / RAW+JPEG
クロップ	1.3x / オフ
JPEG記録サイズ	[L] / [M] / [S] / [XS]
JPEG画質	スーパーファイン / ファイン / エコノミー
RAWファイル形式	PEF / DNG
色空間	sRGB / AdobeRGB

### 📌 注意

- 📷5メニュー [カードスロット設定] を [RAW/JPEG分離] に設定したときは、[記録形式] は [RAW+JPEG] 固定です。
- [クロップ] を設定したときは、[JPEG記録サイズ] の[L]は選択できません。

### 📌 メモ

- [記録形式] を [RAW+JPEG] に設定すると、ファイルNo. が同一のJPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- [RAW] を押したときだけ記録形式を変更して撮影 (ワンタッチRAW+) することもできます。(p.103)
- [RAWファイル形式] の [PEF] は、PENTAX 独自のRAWファイルフォーマットです。
- [クロップ] を設定したときは、ファインダー内にクロップ枠が表示されます。(p.16) その枠内に被写体が入るように撮影してください。

## 動画の記録設定

■5

動画の記録形式は、■5メニュー〔記録設定〕で設定します。



記録サイズ	4K / FHD
フレームレート	60p / 30p / 24p
録音レベル	オート / マニュアル 0~40
風切音低減	オン / オフ
ヘッドホン音量	0~40

### 注意

- 〔記録サイズ〕で **4K** を設定したときは、〔フレームレート〕の60pは選択できません。

### メモ

- 〔風切音低減〕を〔オン〕に設定すると、低音域がカットされます。必要がないときは、〔オフ〕にすることを勧めます。

## 静止画を撮影する

被写体や状況によって撮影モードを選択します。  
本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	機能	参照
<b>AUTO</b> シーンアナライズオートモード	最適な撮影条件をカメラが自動で設定	p.44
<b>P / Sv / Tv / Av / TAv / M / B / X</b> 露出モード	シャッター速度 / 絞り値 / ISO感度を設定して撮影	p.50
<b>U1~U5</b> USERモード	よく使う露出モードと撮影設定をまとめて登録	p.100

3

撮影

## 露出モード

○：設定可 △：条件付きで可 ×：設定不可

モード	シャッター速度変更	絞り値変更	ISO感度変更	露出補正
<b>P</b> プログラムAE	△ *1	△ *1	○	○
<b>Sv</b> 感度優先AE	△ *1	△ *1	○ *2	○
<b>Tv</b> シャッター優先AE	○	△ *1	○	○
<b>Av</b> 絞り優先AE	△ *1	○	○	○
<b>TAv</b> シャッター&絞り優先AE	○	○	△ *1	○
<b>M</b> マニュアル露出	○	○	○ *2	○
<b>B</b> バルブ露出	× *3	○	○ *2	×
<b>X</b> フラッシュ同調速度	× *4	○	○ *2	○

\*1 C2メニュー [電子ダイヤル] で変更する値を指定可能 (p.104)

\*2 ISO AUTO選択不可

\*3 タイマー露光では、1秒～20分のシャッター速度が設定可能 (p.53)

\*4 C5メニュー [Xモードの同調速度] で速度切り替え可能

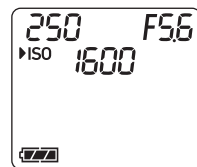
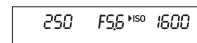
1 モードダイヤルを設定する露出モードに合わせる  
ステータススクリーン/ライブビューには、以下の値に ☺ / ☹ / ○ が表示

• ☺ / ☹ / ○ で値が変更可能でかつ固定値が設定されているとき

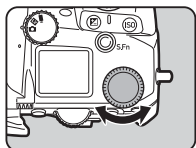
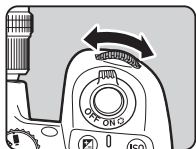
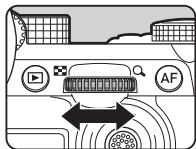
• 機能ボタンを押すなどして値を変更するモードになっているとき




ファインダー内の視野外情報表示と表示パネルには、変更可能な値に ▶ が表示








## 2 / を回す




スマートファンクションに [E-Dial] [ISO感度] [露出補正] を設定しているときは、 を回す

### ●メモ

- 露出は、1/3 EVステップで指定できます。C5メニュー [露出設定ステップ] で、1/2 EVステップに変更できます。
- M / Xモードでは、露出の調整中に適正露出との差がバググラフで表示されます。
-  /  と  を操作したときにどのように動作するかを、露出モードごとに設定できます。C2メニュー [電子ダイヤル] で設定します。(p.104)
-  2メニュー [連動外の自動補正] を [オン] に設定すると、適正露出が得られない場合に **SHUTTER** 半押しで自動補正が行われます。**SHUTTER** 半押しを解除すると、元の設定値に戻ります。
- M / XモードとBモード(タイマー露光時)でライブビュー撮影を行っているときは、露出設定に合わせてライブビューの明るさが変化します。露出設定に連動させない場合は、 2メニュー [露出再現ライブビュー] を [オフ] に設定します。

### ●注意

- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度 / 絞り値で適正露出が得られない場合があります。(ISO感度をAUTOに設定すると、適正露出が得られる場合があります。)
- Bモードでは、 4メニュー [ドライブモード] で [連続撮影] [ブラケット撮影] [インターバル撮影] [インターバル合成] は選択できません。(タイマー露光を設定すると、[インターバル撮影] [インターバル合成] は選択可能)

### タッチパネルでのAF

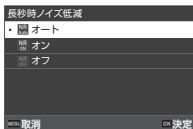
ライブビュー撮影時は、タッチパネルで測距点の移動ができます。タッチパネルでAFや撮影も行いたいときは、C3メニュー [LV撮影時のタッチAF] で設定します。

測距点移動	タッチしたところに測距点を移動(初期設定)
測距点移動+AF	タッチしたところに測距点を移動し、AFを行う
測距点移動+AF+撮影	タッチしたところに測距点を移動し、AFを行って撮影
オフ	撮影時にタッチパネルを使用しない

## 長秒時のノイズを軽減する



低速のシャッター速度で撮影するとき、**6**メニュー [ノイズリダクション] の [長秒時ノイズ低減] で、ノイズ軽減処理の設定ができます。



オート	ISO感度、シャッター速度、カメラ内部温度を判断してノイズリダクションを行う
オン	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダクションを行う
オフ	ノイズリダクションを行わない

## 露出の制御方法を設定する



**2**メニュー [プログラムライン] で、**P** / **Sv** / **TAv** / **M**モードの露出の制御方法が指定できます。



オート	カメラが適切な設定を判断
標準	基本のプログラム自動露出
高速優先	高速シャッターを優先
深度優先 (深い)	被写界深度を深くする
深度優先 (浅い)	被写界深度を浅くする
MTF優先	使用レンズの最良の絞り値を優先 D FA / DA / DA L / FA / FA J レンズ使用時に有効

## ハイパープログラム

**P**モードでシャッター速度または絞り値を変更すると、適正露出のままシャッター速度 / 絞り値をシフトさせることができます。この状態を「ハイパープログラム」と呼び、一時的に **Tv** / **Av** モードと表示されます。変更できるのは、シャッター速度 / 絞り値のどちらかになります。

**Q**を押すと、通常の**P**モードに戻ります。

## ハイパーマニュアル

ISO感度 / シャッター速度 / 絞り値を自由に設定する**M**モードで、**Q**を押し続けている間のみ一時的に自動露出で動作します。**Q**を押したときの露出モードは、**C2**メニュー [電子ダイヤル] で設定します。(p.104)

## アドバンスドモード

**C2**メニュー [電子ダイヤル] の [HYPER P/Sv時の動作] を [アドバンスド] に設定すると、**P** / **Sv** モードで「アドバンスドモード」が使用できます。(p.105) その他のモードでは、**C2**メニュー [電子ダイヤル] (p.104) で動作を割り当てると、使用できます。

ISO感度/シャッター速度/絞り値を任意に変更すると、変更した順にHYPERモードに切り替わっていき、すべての値を変更するとHYPER **M**モードになります。**■**を押すと、モードダイヤルで設定している露出モードに戻ります。


露出モード	ISO感度設定	操作1	HYPER	操作2	HYPER	操作3	HYPER
<b>P</b>	AUTO	絞り値	<b>Av</b>	シャッター速度	<b>TAv</b>	ISO	<b>M</b>
	固定値	絞り値	<b>Av</b>	シャッター速度	<b>M</b>	ISO	<b>M</b>
<b>Sv</b>	固定値	絞り値	<b>Av</b>	シャッター速度	<b>M</b>		
		シャッター速度	<b>Tv</b>	絞り値	<b>M</b>		
<b>Tv</b>	AUTO	絞り値	<b>TAv</b>	ISO変更	<b>M</b>		
	固定値	絞り値	<b>M</b>				
<b>Av</b>	AUTO	シャッター速度	<b>TAv</b>	ISO変更	<b>M</b>		
	固定値	シャッター速度	<b>M</b>				
<b>TAv</b>	AUTO	ISO変更	<b>M</b>				

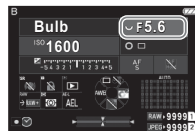
例) **P**モード、ISO AUTOの場合


- **P** → (絞り値変更) → HYPER **Av** → (シャッター速度変更) → HYPER **TAv** → (ISO感度変更) → HYPER **M**

## バルブ撮影

1 モードダイヤルを**B**に合わせる

2  で絞り値を設定する



3 タイマー露光を設定するときには **■** を押し、 で時間を設定する

1~20'00"で設定

4 **SHUTTER** を押す

**SHUTTER** を押し続けている間、露光される

手順3でタイマー露光を設定したときは、**SHUTTER** 全押し後、設定した時間で露光終了

### メモ

- バルブ撮影での**SHUTTER**の操作方法を、**C5**メニュー [Bモードの撮影方法] で設定できます。

<b>Bulb</b>	<b>SHUTTER</b> を押し続けている間、露光 (初期設定)
<b>Time</b>	露光開始時と終了時に <b>SHUTTER</b> を押す

- **■7**メニュー [Shake Reduction] は [オフ] 固定です。
- 三脚などでカメラをしっかりと固定して撮影してください。別売のケーブルスイッチまたはリモコンの利用をお勧めします。

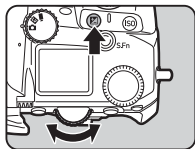
### 注意

- **B**モードでは、**■4**メニュー [ドライブモード] で [連続撮影] [ブラケット撮影] は選択できません。
- タイマー露光を設定していないときは、**■4**メニュー [ドライブモード] で、[インターバル撮影] [インターバル合成] は選択できません。

## 露出補正

露出を-5～+5 EV（**■**モードは-2～+2 EV）の範囲で補正できます。

1 **■**を押してから **☺**を回す



## ボタン・ダイヤル操作

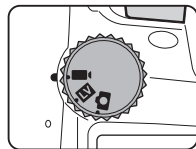
- |          |          |
|----------|----------|
| <b>■</b> | 設定の開始／終了 |
| <b>☺</b> | リセット     |

## メモ

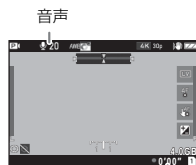
- ☺ / ☹ / ○ に露出補正を割り当てた場合に、**■**を押して補正値をリセットするように設定することもできます。C2メニュー [ワンブッシュ +/-初期化] で設定します。

## 動画を撮影する

1 **☺**/**L/V**/**■**ダイヤルを **■**に合わせる



ライブビューが表示



音声

録画時間

2 モードダイヤルで露出モードを選択する  
**P**/**Tv**/**Av**/**TAv**/**M**が選択可能

3 **☺**/**☹**で露出を設定する

4 **ピント**を合わせる  
AFモード時は、**SHUTTER**半押し

5 **SHUTTER**全押し  
撮影開始

6 もう一度 **SHUTTER**を押す  
撮影終了



## ● 注意

- 音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども録音されます。
- ■(6)メニュー [デジタルフィルター] などの画像処理を設定して撮影した場合は、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、撮影中にレンズを収納すると録画が中止され、エラーメッセージが表示されます。

## ● メモ

- モードダイヤルが手順 2 のモード以外になっているときは、**P**モードで動作します。
- 動画撮影中の AF 動作については、■(1)メニュー [ライブビュー撮影時AF] の [動画モード時のAF] で設定します。
- カメラに対応レンズを装着すると、■(1)メニュー [ライブビュー撮影時AF] の [AFモード] で [コンティニユアスAF] が設定できます。[コンティニユアスAF] に設定したときは、録画中も常にオートフォーカスが作動します。
- ■(1)モード時の **SHUTTER** 半押しでの AF 作動を無効にするときは、**C2**メニュー [AF/AEロック設定] の [動画] を [オフ] に設定します。
- 動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が終了します。

## 撮影中のタッチパネルでの操作

動画撮影中は、録画の開始/終了のほかにタッチパネルで以下の機能が変更できます。

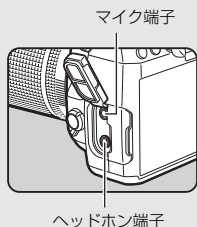
- ISO感度/シャッター速度/絞り値/露出補正
- 測距点
- 画面表示のオン/オフ

動画撮影中に AF も行いたいときは、**C3**メニュー [動画記録中のタッチAF] で設定します。

測距点移動	タッチしたところに測距点を移動 (初期設定)
測距点移動+AF 継続	タッチしたところに測距点を移動し、AFを継続 (対応レンズ装着時)
測距点移動+AF 後停止	タッチしたところに測距点を移動してAFを行ってから、AFを停止
オフ	撮影中にタッチパネルを使用しない

### マイクやヘッドホンを利用する

マイク端子に市販のステレオマイクを接続し、カメラの動作音などが録音されることを軽減できます。外部マイクは以下の仕様を推奨します。(モノラルマイクには、対応していません。)



プラグ	ステレオミニ (Ø3.5mm)
形式	ステレオ エレクトレットコンデンサー
電源	プラグインパワー方式 (動作電圧2.0V以下)
インピーダンス	2.2kΩ

また、ヘッドホン端子に市販のヘッドホンを接続すると、音声をヘッドホンで聴きながら撮影/再生ができます。

### 注意

- マイク端子/ヘッドホン端子に、推奨規格以外のマイクや機器を接続しないでください。また、ケーブル長が3m以上の外部マイクは使用しないでください。カメラが誤作動する場合があります。
- 外部マイクを接続し、無線LAN機能を有効にして動画を撮影すると、音声にノイズが入る場合があります。

## 動画の再生

### 1 再生モードの1画像表示で再生する動画を表示



### ボタン・ダイヤル操作


▲/タップ	再生/一時停止
◀▶	早戻し/早送り再生 (一時停止中) コマ戻し/コマ送り
▼/ダブルタップ	停止
	音量調節 (41段階)
AE-L	(一時停止中) 表示中のコマをJPEG形式で保存
INFO	標準情報表示/情報表示なし切り替え

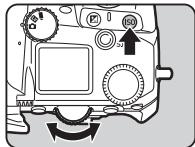
### メモ

- 再生時の最初の音量は、**▶1**メニュー [再生音量] で設定ができます。(p.85)
- ▶6** メニューで、動画の分割や不要範囲の消去ができます。(p.96)

## 露出を設定する

### ISO感度




1 **ISO**を押してから  を回す



#### ボタン・ダイヤル操作


	設定の開始／終了
	ISO AUTOに戻す



#### メモ

- モードは、ISO 100～25600で設定できます。
- ISO感度の調整ステップは1EVステップです。露出設定ステップに合わせるときは、**C5**メニュー [ISO感度ステップ] で設定します。
-  /  /  にISO感度を割り当てた場合に、設定画面を表示せずに **ISO** を押して ISO AUTOに戻すように設定することもできます。**C2**メニュー [ワンプッシュISOオート] で設定します。

## ISO AUTOの調整範囲を設定する



ISO AUTOの調整範囲を  **2**メニュー [ISO感度設定] で設定します。

ISO感度設定	
ISO感度オート上限値	3200
ISO感度オート下限値	100
低速限界の指定方法	
低速限界オートの動作	
低速限界シャッター速度	1/125

ISO感度オート上限値	ISO AUTOのISO感度上限値
ISO感度オート下限値	ISO AUTOのISO感度下限値
低速限界の指定方法	レンズの焦点距離に応じて自動で決定するか、限界値を設定するかを選択
低速限界オートの動作	[低速限界の指定方法] が [オート] のときの動作を選択
低速限界シャッター速度	[低速限界の指定方法] が [シャッター速度指定] のときの1EV単位のシャッター速度を設定

## 高感度時のノイズを軽減する

6

ISO感度を高く設定しているときのノイズ低減処理を設定できます。

1 **6**メニュー [ノイズリダクション] を選択、**▶**を押す

[ノイズリダクション] 画面が表示

2 [高感度ノイズ低減] を選択、**▶**を押す

3 強度を選択、**OK**を押す



オート	ISO感度に応じて最適なノイズリダクションを行う
弱/中/強	弱/中/強のノイズリダクションを行う
カスタム	ISO感度別にノイズリダクション処理を設定
オフ	ノイズリダクションを行わない

[カスタム] 以外は手順7へ

4 [カスタム時の動作] を選択、**▶**を押す

5 ISO感度を選択し、それぞれの強度を選択



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ ISO感度選択

◀▶ 強度選択

■ リセット

6 **OK**を押す  
手順3の画面に戻る

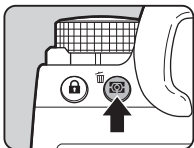
7 **MENU**を2回押す

## 測光モード



センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。

- 1 を押してから を回す  
または 2 / 2 メニュー [測光モード] を選択



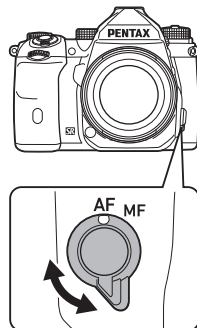
分割	センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正
中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正されない
スポット	センサー中央の狭い範囲を測光
ハイライト重点	撮影範囲を分割して測光し、明るい部分を重視

### メモ

- [分割] 設定時に、検出した顔に優先的に露出を合わせる場合は、 2 メニュー [顔優先AE] を [オン] に設定します。
- 2 メニュー [測距点と露出の関連付け] を [オン] に設定すると、[分割] [スポット] 時に測距点の明るさに応じて露出値が調整されます。

## フォーカスモードを設定する

フォーカスモード切替レバーで **AF** / **MF** を切り替えます。



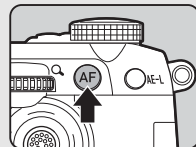
ファインダー撮影とライブビュー撮影では、オートフォーカスの方法が異なります。

ファインダー撮影	位相差検出式 [シングルAF] [コンティニュアスAF] が選択可能 「コントラスト検出式」よりも高速なオートフォーカスが可能
ライブビュー撮影	コントラスト検出式

### AF でピントを合わせる

**AF** でオートフォーカス動作を行うこともできます。

**SHUTTER** / **AF** の動作は、**C2** メニュー [AF/AEロック設定] で変更ができます。(p.104)



## ファインダー撮影のAF設定



カメラメニュー [ファインダー撮影時 AF] で、ファインダー撮影時のオートフォーカスの設定ができます。

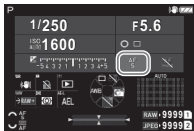
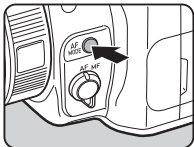


## メモ

- [AFモード] [AFエリア] は、**AF MODE** を押してから / で変更ができます。(p.60)

## AFモード

1 **AF MODE** を押してから を回す



<b>AF S</b>	シングルAF	<b>SHUTTER</b> 半押しでピントが合うと、その位置にピントを固定 必要に応じてAF補助光が発光
<b>AF C</b>	コンティニユアスAF	<b>SHUTTER</b> 半押しの間、被写体を追従して常にピントを調整 ピントが合っていないなくても撮影可能

## AFエリア

測距点を選択します。  
全101点のうち、41点の中から選択できます。

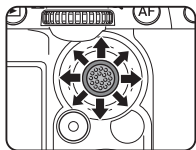
1 **AF MODE** を押してから を回す



<b>Auto</b>	オートエリア	全体から自動でピント位置を決定
<b>AF</b>	ゾーンセレクト	選択した21点から自動的にピント位置を決定
<b>AF</b>	セレクト	任意の5点を選択
<b>EX S</b>	セレクトエリア拡大 (S)	任意の5点を選択 合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の16点に拡大してAF [コンティニユアスAF] 時のみ
<b>EX M</b>	セレクトエリア拡大 (M)	任意の5点を選択 合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の60点に拡大してAF [コンティニユアスAF] 時のみ
<b>EX L</b>	セレクトエリア拡大 (L)	任意の5点を選択 合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の96点に拡大してAF [コンティニユアスAF] 時のみ
<b>S</b>	セレクト (S)	[セレクト] より小さいエリアでAF
<b>Spot</b>	スポット	中央の1点にピントを合わせる

[オートエリア] [スポット] 以外は手順2へ

## 2 で測距点を指定 押し込むとリセット



ステータス画面に変更し  
た測距点が表示



### メモ

- 選択した測距点は、ファインダー内でも確認ができます。  
(p.16)

### 注意

- 選択できる測距点は、装着しているレンズによって異なります。  
(p.117)

## AFエリアの使用制限

測距点の範囲を制限することができます。  
[オン] に設定すると、内側のAFフレームのみを使用します。

## AF.Sの動作

[シングルAF] で **SHUTTER** を全押ししたときに優先させる動作を [フォーカス優先] [リリース優先] から選択します。

## AF.C 1コマ目の動作

[コンティニュアスAF] で **SHUTTER** を全押ししたときの1コマ目の動作を [オート] [フォーカス優先] [リリース優先] から選択します。

## AF.C連続撮影中の動作

[コンティニュアスAF] で連続撮影していたときの動作を [オート] [フォーカス優先] [コマ速優先] から選択します。

## AFホールド

[コンティニュアスAF] で追尾中に、被写体が動いて見失ったときにすぐにAFを再作動させるか、一定時間フォーカスを保持してからAFを作動させるかを [オフ] [弱] [中] [強] から選択します。

## 測距不能時の動作

ピント合わせができないときに、レンズを動かしてピント合わせを行うか、ピント合わせができるようになるまで待つかを選択します。

## AF.C時の測距点追尾方法

[コンティニユアスAF] で測距点を追尾する方法を選択します。

Type1	AFセンサーとAEセンサーの情報で測距点を追尾
Type2	AFセンサーの情報のみで測距点を追尾

## 3

## 撮影

### 被写体認識

[AFエリア] が [オートエリア] [ゾーンセレクト] のときに、認識した被写体を優先してAFを行います。

### キャッチインフォーカス

ピントが合ったときに自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」ができます。  
マニュアルフォーカスレンズ、または**AF**/**MF**スイッチがあるレンズを**MF**に切り替えて使用します。

- 1 本機にマニュアルフォーカスレンズを取り付ける
- 2 フォーカスモードを**AF**にする
- 3 **1**メニュー [ファインダー撮影時AF] の [キャッチインフォーカス] を [オン] に設定する
- 4 カメラを設置する
- 5 被写体が通りそうな位置にピントを合わせ、**SHUTTER** 全押し  
被写体がピントを合わせた位置に入ると、自動的に撮影

## ライブビュー撮影のAF設定



**1**/**1**メニュー [ライブビュー撮影時AF] で、ライブビュー撮影時のオートフォーカスの設定ができます。

### **1**メニュー



### **1**メニュー




### メモ

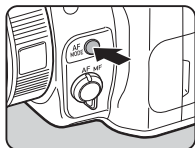
- [AF エリア] は、**AF** モードを押してから で変更ができます。(p.63)











## AFエリア

AFエリアを選択します。

1 **AF MODE** を押してから  を回す

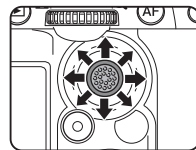


 オートエリア	全体から自動でピント位置を決定
 ゾーンセレクト	選択した3×3の範囲でAF
 追尾 *1	ピントが合った被写体を追尾
 セレクト (L)	[セレクト (M)] より大きいエリアでAF
 セレクト (M)	選択したエリアでAF
 セレクト (S)	[セレクト (M)] より小さいエリアでAF
 スポット	中央の1点にピントを合わせる

\*1  モードは選択不可

[オートエリア] [スポット] 以外は手順2へ

2  でAFエリアを指定  
押し込むとリセット



3

撮影

## 動画モード時のAF

■(モードでの、AF動作をフォーカスロックにするかAFを継続するか設定します。

[AF継続]は、**SHUTTER**半押し動作をしなくても、自動的にAFが動作します。対応しているレンズを装着したときのみ、動作が可能です。

## フォーカスアシスト

[エッジ強調] [エッジ抽出] に設定すると、ピントが合った部分の輪郭やコントラストが強調され、確認しやすくなります。**AF** / **MF** の両方で有効です。

## 注意

- オートフォーカス作動中と動画の記録中は、フォーカスアシスト表示はされません。
- フォーカスアシスト表示中は、ヒストグラム表示と白とび警告は表示されません。

## コントラストAFの動作

**SHUTTER** 全押し時に優先させる動作を [フォーカス優先] [リリース優先] から選択します。

## 顔検出

人物の顔を最大10人まで検出し、オートフォーカスを行います。

オン	[AFエリア] が [追尾] 以外有的时候に顔を検出
オートエリアのみ	[AFエリア] が [オートエリア] のときだけ顔を検出
オフ	顔を検出せず、[AFエリア] の設定に従う

## AF位置を微調整する

C7

オートフォーカスのピント位置を微調整します。

1 **C7**メニュー [AF微調整] を選択、▶を押す  
[AF微調整] 画面が表示

2 ▶を押す  
設定方法を選択する画面が表示

3 設定方法を選択、**OK**を押す

共通設定	すべてのレンズで同じ調整値を適用
個別設定	使用中のレンズの調整値を登録 (最大20種類)
オフ	AF微調整を行わない

4 ▼を押し、値を調整



## ボタン・ダイヤル操作


▶ 前方向 (手前側) に調整

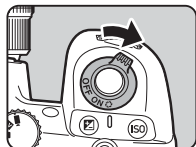
◀ 後方向 (奥側) に調整

◻ (個別設定) リセット

5 **MENU** を2回押す  
撮影待機状態に戻る

## 被写界深度を確認する（プレビュー）

電源レバーを  に合わせるとプレビューができます。  
2つのプレビュー方法があります。



光学プレビュー	被写界深度をファインダーで確認
デジタルプレビュー	構図／露出／ピントなどを画像モニターで確認 拡大表示したり、プレビュー画像を保存することが可能

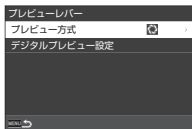
### メモ

- デジタルプレビューの表示中に **MENU** を押すと、プレビューが終了します。

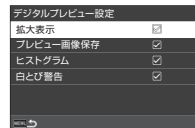
## プレビュー方法を設定する

**C2**

- C2メニュー** [プレビューレバー] を選択、▶ を押す  
[プレビューレバー] 画面が表示
- [プレビュー方式] を選択、▶ を押す



- [光学プレビュー] [デジタルプレビュー] を選択、**OK** を押す  
[デジタルプレビュー] を選択したときは [デジタルプレビュー設定] で、表示中の動作と表示項目を設定可能



- MENU** を2回または3回押す  
撮影待機状態に戻る

### 注意

- 一部の機能は、デジタルプレビューに適用されません。

**3****撮影**

## ドライブモードを選択する

4

[ドライブ] と [タイマー/リモコン] を組み合わせることができます。

### 1 撮影待機状態で▲を押す

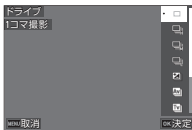
または **4**メニュー [ドライブモード] を選択  
[ドライブモード] 画面が表示



### 2 ▶を押す

[ドライブ] 画面が表示  
[タイマー/リモコン] はp.73参照

### 3 ▲▼で選択



1コマ撮影	通常の撮影
連続撮影 (H) 連続撮影 (M) 連続撮影 (L)	<b>SHUTTER</b> を押している間に連続して撮影 (p.67)
ブラケット撮影	露出が異なる画像を連続して撮影 (p.67)
被写界深度ブラケット	被写界深度 (絞り値) を変化させて連続撮影 (p.68)
モーションブラケット	シャッター速度を変化させて連続撮影 (p.69)

ミラーアップ撮影	<b>SHUTTER</b> 全押しでミラーをアップし、再度 <b>SHUTTER</b> 全押しで撮影 (p.69)
多重露出	任意の枚数を1枚の画像に合成しながら撮影 (p.70)
インターバル撮影	一定間隔で連続撮影し、それぞれ保存 (p.71)
インターバル合成	一定間隔で撮影した画像を1枚に合成 (p.72)

### ●注意

- 設定している機能によっては、選択できるドライブモードが制限されます。(p.115)

### ●メモ

- カメラの電源を切っても [ドライブ] の設定は保存されています。**C5**メニュー [モードメモリ] で [ドライブ] を **□** (オフ) に設定すると、電源を切ったときに [1コマ撮影] に戻ります。(p.111)

## 連続撮影

- 1 [ドライブ] 画面で [連続撮影 (H)] [連続撮影 (M)] [連続撮影 (L)] を選択



	高速
	中速
	低速

- 2 **OK** を押す

撮影待機状態に戻る

### メモ

- 1メニュー [ファインダー撮影時AF] の [AFモード] が [シングルAF] のときのオートフォーカスは、1枚目の合焦位置に固定されます。
- [セルフタイマー] を併用するときは、手順1の画面で **INFO** を押して [タイマー連続撮影回数] (2~20) が設定できます。

## ブラケット撮影

- 1 [ドライブ] 画面で [ブラケット撮影] を選択
- 2 撮影枚数とブラケット幅を設定

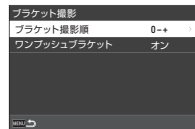


### ボタン・ダイヤル操作

	撮影枚数選択
	ブラケット幅変更
	露出補正
	リセット

- 3 **INFO** を押す

- 4 撮影条件を設定



ブラケット撮影順	撮影順を変更
ワンタッチブラケット	1回のレリーズでまとめて撮影

- 5 **OK** を押す

撮影待機状態に戻る

- 6 撮影する

撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

### メモ

- ブラケット幅は、**C5**メニュー [露出設定ステップ] の設定に従って [1/3 EVステップ] または [1/2 EVステップ] で設定できます。
- 撮影枚数とブラケット幅は、[ドライブモード] 画面で変更することもできます。

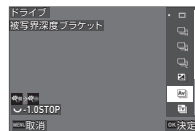
## 被写界深度ブラケット

露出を変えずに、絞り値を段階的に変化させて3枚連続して撮影します。



**Av** / **TAv** モードのときだけ選択できます。

1 [ドライブ] 画面で [被写界深度ブラケット] を選択

2 ブラケット幅を設定



### ボタン・ダイヤル操作

	ブラケット幅変更
	リセット

ブラケット幅+	現在の絞り値を基準に、被写界深度が深い画像を撮影
ブラケット幅-	現在の絞り値を基準に、被写界深度が浅い画像を撮影

3 **OK** を押す

撮影待機状態に戻る

4 撮影する

1回のリリースで3枚撮影

撮影待機状態に戻る

### メモ

- ブラケット幅は、**C5**メニュー [露出設定ステップ] の設定に従って [1/3 EVステップ] または [1/2 EVステップ] で設定できます。

### 注意

- 絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置以外で使用しているときは、選択できません。

## モーショブラケット

露出を変えずに、シャッター速度を段階的に変化させて3枚連続して撮影します。

**Tv** / **TAv** モードのときだけ選択できます。

1 [ドライブ] 画面で [モーショブラケット] を選択

2 ブラケット幅を設定



### ボタン・ダイヤル操作



ブラケット幅変更



リセット

ブラケット幅+	現在のシャッター速度を基準に、被写体を止めた画像を撮影
ブラケット幅-	現在のシャッター速度を基準に、躍動感のある画像を撮影

3 **OK** を押す

撮影待機状態に戻る

4 撮影する

1回のリリースで3枚撮影

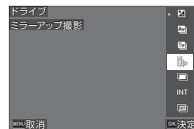
撮影待機状態に戻る

### メモ

- ブラケット幅は、**C5** メニュー [露出設定ステップ] の設定に従って [1/3 EVステップ] または [1/2 EVステップ] で設定できます。

## ミラーアップ撮影

1 [ドライブ] 画面で [ミラーアップ撮影] を選択



2 **OK** を押す

撮影待機状態に戻る

3 **SHUTTER** 半押し→全押し

ミラーがアップし、AEロック

4 もう一度 **SHUTTER** 全押し

撮影後、ミラーダウン

### メモ

- ミラーアップ時は電子音が鳴ります。鳴らないように設定することもできます。(p.110)
- M7**メニュー [Shake Reduction] は [オフ] 固定です。
- ミラーアップ中は、ファインダー内の視野外情報表示は、表示されません。
- ミラーアップ後1分経過すると、自動的にミラーが下がります。

## 多重露出

- 1 [ドライブ] 画面で [多重露出] を選択、**INFO** を押す



- 2 撮影条件を設定



合成方法	[平均] 露光量を平均して合成 [加算] 露光量を加算して合成 [比較明] 合成する画像を画素ごとに比較して最も明るい画素だけを合成
途中画像保存	途中の画像を保存するかどうかを選択
連続撮影	動作モードを選択
タイマー連続撮影回数	[セルフタイマー] 併用時に、カウントダウン後に連続撮影する回数 2～20回で設定

- 3 **MENU** を押す  
手順1の画面に戻る

- 4 **OK** を押す  
撮影待機状態に戻る

- 5 **SHUTTER** を押す  
クイックビューが表示

- 6 次の画像を撮影するときは [次の撮影へ] を選択、**OK** を押す  
撮影をやり直す場合は、[撮り直し] を選択  
撮影を終了するときは [完了] を選択

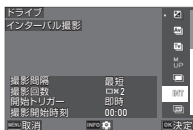
## ●注意

- Bモードのときは、[連続撮影] は設定できません。



## インターバル撮影

- 1 **【ドライブ】** 画面で **【インターバル撮影】** を選択、**【INFO】** を押す



- 2 撮影条件を設定



撮影間隔	最短／1秒～24時間で設定
撮影回数	∞／2～9999回で設定
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを選択
撮影開始時刻	【開始トリガー】が【時刻指定】のときに設定
定時リリース	シャッター速度に関係なく【撮影間隔】の時間で撮影
撮影毎のAF作動	1回目のフォーカス位置に固定して撮影するか、撮影ごとにオートフォーカス作動するかを選択

- 3 **MENU** を押す  
手順1の画面に戻る

- 4 **OK** を押す  
撮影待機状態に戻る

- 5 **SHUTTER** を押す  
【開始トリガー】が【即時】の場合は1回目撮影。【時刻指定】の場合は、設定時刻から撮影開始撮影を途中で終了する場合は、**OK** を押す設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

### メモ

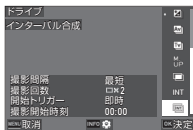
- 1回のインターバル撮影ごとに、新しくフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- 【撮影間隔】で設定した間隔で2回目以降の露光が開始されず。【撮影間隔】よりもシャッター速度が長い場合は、【定時リリース】の設定によって撮影結果が異なります。

定時リリース	【撮影間隔】よりもシャッター速度が長い場合
オン	途中の撮影をスキップ 例) 【撮影間隔】が2秒、シャッター速度が3秒の場合： 2回目（撮影開始から2秒後）は1回目の露光中のため撮影されない（【撮影回数】のコマ数を撮影せずに終了）
オフ	途中の撮影はスキップされない 例) 【撮影間隔】が2秒、シャッター速度が3秒の場合： 2回目（撮影開始から2秒後）は1回目の露光が終了した直後に撮影（【撮影回数】のコマ数を撮影して終了）

- 【定時リリース】を【オン】に設定したときは、【撮影間隔】で【最短】は設定できません。【最短】に設定されていた場合は、【1秒】に切り替わります。
- 【撮影間隔】の【最短】は、**☑**メニューの機能との組み合わせによって異なります。

## インターバル合成

- 1 [ドライブ] 画面で [インターバル合成] を選択、  
[INFO] を押す



- 2 撮影条件を設定



撮影間隔	最短/1秒~24時間で設定
撮影回数	∞/2~9999回で設定
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを選択
撮影開始時刻	[開始トリガー] が [時刻指定] のときに設定
合成方法	[平均] [加算] [比較明] から選択
途中画像保存	途中の画像を保存するかどうかを選択
定時リリース	シャッター速度に関係なく [撮影間隔] の時間で撮影
撮影毎のAF作動	1回目のフォーカス位置に固定して撮影するか、撮影ごとにオートフォーカス作動するかを選択

- 3 [MENU] を押す  
手順1の画面に戻る

- 4 [OK] を押す  
撮影待機状態に戻る

- 5 **SHUTTER** を押す  
[開始トリガー] が [即時] の場合は1回目撮影。[時刻指定] の場合は、設定時刻から撮影開始撮影を途中で終了する場合は、[OK] を押す  
設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

### メモ

- [途中画像保存] が [元画像] [合成画像] のときは、1回のインターバル撮影ごとに新しくフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- [撮影間隔] で設定した間隔で2回目以降の露光が開始されません。[撮影間隔] よりもシャッター速度が長い場合は、[定時リリース] の設定によって撮影結果が異なります。

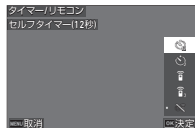
定時リリース	[撮影間隔] よりもシャッター速度が長い場合
オン	途中の撮影をスキップ 例) [撮影間隔] が2秒、シャッター速度が3秒の場合： 2回目 (撮影開始から2秒後) は1回目の露光中のため撮影されない ([撮影回数] のコマ数を撮影せずに終了)
オフ	途中の撮影はスキップされない 例) [撮影間隔] が2秒、シャッター速度が3秒の場合： 2回目 (撮影開始から2秒後) は1回目の露光が終了した直後に撮影 ([撮影回数] のコマ数を撮影して終了)



- [定時リリース] を [オン] に設定したときは、[撮影間隔] で [最短] は設定できません。[最短] に設定されていた場合は、[1秒] に切り替わります。
- [撮影間隔] の [最短] は、メニューの機能との組み合わせによって異なります。
- 撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

## セルフタイマー

1 [ドライブモード] 画面で [タイマー/リモコン] を選択、▶を押す

2 ▲▼で選択



	セルフタイマー (12秒)
	セルフタイマー (2秒)

3 OKを押す

撮影待機状態に戻る

4 SHUTTER 半押し→全押し

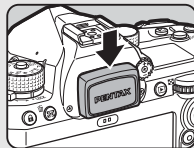
12秒後または2秒後に撮影

### メモ

- ・ カウントダウン中は、セルフタイマーランプが点滅します。点滅しないように設定することもできます。(p.110)
- ・ カウントダウン中は、電子音が鳴ります。鳴らないように設定することもできます。(p.110)
- ・ 7メニュー [Shake Reduction] は自動的にオフになります。オフにしたくないときは、7メニュー [SRの自動オフ] で設定します。

ファインダーから光が入ってしまうとき

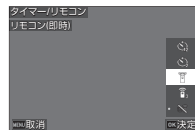
[セルフタイマー] [リモコン] を使用するときは、ファインダーから入る光が露出に影響を与えることがあります。その場合は、AEロックを使用するか、付属のMEファインダーキャップを利用してください。MEファインダーキャップは、アイカップを外して取り付けます。





## リモコン

1 [ドライブモード] 画面で [タイマー/リモコン] を選択、▶を押す

2 ▲▼で選択





	リモコン (即時)
	リモコン (3秒)

3 SHUTTER 半押し




4 カメラのリモコン受光部にリモコンを向け、リモコンのシャッターボタンを押す

### メモ

- 4モードでは、■4メニュー [リモコン] で設定します。
- リモコンが有効なときは、カメラのリモコン受光部が点滅します。点滅しないように設定することもできます。(p.110)
- [リモコン] 設定時は、アイセンサーは無効になります。
- 📷7 / ■7メニュー [Shake Reduction] は自動的にオフになります。オフにしたいときは、📷7 / ■7メニュー [SRの自動オフ] で設定します。
- リモコンで撮影できる距離は、カメラ正面から約 4m、背面から約2mです。
- リモコンでピント合わせを行う場合は、C6メニュー [リモコン撮影時のAF] を [オン] に設定します。
- 防水リモコン O-RC1を使用時は、リモコンの  ボタンでピント合わせができます。Fnボタンには対応していません。
- カメラの電源を切っても [タイマー/リモコン] の設定は保存されています。C5メニュー [モードメモリ] で [タイマー/リモコン] を  (オフ) に設定すると、電源を切ったときに [オフ] に戻ります。(p.111)











## ホワイトバランスを設定する

 3 /  3

- 1 撮影待機状態で  を押す  
または  3 /  3メニュー [ホワイトバランス] を選択 [ホワイトバランス] 画面が表示

- 2 ▲▼ でホワイトバランスを選択



 オートWB
 マルチパターンオート <sup>*1</sup>
 太陽光
 日陰
 曇天
 昼光色蛍光灯
 昼白色蛍光灯
 白色蛍光灯
 電球色蛍光灯
 白熱灯
 Color Temperature Enhancement



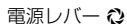
マニュアルWB1～3



色温度1～3

\*1 ■モードは選択不可

### ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作



電源レバー

設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー



AE-L

プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

微調整が不要なときは、手順5へ

## 3

### INFO を押す

微調整画面が表示



### ボタン・ダイヤル操作



G-M（グリーン－マゼンタ）間



B-A（ブルー－アンバー）間



リセット

## 4

### OK を押す

手順2の画面に戻る

## 5

### OK を押す

撮影待機状態に戻る

### 注意

- AUTOモードのときは、[オートWB] 固定です。

### メモ



- [マルチパターンオート] は、光源が混在する場所でも領域ごとの光源を判断して自動調整します。
- 3メニューでホワイトバランスに関する設定ができます。

光源指定時の自動調整	オン/オフ
白熱灯下のオートWB	強/弱


- 撮影後にホワイトバランスを補正することもできます。（p.95）

## マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

- 1 「ホワイトバランスを設定する」(p.74) の手順2で  1 ~  3 を選択  
対象画像が表示されている場合は、手順3へ



- 2 測定する照明の下で白い物を被写体として、電源レバーを  に合わせる  
撮影画像が表示




- 3 **RAW** を押す  
調整範囲選択画面が表示

- 4     で測定範囲を指定



- 5 **OK** を押す  
ホワイトバランス設定画面に戻る  
測定できなかったときは、[処理に失敗しました。]と表示。  
**OK** で再測定

### メモ

- ・  7メニュー [マニュアルWB登録] で、撮影済み画像のホワイトバランスを  1 ~  3 に登録できます。

## 色温度でホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを指定します。

- 1 「ホワイトバランスを設定する」(p.74) の手順2で **K1~K3** を選択
- 2 **INFO** を押す
- 3 色温度を調整  
2500~10000K (ケルビン) で設定





### ボタン・ダイヤル操作

	10K単位
	100K単位
	500K単位
 	微調整

- 4 **OK** を押す  
ホワイトバランス設定画面に戻る

### メモ

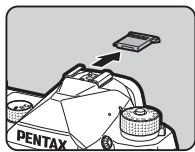
- ・ **C6**メニュー [色温度ステップ] を [ミレッド] に設定すると、ミレッド単位で色温度が設定できます。 で20ミレッド単位、 で100ミレッド単位で変更ができます。その場合も、画面表示はケルビン換算で表示されます。

## フラッシュを使用する

別売の外付けフラッシュを接続してフラッシュ撮影を行います。

### フラッシュを接続する

カメラのホットシューカバーを外して外付けフラッシュを取り付けます。



#### メモ

- 外付けフラッシュの機能については、「外付けフラッシュ利用時の機能」(p.119)を参照してください。

### フラッシュモードを設定する



1 **Q2**メニュー[フラッシュモード]を選択、▶を押す  
[フラッシュモード] 画面が表示

2 フラッシュモードを選択



<b>自動発光</b> Auto	周りの明るさを自動測定し、発光をカメラが判断
<b>赤目軽減 自動発光</b> Auto	自動発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
<b>強制発光</b>	常に発光
<b>赤目軽減 強制発光</b>	強制発光前に赤目軽減のための予備発光を行う

<b>スローシンクロ</b>	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物を撮影するときなどに利用
<b>赤目軽減 スローシンクロ</b>	スローシンクロ発光前に、赤目軽減のための予備発光を行う

#### ボタン・ダイヤル操作

	フラッシュ光量補正 (-2.0~+1.0)
	リセット

3 **OK**を押す

4 **MENU**を押す  
撮影待機状態に戻る

#### メモ

- 撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。
- Av**モード時のフラッシュ撮影は、使用レンズによって1/200秒から低速側までシャッター速度が変化します。D FA/DA/DAL/FA/FAJ/Fレンズ以外を使用した場合は、シャッター速度は1/200秒固定です。
- Tv**/**TAv**/**M**モード時のフラッシュ撮影は、1/200秒とそれより遅いシャッター速度が設定できます。

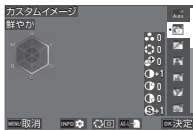
# 仕上がりイメージを決めて撮影する

## カスタムイメージ

📷6 / 📺6

- 1 撮影待機状態で▶を押す  
または📷6 / 📺6メニュー [カスタムイメージ] を選択  
[カスタムイメージ] 画面が表示

- 2 ▲▼で画像仕上を選択



オートセレクト	ほのか
鮮やか	フラット
ナチュラル	銀残し
人物	リバーサルフィルム
風景	モノトーン
雅 (MIYABI)	クロスプロセス
ポップチューン	

### ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

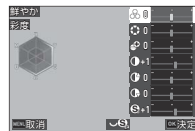
電源レバー 設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー

**AE-L** プレビュー画像を保存 (保存可能時のみ)

[オートセレクト] を選択したときとパラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

- 3 **INFO** を押す  
パラメーター設定画面が表示

## 4 パラメーターを設定



### ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼ パラメーター選択
- ◀▶ 値調整
- シャープネス/ファインシャープネス切り替え
- リセット

- 5 **OK** を押す  
手順2の画面に戻る  
パラメーターの設定値が表示

- 6 **OK** を押す  
撮影待機状態に戻る

- 注意  
・AUTOモードのときは、[オートセレクト] 固定です。



## 撮影済み画像のクロスプロセス設定を登録する

7

【クロスプロセス】のシャッフルを設定して撮影した画像は、撮影するたびに処理結果が異なります。気に入ったクロスプロセス画像が撮影できたときは、その設定を登録しておいて呼び出して使用することができます。

### 1 **7** メニュー [クロスプロセス登録] を選択、**OK** を押す

最新画像から順にクロスプロセス画像を検索  
見つからない場合は [処理できる画像がありません。] と表示

### 2 **1** でクロスプロセス画像を選択



### 3 **▲▼** で F1 ~ F3 を選択、**OK** を押す

指定した画像の設定が登録

#### メモ

- 登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」(p.78)の手順2で【クロスプロセス】を選択し、パラメーターで F1 ~ F3 を選択して呼び出します。

## デジタルフィルター

6 / 16

### 1 **6** / **16** メニュー [デジタルフィルター] を選択、**▶** を押す

[デジタルフィルター] 画面が表示

### 2 **▲▼** でフィルターを選択

デジタルフィルター撮影を終了するときは [オフ] を選択



色抽出	ネガポジ反転
色の置換え	ソリッドモノカラー
トイカメラ*1	ドラマチックアート*1
レトロ	ハードモノクローム
ハイコントラスト	粒状感モノクローム*1
シェーディング*1	

\*1 ■モードは選択不可

#### ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

電源レバー <b>☺</b>	設定を適用した背景画像をデジタルレビュー
<b>AE-L</b>	レビュー画像を保存 (保存可能時のみ)

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

### 3 **INFO** を押す

パラメーター設定画面が表示

3

撮影

## 4 パラメーターを設定



## ボタン・ダイヤル操作

---

 ▲▼ パラメーター選択
 

---

 ◀▶ 値調整
 

---

## 5 OKを押す

手順2の画面に戻る

## 6 OKを押す

## 7 MENUを押す

撮影待機状態に戻る

## ●注意

- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

## ●メモ

- 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。(p.91)

## 補正して撮影する

## 明るさを補正する

## ハイライト補正／シャドー補正

⑥ / ⑦

ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白とび／黒つぶれを防ぎます。

⑥ / ⑦メニュー[ダイナミックレンジ補正]で設定します。



## ●注意

- ISO感度をISO 200未満に設定したときは、[ハイライト補正]を[オン]に設定することはできません。

## ●メモ

- ⑦(モード)のときの[ハイライト補正]は、[オート][オフ]が設定できます。

ダイナミックレンジが不足するようなシーンで、露出が異なる3枚の画像を撮影して合成し、ダイナミックレンジの広い画像を記録します。

1 📷4メニュー [HDR撮影] を選択、▶を押す  
[HDR撮影] 画面が表示

2 [HDR撮影] でタイプを選択、  
OKを押す



3 [振り幅設定] で露出を変化させる幅を選択  
[±1.0EV] [±2.0EV] [±3.0EV] から選択

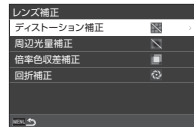
4 [自動位置調整] を設定

5 MENU を2回押す  
撮影待機状態に戻る

### 📌注意

- 以下のときは、[HDR撮影] は利用できません。
  - B / Xモード
  - ■モード
- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- 📷4メニュー [ドライブモード] で [インターバル撮影] に設定したときは、[自動位置調整] は [オフ] 固定です。
- [自動位置調整] を [オフ] に設定したときは、📷7メニュー [Shake Reduction] は [オフ] 固定です。
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。

📷6メニュー [レンズ補正] で以下の補正ができます。



ディストーション補正	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正
周辺光量補正	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正
倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正
回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正

### 📌メモ

- レンズ補正に対応しているレンズを装着しているときだけ設定できます。(p.116) また、カメラとレンズの間にリアコンバーターなどのアクセサリを装着した場合は、設定は無効です。
- 📷5メニュー [記録形式] が [RAW] [RAW+JPEG] の場合は、補正情報がRAWファイルのパラメーターに記録され、📷4メニュー [RAW現像] を実行したときに [オン] [オフ] が選択できます。また [RAW現像] で、[フリッジ補正] が設定できます。(p.92)

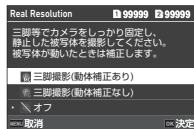
## 画質／質感を補正する

## より高精細な画像を撮影する



「Real Resolution（リアル・レゾリューション・システム）」では、4枚の画像を合成することで静止物の撮影で高精細な画像を得ることができます。

📷4メニュー [Real Resolution] で設定します。



三脚撮影（動体補正あり）	動体を検出したときに、モザイク状のノイズを軽減
三脚撮影（動体補正なし）	動体検出を行わない
オフ	Real Resolutionオフ

撮影を行うと、4枚の画像が順に表示された後、合成処理が行われます。

## 🔍メモ

- 📷4メニュー [ドライブモード] の [ミラーアップ撮影] [セルフタイマー] [リモコン] の利用をお勧めします。
- 📷7メニュー [Shake Reduction] は [オフ] 固定です。

## 🚫注意

- 以下のときは、[Real Resolution] は利用できません。
  - 📷/📷モード
  - 📷モード
- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- 📷4メニュー [ローパスセレクター] は、[オフ] 固定です。
- [Real Resolution] を使用して撮影するときは、三脚などでカメラをしっかり固定してください。

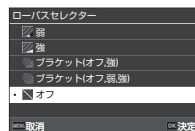
## モアレを低減させる



Shake Reductionユニットを振動させることによって、ローパスフィルターのようなモアレ低減効果を得ることができます。

1 📷4メニュー [ローパスセレクター] を選択、▶を押す

2 タイプを選択、OKを押す



弱	解像度とモアレ低減のバランスをとって撮影
強	モアレ低減優先
ブラケット(オフ,強)	オフ/強の順に2枚連続して撮影
ブラケット(オフ,弱,強)	オフ/弱/強の順に3枚連続して撮影

## 🚫注意

- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- 以下のときは [ブラケット(オフ,強)] [ブラケット(オフ,弱,強)] は選択できません。
  - 📷モード
  - 📷4メニュー [ドライブモード] が [1コマ撮影] 以外のとき
  - 📷4メニュー [HDR撮影] [Real Resolution]
- シャッター速度が1/1000秒より高速な場合は、十分な効果が得られません。

## 質感をコントロールする

6

凹凸感や質感を、画像処理で-4～+4に変更できます。

📷6メニュー [明瞭度] で設定します。

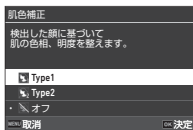


## 肌をきれいに撮影する

6

人物の肌の質感を向上させます。

📷6メニュー [肌色補正] で設定します。



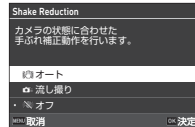
Type1	顔検出機能で肌色を特定し、肌色部をより良い肌色に変換 顔を検出したときのみ動作
Type2	画像全体をやわらかく仕上げ、肌のきめなどを目立たなくする

## 手ぶれを補正する

7 / 17

本機に内蔵されている Shake Reduction ユニットを利用して、手ぶれを防ぎます。

SR を押して切り替えるか、📷7メニュー [Shake Reduction] で設定します。



オート	手ぶれ補正と流し撮りを自動で切り替え
流し撮り	ゆっくり動く被写体を流し撮りするときを選択
オフ	手ぶれ補正オフ

■(モードでは、[オン] [オフ] を設定します。

### 📌メモ

- 以下のときは [Shake Reduction] は [オフ] 固定です。
  - Bモード
  - 📷4メニュー [ドライブモード] の [ミラーアップ撮影] [セルフタイマー] [リモコン]
  - 📷4メニュー [Real Resolution]
  - 📷4メニュー [ドライブモード] の [セルフタイマー] [リモコン] が有効で [Shake Reduction] をオフにしたいときは、📷7 / 📷17メニュー [SRの自動オフ] で [自動オフしない] に設定します。
  - SR を押したときの動作は、C2メニュー [Fx ボタン] の [Shake Reduction] で設定します。(p.103)

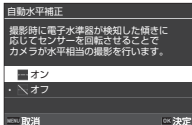
### 📌注意

- 動画撮影時は、Shake Reduction ユニットの作動音が記録されることがあります。

## 傾きを補正する



電子水準器が検出した水平方向の傾きを補正して撮影します。☑7メニュー [自動水平補正] で設定します。



## 構図を微調整する



Shake Reductionユニットを移動させることによって、構図の位置と傾きを微調整します。ライブビュー撮影時に、三脚にカメラを固定した状態で構図を調整したいときなどに使用します。

1 ☑7メニュー [構図微調整] で [オン] を選択

2 MENU を押す  
撮影待機状態に戻る

3 ☑/LV/■ダイヤルをLVに合わせる  
[構図微調整] 画面が表示

4 構図を調整する  
画面右上に設定値が表示



## ボタン・ダイヤル操作



構図を移動 (最大24ステップ)



傾きを補正 (最大8ステップ。移動量が17ステップ以上のときは不可)



リセット

5 OK を押す

ライブビューの撮影待機状態に戻る

## ●注意

- ☑4メニュー [アストロトレーサー] 設定時は、[構図微調整] はできません。

## ●メモ

- 構図微調整位置は、ライブビューを終了したり電源を切っても記憶されています。電源を切ったときに調整位置をリセットしたい場合は、C5メニュー [モードメモリ] で [構図微調整範囲] を (オフ) に設定します。(p.111)
- C2メニュー [Fx ボタン] で [構図微調整] を登録すると、ボタン操作で構図微調整を開始することができます。(p.102)

## 再生機能を選択する

再生に関する機能は、▶メニュー (p.26)、または「再生機能選択画面」で選択します。

再生モードのときに $\text{AEL}$ を押すと再生機能選択画面が表示されます。再生機能選択画面では、▶2～7メニューの機能が選択できます。



### 注意

- 表示している画像が再生機能に対応していない場合は、その機能は実行できません。

### メモ

- 再生機能を実行しても、画像の撮影日は変更されません。

## 再生モードの動作を設定する

▶1

▶1メニューで、再生モードの基本的な動作を設定します。以下の設定ができます。

再生カードスロット選択	SD1 / SD2
画像の自動回転	オン / オフ
再生順序設定	ファイル番号 / 撮影日時
再生音量	0～40
タッチ時の画像送り効果	オン / オフ

### メモ

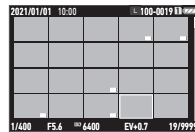
- 再生機能は、[再生カードスロット選択] で選択したスロットのメモリーカードに対して実行されます。

## 再生方法を変更する







### 複数画像を表示する

画像を複数枚 (20 / 48 / 70画像) ずつ表示します。

- 再生モードで  を左に回す  
複数画像が表示



### ボタン・ダイヤル操作

	選択枠を移動
	ページ切り替え
	表示画像数切り替え
	再生スロット切り替え
	再生機能選択画面を表示
	複数画像消去

- $\text{OK}$ を押す  
選択画像が1画像表示

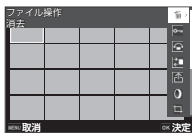
## 複数画像を選択する

複数画像を表示している状態で、まとめて再生機能を実行することができます。

## 1 「複数画像を表示する」(p.85)の手順 1 の画面で

**MENU** または **▲** を押す

▶ メニューまたは再生機能選択画面が表示

2 ▲▼で機能を選択し、**OK**を押す

## 3 対象画像を選択する



## ボタン・ダイヤル操作

- |           |             |
|-----------|-------------|
| ▲▼▶       | 選択枠を移動      |
| <b>OK</b> | 画像を選択／解除    |
| <b>☑</b>  | 範囲の始点／終点を指定 |
|           | 選択画像を1画像表示  |
|           | で画像切り替え     |

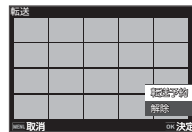
4 **INFO** を押す

確認画面が表示

5 **[実行]** を選択、**OK** を押す

## ●メモ

- 1画像ずつの指定と範囲指定が併用できます。
- 各機能の詳細は、以下を参照してください。
  - 消去 (p.88)
  - プロテクト (p.89)
  - コピー (p.90)
  - 転送 (p.90)
  - RAW現像 (p.92)
- 手順 2 で複数画像選択が実行できない機能を選択したときは、選択枠が表示されている画像に機能が実行されます。
- 手順2で [転送] を選択した場合は、[転送予約] [解除] が選択できます。[転送予約] を選択した場合は、転送するファイル形式を選択します。[解除] を選択した場合は、全画像の転送予約が解除されます。






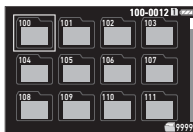
## フォルダー／撮影日ごとに表示する

画像が保存されているフォルダー、または撮影日ごとに画像を表示したり、まとめて再生機能を実行することができます。どちらが表示されるかは、**▶1**メニュー [再生順序設定] の設定によって異なります。






### 1 「複数画像を表示する」(p.85) の手順1の画面で

を左に回す

フォルダーまたは撮影日が表示



#### ボタン・ダイヤル操作

- |   |                |
|---|----------------|
|  | 選択枠を移動         |
|  | 複数画像表示         |
|  | 再生スロット切り替え     |
|  | 再生機能選択画面を表示    |
|  | フォルダー／撮影日単位で消去 |

### 2 **OK**を押す

フォルダー／撮影日内の画像が表示

#### ●メモ

- 手順1で再生機能選択画面を表示したときは、選択されていたフォルダー／撮影日の画像にまとめて機能が実行されます。まとめて実行できない機能の場合は、エラーメッセージが表示されます。

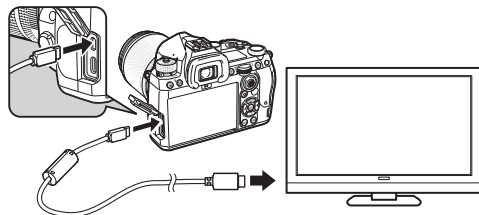
## AV機器と接続する

HDMI®端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、再生モードで1画像表示ができます。

HDMI®端子(タイプD)を備えた市販のHDMI®ケーブルを用意してください。

### 1 AV機器とカメラの電源を切る

### 2 カメラの端子カバーを開き、HDMI®端子にケーブルを接続する



### 3 ケーブルのもう一方の端子をAV機器の映像入力端子に接続する

### 4 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラが外部映像出力モードで起動、AV機器にカメラの情報が表示

#### ●注意

- AV機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で操作してください。

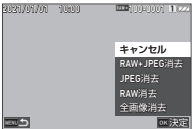
## ●メモ

- ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してください。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。(p.41)

## ファイル进行操作する

## 消去する



- 2メニューまたは再生機能選択画面で「消去」を選択
  - 1画像消去 全画像消去 を選択  
表示している画像の「記録形式」が「RAW+JPEG」の場合は、消去するファイル形式を選択  
「全画像消去」を選択した場合は、手順4へ
- 
- で画像を変更
  - OK** を押す  
「全画像消去」は確認画面が表示。手順5へ
  - 実行** を選択、**OK** を押す

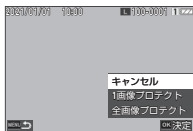
## プロテクトする

▶2

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

1 ▶2メニューまたは再生機能選択画面で【プロテクト】を選択

2 【1 画像プロテクト】【全画像プロテクト】を選択  
【全画像プロテクト】は、手順4へ



3 設定アイコンで画像を変更

4 OKを押す

【全画像プロテクト】は確認画面が表示。手順5へ

5 【プロテクト】を選択、OKを押す

### 注意

- メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も消去されます。

### メモ

- プロテクトを解除するときは、もう一度プロテクトを設定します。

## 回転する

▶2

▶1メニュー【画像の自動回転】が【オン】（初期設定）に設定されているときは、回転情報に従って再生されます。回転情報は、以下の手順で変更できます。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 ▶2メニューまたは再生機能選択画面で【回転】を選択

3 ▲▼で回転方向を選択、OKを押す  
回転情報が更新、1画像表示に戻る



### 注意

- 次のときは、回転情報を変更できません。
  - プロテクトされた画像
  - 動画
  - 回転情報タグがない画像

### メモ

- C6メニュー【回転情報記録】で、特定の角度で回転情報を記録することもできます。

## 画像をコピーする



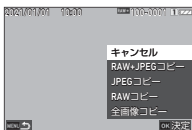
2

SD1とSD2のメモリーカード間で画像をコピーします。

1 2 メニューまたは再生機能選択画面で [コピー] を選択

2 [1画像コピー] [全画像コピー] を選択

表示している画像の [記録形式] が [RAW+JPEG] の場合は、コピーするファイル形式を選択 [全画像コピー] を選択した場合は、手順4へ



3 で画像を変更

4 **OK** を押す

[全画像コピー] の場合は [実行] を選択し、**OK** を押す  
もう1枚のメモリーカードに画像がコピー

## 画像を転送する



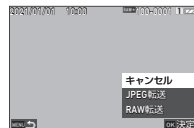
2

通信端末に転送する画像を選択して、転送予約を設定します。  
カメラと通信端末が無線LANで接続されると、転送が開始されます。

1 2メニューまたは再生機能選択画面で [転送] を選択

2 [1画像転送] を選択

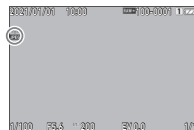
[記録形式] が [RAW+JPEG] で撮影された画像の場合は、転送するファイル形式を選択



3 で画像を変更

4 **OK** を押す

画像に転送予約が設定



## メモ

- 転送予約を解除するときは、もう一度 [1 画像転送] を選択します。

## RAW画像を追加保存する

▶2

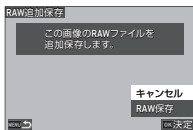
撮影したJPEG画像で、バッファにRAWデータが残っている場合に、RAW画像を追加保存することができます。

### 1 画像表示のときに、▶2メニュー [RAW追加保存] を選択

確認画面が表示  
対象画像がない場合は、[処理できる画像がありません。]と表示

### 2 [RAW 保存] を選択し、OKを押す

RAW画像が保存される



### 注意

- 再生機能選択画面では設定できません。

### メモ

- RAW 追加保存ができる画像を 1 画像表示で表示しているときは、RAW で追加保存ができます。
- [RAW追加保存] を実行した画像は、▶5メニュー [記録形式] を [RAW+JPEG] に設定して撮影した画像と同じ扱いになります。

## 画像を加工／編集する

本機で撮影した画像を加工／編集します。

## デジタルフィルターで加工する

▶3

### 1 画像表示で対象画像を表示

### 2 ▶3メニューまたは再生機能選択画面で [デジタルフィルター] を選択 [デジタルフィルター] 画面が表示

### 3 ▲▼でフィルターを選択



ベースメイク	ドラマチックアート
色抽出	ハードモノクローム
色の置換え	粒状感モノクローム
トイカメラ	ミニチュア
レトロ	ソフト
ハイコントラスト	フィッシュアイ
シェーディング	スリム
ネガポジ反転	モノトーン
ソリッドモノカラー	縁取り

### ボタン・ダイヤル操作

ISO プレビューを表示

パラメーターの変更が不要なときは、手順7へ

### 4 INFOを押す

パラメーター設定画面が表示

## 5 パラメーターを設定



### ボタン・ダイヤル操作

▲▼ パラメーター選択

◀▶ 値調整

## 6 OKを押す

手順3の画面に戻る

## 7 OKを押す

フィルター追加の確認画面が表示

## 8 [フィルター追加] [保存] を選択、OKを押す

続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は [フィルター追加] を選択  
手順3の画面に戻る  
[保存] を選択した場合は、保存の確認画面が表示

## 9 [SD1] [SD2] を選択、OKを押す

### ●注意

- ・ [デジタルフィルター] で加工できるのは、本機で撮影した JPEG / RAW画像のみです。
- ・ 撮影時に **4** メニュー [HDR撮影] [Real Resolution] を設定したRAW画像は、[デジタルフィルター] で加工することはできません。

### ●メモ

- ・ 撮影時に設定した **6** メニュー [デジタルフィルター] (p.79) も含めて、7回までフィルターを重ねることができません。

## RAW現像

▶ 4

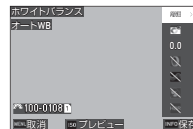
RAW画像をJPEG / TIFF形式に変換して保存します。

## 1 1画像表示で対象画像を表示

## 2 **4**メニューまたは再生機能選択画面で [RAW 現像] を選択

RAW現像の設定画面が表示

## 3 パラメーターを設定



ホワイトバランス	倍率色収差補正
カスタムイメージ	回折補正
増減感	フリッジ補正
デジタルフィルター	高感度ノイズ低減
明瞭度	シャドウ補正
肌色補正	記録形式
HDR撮影	JPEG記録サイズ
Real Resolution	JPEG画質
ディストーション補正	アスペクト比
周辺光量補正	色空間

### ボタン・ダイヤル操作

↻ 画像切り替え

▲▼ パラメーター選択

▶ 詳細設定

ISO プレビューを表示

## 4 **INFO**を押す

保存の確認画面が表示

5 [SD1] [SD2] を選択、**OK** を押す

6 [継続] [終了] を選択、**OK** を押す  
[継続] を選択した場合は、手順3の画面に戻る

#### ●注意

- [RAW現像] が実行できるのは、本機で撮影したRAW画像のみです。
- **4** メニュー [ドライブモード] で [多重露出] [インターバル合成] で撮影したRAW画像は、撮影時の [レンズ補正] の設定に従ってRAW現像されます。RAW現像時に、[レンズ補正] の設定を変更することはできません。

#### ●メモ

- 複数画像表示/フォルダー表示/撮影日表示から [RAW 現像] を実行した場合は、新しいフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- パラメーターの [デジタルフィルター] [明瞭度] [肌色補正] [HDR撮影] [Real Resolution] は、撮影時の設定によっていずれかの設定ができます。撮影時に [HDR撮影] [Real Resolution] を設定したRAW画像は、RAW現像で [デジタルフィルター] [明瞭度] [肌色補正] を設定することはできません。
- 付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用すると、パソコンでRAW現像ができます。(p.98)

## 画像のサイズを変更する

### ●注意

- すでに最小サイズにリサイズ/トリミングされた画像は実行できません。

## 記録サイズを変更する (リサイズ)

▶ 5

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 **▶ 5** メニューまたは再生機能選択画面で [リサイズ] を選択  
[リサイズ] 画面が表示

3 ▲▼で記録サイズを選択、**OK** を押す

元の画像より小さいサイズから  
選択可能  
保存の確認画面が表示



4 [SD1] [SD2] を選択、**OK** を押す

### ●注意

- [リサイズ] が実行できるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。

4

再生

## 画像の一部を切り取る（トリミング）

▶ 3

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 ▶3メニューまたは再生機能選択画面で【トリミング】を選択  
【トリミング】画面が表示

3 トリミングする大きさ／範囲を指定



### ボタン・ダイヤル操作

	トリミングサイズ変更
	トリミング範囲移動
	アスペクト比変更
	画像を0.1°回転
	トリミング範囲90°回転（可能時のみ）
	回転をリセット

4 **OK**を押す

保存の確認画面が表示

5 **[SD1]** **[SD2]** を選択、**OK**を押す

## JPEG画像を補正する

▶ 5

### ハイライト／シャドウを補正する（レベル補正）

ハイライト／中間調／シャドウを指定し、明るさやコントラストを補正します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 ▶5メニューまたは再生機能選択画面で【レベル補正】を選択し、▶を押す  
【レベル補正】画面が表示

3 値を調整



### ボタン・ダイヤル操作

	調整ポイント切り替え
	値を調整
	自動補正
	プレビューを表示

4 **OK**を押す

保存の確認画面が表示

5 **[SD1]** **[SD2]** を選択、**OK**を押す



## ホワイトバランスを補正する

ホワイトバランスを補正します。

- 1 画像表示で対象画像を表示
- 2 **5**メニューまたは再生機能選択画面で「ホワイトバランス補正」を選択し、**▶**を押す  
[ホワイトバランス補正] 画面が表示

### 3 値を調整



#### ボタン・ダイヤル操作

- |     |                   |
|-----|-------------------|
| ▲▼  | G-M (グリーンーマゼンタ) 間 |
| ◀▶  | B-A (ブルーアンバー) 間   |
| □   | リセット              |
| ISO | プレビューを表示          |

- 4 **OK**を押す  
保存の確認画面が表示

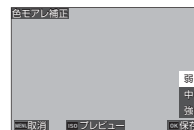
- 5 **[SD1]** **[SD2]** を選択、**OK**を押す

## 色モアレを補正する

色モアレが発生した画像を補正します。

- 1 画像表示で対象画像を表示
- 2 **5**メニューまたは再生機能選択画面で「色モアレ補正」を選択  
[色モアレ補正] 画面が表示

### 3 値を調整



#### ボタン・ダイヤル操作

- |     |          |
|-----|----------|
| ▲▼  | 強度を選択    |
| ISO | プレビューを表示 |

- 4 **OK**を押す  
保存の確認画面が表示

- 5 **[SD1]** **[SD2]** を選択、**OK**を押す

#### ●注意

- 画像によっては正しく補正されない場合があります。
- 「色モアレ補正」を実行すると、色抜けや色にじみが発生する場合があります。

1 画像表示で対象動画を表示

2 **6**メニューまたは再生機能選択画面で【動画切出し】【動画分割】を選択

動画切出し	始点と終点を指定し、その範囲を切り出して新規保存
動画分割	分割点を指定し、その前後で分割した2つの動画を新規保存

3 **OK**を押す  
【動画切出し】【動画分割】画面が表示

4 分割箇所を指定  
動画再生時と同様に、再生や一時停止等が可能 (p.56)



#### ボタン・ダイヤル操作



(動画切出し) 始点／終点を移動  
(動画分割) 分割点を移動



(動画切出し) 始点／終点を切り替え



ポイント同期



プレビューを表示

5 **OK**を押す

保存の確認画面が表示

6 [SD1] [SD2] を選択、**OK**を押す

## パソコンで利用する

付属のUSBケーブルを使用してパソコンと接続します。

### 接続モードを設定する

4

パソコンで行う操作によって、4メニュー [USB設定] を設定します。

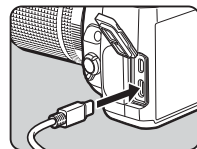
MTP (初期設定)	メモリーカードのデータをパソコンにコピー、またはパソコンからカメラを操作してテザー撮影 パソコン上では、メモリーカードが表示
CD-ROM	内蔵メモリーに収録された付属ソフトウェアをパソコンへインストール (p.98) パソコン上では、ソフトウェアインストール用CD-ROM [S-SW177] として表示

#### メモ

- 本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、「USB接続と付属ソフトウェアの動作環境」(p.130)を参照してください。
- USB接続中は、以下の機能は無効です。
  - 4メニュー [無線LAN設定]
  - 5メニュー [オートパワーオフ]

## メモリーカードの画像をコピーする

- 1 カメラの電源を切る
- 2 カメラの端子カバーを開き、USB端子にUSBケーブルを接続する



- 3 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

- 4 カメラの電源を入れる  
カメラがパソコンに認識される  
Macは「写真」アプリが起動（起動しない場合は、手動で起動する）

- 5 カメラの画像をパソコンに保存

- 6 カメラをパソコンから取り外す

#### メモ

- パソコンに接続してカメラの電源をオフにすると、バッテリーの充電が開始されます。
- メモリーカードは [SD1] [SD2] とパソコンに表示されます。

5

共有

## 付属ソフトウェアをインストールする

本機の内蔵メモリーに、付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」が収録されています。Digital Camera Utility 5を利用すると、パソコンでRAW画像の展開や色調整、撮影情報の確認などができます。

以下の手順でインストールします。

- 1 4メニュー [USB設定] を [CD-ROM] に設定する
- 2 カメラの電源を切る
- 3 USBケーブルで本機とパソコンを接続する
- 4 カメラの電源を入れる  
CD-ROM [S-SW177] として認識される
- 5 パソコンで [S-SW177] を開く  
[Win] または [Mac] フォルダが表示される
- 6 [Win] または [Mac] フォルダを開く
- 7 Windowsの場合は [setup32.exe] または [setup64.exe]、Macの場合は [INSTPUT5.pkg] をダブルクリックする  
以降の手順は、画面の指示に従う
- 8 4メニュー [USB設定] を [MTP] に戻す
- 9 カメラの電源を入れ直す  
[USB設定] が [MTP] に切り替わる

## パソコンから本機を操作する

別売の「IMAGE Transmitter 2」を利用すると、パソコンから本機を操作して撮影する「テザー撮影」ができます。

- 1 4メニュー [USB設定] を [MTP] に設定する
- 2 カメラの電源を切る
- 3 USBケーブルで本機とパソコンを接続する
- 4 カメラの電源を入れる
- 5 パソコンで「IMAGE Transmitter 2」を起動する  
IMAGE Transmitter 2が起動し、本機を認識

### ●注意

- ・ / / が になっているときは、カメラにメモリーカードがセットされていないとテザー撮影はできません。

### ●メモ

- ・ 「IMAGE Transmitter 2」の詳細は、下記アドレスで公開している『使用説明書「操作編」』の最新版をダウンロードして参照してください。  
<http://www.ricoh-imaging.com/manuals/>
- ・ テザー撮影では、 1メニュー [ファインダー撮影時AF] の [AF.Sの動作] または [ライブビュー撮影時AF] の [コントラストAFの動作] の設定にかかわらず、[リリース優先] で動作します。(p.60、p.62)

## 通信端末で利用する

本機と通信端末をBluetooth®または無線LANで接続し、専用アプリ「Image Sync」を使って通信端末から本機を操作したり、メモリーカード内の画像を通信端末に表示して取り込むことができます。

通信端末で利用する方法については、別冊『無線ガイド』を参照してください。

## カメラの設定

### よく使う設定値を登録する

C1

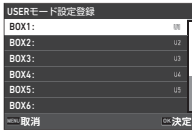
よく使用する設定を10種類まで登録し、その設定をモードダイヤルU1～U5に割り当てて、簡単に利用することができます。以下の設定が登録できます。

露出モード（AUTO以外）  
シャッター速度／絞り値  
ISO感度

露出補正  
メニュー／Cメニュー  
の設定（一部を除く）

### 設定を登録する

10種類の設定が登録できます。

- 登録する露出モードと機能をすべて設定する
  - C1メニュー [USER モード設定登録] を選択、▶ を押し  
[USERモード設定登録] 画面が表示
  - [BOX1] ～ [BOX10] を選択し、OKを押す
- 
- BOXの名称を入力するかどうかを選択し、OKを押す  
[入力しない] を選択した場合は、手順7へ  
[入力する] を選択した場合は、文字入力画面が表示

- BOXの名称を入力  
半角32文字以内で英数字・記号  
を入力

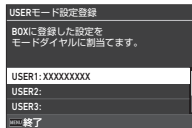


### ボタン・ダイヤル操作

- |      |                |
|------|----------------|
| ▲▼◀▶ | カーソル移動         |
| ☑    | 大文字／小文字切り替え    |
| ISO  | 英字／数字切り替え      |
| OK   | カーソル位置の文字を入力   |
| ☒    | 文字表示部の文字を1文字消去 |

- 文字が全部入力できたら **INFO** を押す

- 設定を登録するモードダイヤルUSER1 (U1) ～ USER5 (U5) を選択し、OKを押す  
手順3の画面に戻る



### 注意

- モードダイヤルが**AUTO**になっているときは、[USERモード設定登録] は選択できません。

### メモ

- 名称を入力しなかったときは、登録時の日時が名称になります。
- 名称を変更する場合は、C1メニュー [USERモード名称変更] を選択します。
- 設定を消去する場合は、C1メニュー [USERモード設定リセット] を選択します。

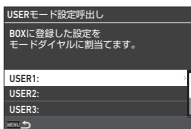
## 設定を切り替える

モードダイヤルの設定を切り替えます。

### 1 C1メニュー [USERモード設定呼出し] を選択、▶を押す

[USERモード設定呼出し] 画面が表示

### 2 設定を登録するモードダイヤルUSER1 (U1) ~ USER5 (U5) を選択し、▶を押す



### 3 [BOX1] ~ [BOX10] を選択、OKを押す

選択した設定値がモードダイヤルに割り当て  
手順2の画面に戻る

#### ●メモ

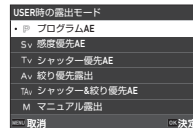
- コントロールパネルに [USERモード設定呼出し] を登録すると、モードダイヤルがU1~U5のときに☺でBOXを切り替えることができます。(p.106)

## USERモードを利用する

### 1 モードダイヤルをU1~U5に合わせる

### 2 必要に応じて設定を変更

露出モードを一時的に変更する場合は、C1メニュー [USER時の露出モード] で変更



#### ●メモ

- 手順2で変更した設定は、USERモードに登録されません。電源を切るかモードダイヤルを操作すると、登録済みの設定に戻ります。どのタイミングでリセットを行うかは、C1メニュー [USER設定の復元操作] で設定します。

設定	電源OFF時	モードダイヤル操作時
Type1	リセットする	リセットしない
Type2	リセットしない	リセットする
Type3	リセットする	リセットする

- モードダイヤルに割り当てたBOXの設定を変更すると、モードダイヤルの設定も変更されます。

## 操作方法をカスタマイズする

### ボタンの動作を設定する

**C2**

▲▼◀▶/SR/RAW/🔒/📷/📺/🔍/AEを押ししたときの動作を設定します。機能が変更できるこれらのボタンを「Fxボタン」と呼びます。

各ボタンに設定されている機能は、ステータススクリーンで確認ができます。

**1** C2メニュー [Fxボタン] を選択、▶を押す  
[Fxボタン] 画面が表示

**2** ▲▼でボタンを選択、▶を押す  
各ボタンの設定画面が表示



**3** ▲▼で割り当てる機能を選択



以下の機能が割り当て可能

フォーカスアシスト	カスタムイメージ
顔検出	Shake Reduction
AEロック	自動水平補正
測光モード	構図微調整 <sup>*3</sup>
フラッシュモード	キーロック
ホワイトバランス	ワンタッチLV <sup>*4</sup>
ドライブモード	タッチパネル操作
ドライブ	ファインダー内照明
ブラケット撮影 <sup>*1</sup>	表示パネルの照明
タイマー/リモコン	電子水準器
HDR撮影	再生モード
Real Resolution	アウトドアモニター
ローパスセクター	赤色画面表示
ワンタッチRAW+ <sup>*2</sup>	無線LAN設定
クロップ	

\*1 撮影枚数、ブラケット幅を変更

\*2 ボタンを押ししたときの【記録形式】を設定 (p.103)

\*3 📷/LV/📺ダイヤルがLVのときに、[構図微調整] 画面を表示

\*4 📷/LV/📺ダイヤルを📷のままライブビュー撮影に切り替え

**4** OKを押す  
手順2の画面に戻る  
手順2～4を繰り返す

**5** MENUを2回押す



## メモ

- ステータススクリーンで、ボタンに割り当てられている機能が確認できます。
- 複数のボタンに同じ機能を設定することもできます。
- ボタンを押すごとに設定が切り替わるか、設定画面が表示されます。
- 割り当てる機能によっては、ボタンを操作したときに電子音が鳴ります。電子音を鳴らしたくない場合は、**3**メニュー [電子音設定] の [Fxボタン操作] で変更できます。(p.110)
- ボタンに [Shake Reduction] [キーロック] を設定したときは、手順2の画面で **INFO** を押し、ボタンを押したときの動作内容を設定します。



Shake Reduction	OFF→AUTO→PAN (流し撮り) AUTO→PAN (流し撮り) OFF→AUTO OFF→PAN (流し撮り)
キーロック	露出変更ロックモード (シャッター速度、絞り値、ISO感度、露出補正、 <b>AE</b> ロック) 誤操作防止モード (▲▼◀▶、⊕、 <b>MENU</b> )

## ワンタッチRAW+を設定する

撮影時に、ボタンを押して一時的に記録形式を変更することができます。ボタンを押したときに変更する形式を、[記録形式] ごとに選択します。

### 1 「ボタンの動作を設定する」(p.102) の手順3で [ワンタッチRAW+] を選択

### 2 [Fxボタン] 画面で **INFO** を押す [ワンタッチRAW+] 画面が表示

### 3 [JPEG時の動作] [RAW時の動作] [RAW+JPEG 時の動作] を設定 ボタンを押したときの記録形式をそれぞれ選択



### 4 [撮影毎に解除] を設定

オン	1回撮影するたびに <b>5</b> メニュー [記録形式] の設定に戻る
オフ	以下の操作を行うまで設定を継続 <ul style="list-style-type: none"><li>電源OFF</li><li>USERモード切り替え</li><li>再生モードに移行</li><li><b>M</b>モードに移行</li></ul>

### 5 **MENU** を2回押す 撮影待機状態に戻る

#### 注意

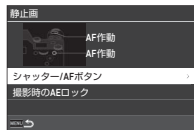
- 5**メニュー [カードスロット設定] が [RAW/JPEG分離] に設定されているときは、ワンタッチRAW+のボタン操作は無効です。(p.48)

## AF / AEロックの動作を設定する

C2

C2メニュー【AF/AEロック設定】で、AFとAEロックのボタン動作とタイミングを設定します。

〔静止画〕は、以下の設定ができます。



シャッター/AFボタン	SHUTTER半押しとAFの動作を設定
撮影時のAEロック	AEロックするタイミングを設定

■モードではAFはAF動作固定になるため、SHUTTERでAF動作させるかどうかを設定します。

## 6 設定

### メモ

- AF 追従が可能なレンズを装着している場合は、動画撮影時にOKで追従動作のオン/オフが切り替えられます。

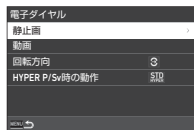
## 電子ダイヤルの動作を設定する

C2

☺/☹/■と、スマートファンクションに[E-Dial]が設定されているときの○の動作を、露出モード別に設定できます。

1 C2メニュー【電子ダイヤル】を選択、▶を押す  
〔電子ダイヤル〕画面が表示

2 〔静止画〕〔動画〕を選択、▶を押す  
露出モードの選択画面が表示



3 ◀▶で露出モードを選択し、OKを押す  
現在の設定が表示










4 〔基本動作〕で▶を押す



5 ▲▼で☺/☹/■/○の動作の組み合わせを選択



Tv	シャッター速度変更
Tv SHIFT	シャッター速度シフト
Av	絞り値変更
Av SHIFT	絞り値シフト
ISO	ISO感度変更
ISO AUTO	ISO感度オート
Sv SHIFT	ISO感度シフト
+	露出補正
RESET	露出補正リセット

	プログラムシフト
	プログラムライン
	ハイパーモード
	ハイパーモード (アドバンスド)
	ハイパーモードリセット
	タイマー露光オン/オフ
	操作無効

## 6 OKを押す



手順4の画面に戻る  
スマートファンクションに [E-Dial] を設定しているときは [S.Fnダイヤル (E-Dial)] を設定

## 7 MENUを押す

手順3の画面に戻る  
手順3～7を繰り返す

## 8 MENUを3回押す

## メモ

- ステータススクリーンで、ダイヤルに割り当てられている機能が確認できます。
- に操作を割り当てるときは、**C2**メニュー [スマートファンクション] に [E-Dial] を割り当てます。(p.106)
- 手順2の画面で [回転方向] を選択すると、 /  を操作したときの値の変化を逆方向に変更することができます。
- 手順2の画面で [HYPER P/Sv時の動作] を選択すると、**P** / **Sv** モードでハイパーモードになったときの動作を設定できます。

スタンダード	最後に操作したシャッター速度/絞り値の値を優先する露出モード
アドバンスド	ISO感度/シャッター速度/絞り値のうち、操作した露出パラメーターが固定されるすべての値を変更するとHYPER Mモードになる

## スマートファンクションの機能を設定する C2

スマートファンクションには、5つの機能が登録できます。

1 **C2** メニュー [スマートファンクション] を選択、**▶**を押す

[スマートファンクション] 画面が表示

2 [機能1] ~ [機能5] を選択、**▶**を押す



3 **▲▼**で割り当てる機能を選択

以下の機能が割り当て可能

設定値は順番と、最大6つまでの値が登録可能

未登録	ホワイトバランス *2
ユーザー AF *1 *2	ドライブ *2
AFモード	ローパスセレクター *2
AFエリア *2	HDR撮影 *2
AFホールド *2	Real Resolution *2
フォーカスアシスト *2	クロップ
測光モード *2	カスタムイメージ *2
E-Dial *3	Shake Reduction *2
ISO感度	拡大表示
露出補正	グリッド
フラッシュ光量補正	アウトドアモニター
プログラムライン *2	

\*1 事前に指定した [ファインダー撮影時AF] の [AFモード] [AFエリア] [AFホールド] の設定で動作

\*2 **INFO** で詳細設定

\*3 露出モードごとに事前に登録したISO感度/露出補正を **○** で変更

4 **OK**を押す

手順2の画面に戻る

手順2~4を繰り返す

5 **MENU**を2回押す

## コントロールパネルをカスタマイズする C5

コントロールパネルに表示する機能をカスタマイズします。

**☑**メニュー/**■**メニュー/**⏏**メニューの一部がコントロールパネルに登録できます。

1 **C5**メニュー [コントロールパネル] を選択、**▶**を押す

2 [静止画] [動画] を選択、**▶**を押す

コントロールパネルのカスタマイズ画面が表示

3 **▲▼◀▶** で変更するパネルを選択



4 **OK**を押す

機能がポップアップ表示

5 **▲▼**で登録する機能を選択  
「--」は未登録



6 **OK**を押す

手順3の画面に戻る

**■**で変更内容リセット

7 **MENU**を3回押す

**☑**メモ

- 撮影待機状態からコントロールパネルを表示したときに **☑**を押すと手順3の画面が表示され、同様の操作ができます。

## 画像モニター／ランプ／電子音を設定する

### アイセンサー

**C4**

C4メニュー [アイセンサー] で、アイセンサーが検知したときの動作を設定します。

画像モニター表示連動	アイセンサーが検知したときに画像モニターのバックライトをオフにする
測光連動	アイセンサーが検知したときに測光開始
検出感度	アイセンサーが反応する感度を選択

### ファインダー内表示

**C4**

C4メニュー [ファインダー内表示] で、ファインダー内の表示を設定します。

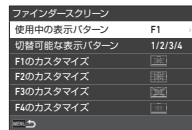
ファインダースクリーン	グリッド、電子水準器、AFフレーム、スポット測光フレーム、測距点、スマートファンクション機能の表示の組み合わせを選択 (p.107)
電子水準器の種類	[水平+アオリ] [水平] を選択
ファインダー内照明	ファインダー内照明の点灯を設定 [オート] は、暗い場所でのみ点灯
視野外情報表示	ファインダー視野外側の露出値等の情報を表示

## ファインダースクリーンの表示を設定する

ファインダー内の表示は4種類のパターンの登録されており、表示を切り替えることができます。また、各項目の表示/非表示をカスタマイズすることができます。

1 C4メニュー [ファインダー内表示] の [ファインダースクリーン] で▶を押す  
[ファインダースクリーン] 画面が表示

2 [使用中の表示パターン] で▶を押し、F1～F4を選択する



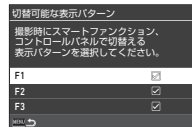
3 表示内容をカスタマイズするときは、[F1のカスタマイズ]～[F4のカスタマイズ]を選択し、▶を押す  
グリッドの種類と各項目の表示のオン/オフが設定可能



4 **MENU** を4回押す

### メモ

- ファインダースクリーンの表示は、スマートファンクションやコントロールパネルで簡単に切り替えることができます。使用しないパターンがあるときは、手順2の画面で [切替可能な表示パターン] を選択して□ (オフ) に設定します。



## 表示パネル

C4

C4メニュー [表示パネル] で、表示パネルの照明を設定します。

照明の明るさ	[弱] [強] を選択
照明の点灯	[オート] ファインダー撮影時に測光作動と連動して点灯 [マニュアル] C2メニュー [Fxボタン] で [表示パネルの照明] を設定した場合に、ボタンの操作で点灯 [オフ] 点灯しない

## 画像モニター表示

C4

C4メニュー [画像モニター表示] で、画像モニターの表示情報を設定します。

配色設定	ステータススクリーン/コントロールパネルの [配色] [スタイル] を設定
ステータススクリーン	[自動回転表示] [電子水準器] [電子水準器の種類] [電子水準器のデザイン] を設定
ライブビュー	[撮影情報表示] [電子水準器の種類] [電子水準器のデザイン] [フリッカー低減] を設定
再生情報表示	再生モードで [INFO] で画面を切り替えたときの表示情報を選択
グリッド	ライブビューと再生時の [グリッドの種類] [グリッドの色] を設定

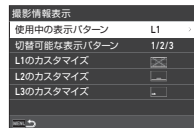
## ライブビューの表示を設定する

ライブビューの表示は3種類のパターンが登録されており、表示を切り替えることができます。また、各項目の表示/非表示をカスタマイズすることができます。

1 C4メニュー [画像モニター表示] の [ライブビュー] で ▶ を押し  
[ライブビュー] 画面が表示

2 [撮影情報表示] で ▶ を押し

3 [使用中の表示パターン] で ▶ を押し、L1～L3を選択する



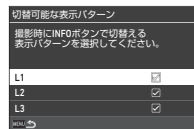
4 表示内容をカスタマイズするときは、[L1のカスタマイズ]～[L3のカスタマイズ]を選択し、▶を押し各項目の表示のオン/オフが設定可能



5 [MENU] を4回押す

## メモ

- ライブビューの撮影情報表示は、撮影時に [INFO] で切り替えることができます。使用しないパターンがあるときは、手順3の画面で [切替可能な表示パターン] を選択して  (オフ) に設定します。



画像モニターの明るさ／彩度／色味の設定ができます。

- 1 **2**メニュー [画像モニター調整] を選択、▶を押す  
 画像モニター調整画面が表示

2 各項目を設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ 項目選択

◀▶ 値調整

INFO (明るさ) 自動調整／手動調整切り替え

決定 リセット

3 OKを押す

●注意

- ・ **2**メニュー [アウトドアモニター] を設定しているときは、[明るさ] は無効です。

●メモ

- ・ [明るさ] が自動調整 (初期設定) のときは、アイセンサーを利用していません。アイセンサーが陰になったり強い光が当たると、正しく調整されない場合があります。自動で変化させたくない場合は、手動で調整してください。

C4メニュー [クイックビュー] で、撮影直後に表示される「クイックビュー」の表示と動作を設定します。

表示時間	クイックビューの表示時間 [HOLD] に設定すると、次の操作を行うまでクイックビューを表示
拡大表示	クイックビュー中に [ZOOM] で拡大表示
RAW追加保存 (RAWボタン)	クイックビュー中に [RAW] でRAW画像を追加保存
画像消去 (消去ボタン)	クイックビュー中に [DELETE] で画像消去
画像操作 (AE-Lボタン)	クイックビュー中に [AE-L] でファイル操作選択 (消去 / RAW追加保存 / プロテクト / 転送予約) 画面表示
ヒストグラム	クイックビューでヒストグラムを表示
白とび警告	クイックビューで白とび警告を表示

C4メニュー [拡大表示] で、拡大表示したときの動作を設定します。

クイック拡大	[表示倍率] クイック拡大時の倍率 [拡大トリガー] 拡大するときの操作方法
測距位置拡大	測距位置を中心に拡大操作を行う

C4メニュー [警告表示] で、ファインダー内/表示パネル/画像モニターに警告表示を行うかどうかを設定します。

レリーズロック警告	メモリーカードに空きがないなど、撮影ができない状態のときに警告を表示
レリーズタイマー警告	☑4メニュー [ドライブモード] の [タイマー/リモコン] など、すぐに撮影できないときに警告を表示
画像処理警告	☑4メニュー [HDR撮影] [Real Resolution] など、撮影後の画像処理に時間がかかる機能が有効なときに警告を表示

## インジケータランプ

3メニュー [インジケータランプ] で、各ランプを点灯させるかどうかを設定します。

セルフタイマー	☑4メニュー [ドライブモード] の [セルフタイマー (12秒)] [セルフタイマー (2秒)] [リモコン (3秒)] でのカウントダウン時に点滅
リモコン	☑4メニュー [ドライブモード] の [リモコン] 設定時の撮影待機中に点滅
GPSユニット	GPSユニット装着時のランプの点灯

3メニュー [電子音の音量] を0~5で設定し、[電子音設定] で以下の電子音を鳴らすかどうかを設定します。

電子シャッター音	☑4メニュー [Real Resolution] で撮影時の電子シャッター音
合焦音	合焦時の電子音
AEロック	AEロックしたときの電子音
カウントダウン	☑4メニュー [ドライブモード] の [セルフタイマー] [リモコン (3秒)] のカウントダウン時
ミラーアップ	☑4メニュー [ドライブモード] の [ミラーアップ撮影] でのミラーアップ時
Fxボタン操作	Fxボタンに [ワンタッチRAW+] [クローズ] [Shake Reduction] [自動水平補正] [タッチパネル操作] [ファインダー内照明] [表示パネルの照明] [電子水準器] [赤色画面表示] [無線LAN設定] のいずれかを割り当てたときの、ボタン操作時の電子音



## カメラに保存する設定を選択する


C5

本機で設定した機能は、ほとんどが電源を切っても記憶されています。以下の機能については、電源を切ったときに記憶する  (オン) か初期設定に戻す  (オフ) かを選択できます。C5メニュー [モードメモリ] で設定します。

モードメモリ	
ISO感度	<input type="checkbox"/>
露出補正	<input checked="" type="checkbox"/>
フラッシュモード	<input checked="" type="checkbox"/>
フラッシュ光量補正	<input checked="" type="checkbox"/>
ホワイトバランス	<input checked="" type="checkbox"/>
ドライブ	<input checked="" type="checkbox"/>
戻る	

ISO感度	デジタルフィルター
露出補正	明瞭度
フラッシュモード	肌色補正
フラッシュ光量補正	構図微調整範囲
ホワイトバランス	撮影情報表示
ドライブ	再生情報表示
タイマー/リモコン	再生対象画像
HDR撮影	キーロック
Real Resolution	アウトドアモニター
クロップ	赤色画面表示
カスタムイメージ	

### メモ


- ・  8メニュー [初期化] を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

## 画像管理に関する設定

### フォルダー／ファイルを設定する

1




#### フォルダー新規作成

 1メニュー [フォルダー新規作成] を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを作成します。

#### 注意

- ・ 複数のフォルダーを続けて作成することはできません。

#### メモ

- ・ 以下を実行したときは、自動的に新しいフォルダーが作成されます。
  - ・  4メニュー [ドライブモード] の [インターバル撮影] (p.71)
  - ・  4メニュー [ドライブモード] の [インターバル合成] で [途中画像保存] が [元画像] [合成画像] の場合 (p.72)
  - ・ 複数画像表示/フォルダー表示/撮影日表示から  4メニュー [RAW現像] を実行したとき (p.92)

## フォルダー名

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。

フォルダー名の文字列を変更することができます。

### 1 1メニュー [フォルダー名] を選択、▶を押す

[フォルダー名] 画面が表示



### 2 [フォルダー名] で [日付] [任意] を選択し、OKを押す

日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が4桁で付く 月日は 1/7メニュー [日時設定] の表示スタイルに準じる 例) 101_0125・・・1月25日に撮影
任意	フォルダー番号の後ろに任意の5文字が付く (初期設定：PENTX) 例) 101PENTX

手順1の画面に戻る

[日付] を選択した場合、または文字列を変更しない場合は、手順6へ

### 3 ▼を押して [任意文字入力] を選択、▶を押す

文字入力画面が表示

## 4 文字を入力

半角5文字で英数字を入力



### ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼◀▶ カーソル移動
- ISO 英字/数字切り替え
- OK カーソル位置の文字を入力

### 5 文字が全部入力できたら INFOを押す

手順1の画面に戻る

### 6 MENUを2回押す

#### ●メモ

- フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成されます。

#### ●注意

- フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダーが作成済み のときに、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。その場合は、1メニュー [連番リセット] を実行してください。(p.113)

## ファイル名

ファイル名の先頭には、**5**メニュー [色空間] の設定によって以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	IMG*****.JPG
AdobeRGB	_IMG*****.JPG

先頭の4文字を任意の文字列に変更することができます。

**1** **1**メニュー [ファイル名] を選択、**▶**を押す  
[ファイル名] 画面が表示

**2** [静止画] [動画] を選択、**▶**  
を押す  
文字を入力する画面が表示



**3** 文字を入力  
半角4文字以内で英数字を入力  
**⇨** 文字入力 (p.112)

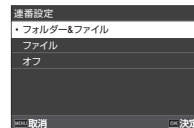
**4** **MENU** を2回押す

### ●メモ

- ・ [色空間] が [AdobeRGB] の場合はファイル名の先頭は「\_」となり、指定した文字列の先頭3文字がファイル名になります。
- ・ 動画は色空間の設定にかかわらず「IMG\*\*\*\*\*.MOV」、または指定した文字列が付いたファイル名になります。

## 連番設定

新しいフォルダーが作成されたときやメモリーカードを入れ替えたときに、フォルダー番号とファイル番号を継続するかどうかを、**1**メニュー [連番設定] で設定します。設定によって、以下のタイミングで連番が継続・リセットされます。



連番設定	フォルダー切り替わり時	メモリーカード入れ替え時	
	ファイル番号	フォルダー番号	ファイル番号
フォルダー & ファイル	継続	継続	継続
ファイル	継続	リセット	継続
オフ	リセット	リセット	リセット

## 連番リセット

**1**メニュー [連番リセット] を実行すると、次の撮影時に新たな番号のフォルダーが作成され、ファイル番号が0001 から開始されます。

### ●メモ

- ・ ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。

## 著作権情報の設定

1

画像のExifデータに記録する撮影者・著作権者の情報を設定します。

1 **メニュー** **【著作権情報】** を選択、**▶**を押す  
[著作権情報] 画面が表示

2 **【著作権情報の添付】** で**▶**を  
押し、**【オン】** **【オフ】** を選択、  
**OK**を押す



3 **【撮影者名】** **【著作権者名】** を選択、**▶**を押す  
文字を入力する画面が表示

4 文字を入力  
半角32文字以内で英数字・記号を入力  
☞ 文字入力 (p.100)

5 **MENU** を2回押す

### メモ

- Exif情報は、再生モードの[詳細情報表示] (p.15) や付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」などで確認できます。

# 特殊機能の組み合わせ制限

△：制限付きで組み合わせ可 ×：組み合わせ不可

		ローパス セクター	HDR撮影	Real Resolution	アストロ トレーサー	デジタル フィルター/ 明瞭度/ 肌色補正	ディスト ーション補正/ 回折補正	バッファ RAW保存
ド ラ イ ブ モ ー ド	連続撮影	△*1	×	×	×			×
	ブラケット撮影	△*1	×	×	×			△*2
	ミラーアップ撮影	△*1	×					
	多重露出	△*1	×	×	×	×	×	
	インターバル撮影	△*1		×	×			△*2
	インターバル合成	△*1	×	×	×	×	×	△*2
ローパスセクター			×	×	△*1			△*2
HDR撮影		×		×	×	×		
Real Resolution		×	×		×	×		

\*1 ブラケット不可

\*2 最終コマのみ保存可能

## 各種レンズ使用時の機能

D FA / DA / DA L / FA / FA J レンズ、または絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置で使用すると、本機の撮影モードがすべて利用できます。

これ以外のレンズや絞りを **A** 位置以外で使用する場合は、以下の制限があります。

○：使用可能 △：機能制限あり ✕：使用不可

機能	レンズグループ [マウント名称]	D FA DA DA L	FA *6 FA J	F *6	A	M P
		[KAF] [KAF2] [KAF3] [KAF4]	[KAF] [KAF2]	[KAF]	[KA]	[K]
オートフォーカス (レンズ単体使用) (AFアダプター-1.7×使用) *1		○ —	○ —	○ —	— △	— △
マニュアルフォーカス (フォーカスインジケータ表示の利用) *2 (マット面の利用)		○	○	○	○	○
クイックシフトフォーカス		△*4	✕	✕	✕	✕
AFエリア [オートエリア]		○	○	○	✕*9	✕*9
測光モード [分割]		○	○	○	○	✕
<b>P</b> / <b>Sv</b> / <b>Tv</b> / <b>Av</b> / <b>TAv</b> モード		○	○	○	○	△*10
<b>M</b> モード		○	○	○	○	△
P-TTLオートフラッシュ 撮影 *3		○	○	○	○	✕
パワーズーム		—	△*7	—	—	—
レンズ焦点距離の自動取得		○	○	○	✕	✕
レンズ補正		△*5	△*8	✕	✕	✕

- \*1 レンズの開放F値がF2.8、またはそれより明るいレンズで**A**位置でのみ使用可能
- \*2 レンズの開放F値がF5.6、またはそれより明るいレンズのみ使用可能
- \*3 AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ II / AF201FG / AF200FG / AF160FC使用時
- \*4 対応レンズのみ可能
- \*5 DA FISH EYE 10-17mmは、[ディストーション補正] [周辺光量補正] 無効
- \*6 FA SOFT 28mm F2.8 / FA SOFT 85mm F2.8 / F SOFT 85mm F2.8 では、**C6**メニュー [絞りリングの使用] で [オン] を設定した上で、手動絞りの範囲でのみ設定した絞り値で撮影可能
- \*7 オートズームとプリセットズームは無効
- \*8 以下のFAレンズでレンズ補正可能 (絞り**A**位置以外では、[ディストーション補正] [倍率色収差補正] のみ可)  
FA\*24mm F2 AL [IF] / FA 28mm F2.8 AL / FA 31mm F1.8 Limited / FA 35mm F2 AL / FA 43mm F1.9 Limited / FA 50mm F1.4 / FA 77mm F1.8 Limited / FA\*85mm F1.4 [IF] / FA\*200mm F2.8 ED [IF] / FA\*MACRO 200mm F4 ED / FA\*300mm F2.8 ED [IF] / FA\*300mm F4.5 ED [IF] / FA\*400mm F5.6 ED [IF] / FA\*600mm F4 ED [IF] / FA\*28-70mm F2.8 ED [IF] / FA\*80-200mm F2.8 ED [IF] / FA\*250-600mm F5.6 ED [IF]
- \*9 [スポット] 固定
- \*10 絞りは開放の**Av** (絞りリング無効)

### ●注意

- ・絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置以外で使用したり、**A** 位置のないレンズや接写リングなどのアクセサリを取り付けた場合、**C6**メニュー [絞りリングの使用] で [オン] を設定しない限り、カメラは作動しません。「絞りリングを使用する」(p.118)を参照してください。
- ・沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。

## レンズ名称とマウント名称

	マウント	名称	対応
MF	S	S	35mmサイズ対応
	K	P/M	
	KA	A	
AF	KAF	D FA	35mmサイズ対応
		DA	APS-Cサイズ対応、絞りリングなし
		FA	35mmサイズ対応、パワーズーム非対応
		FA J	35mmサイズ対応、絞りリングなし
		F	35mmサイズ対応
	KAF2	DA	APS-Cサイズ対応、レンズ内モーター対応、絞りリングなし
		FA	35mmサイズ対応、パワーズーム対応
	KAF3 KAF4	D FA	35mmサイズ対応、レンズ内モーター専用、絞りリングなし
		DA	APS-Cサイズ対応、レンズ内モーター専用、絞りリングなし

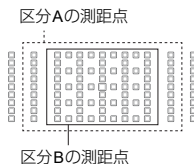
- DAレンズのうちモーターを搭載したレンズと、FAズームレンズのうちパワーズームが可能なレンズのマウントはKAF2マウント（AFカバーのないレンズはKAF3マウント）です。
- KAF3マウントで絞りレバーのないもの（電磁絞り方式）のレンズは、KAF4マウントです。
- FAの単焦点レンズと、モーターを搭載していないDA/DA Lレンズ、D FA/FA J/FレンズのマウントはKAFマウントです。

詳しくはレンズの使用説明書を参照してください。

## 測距点の制限

以下のレンズを使用した場合は、ファインダー撮影時に両側の測距点が使用できません。

最新の情報は、当社ホームページをご確認ください。



(2020年10月現在)

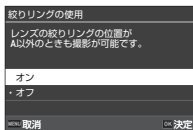
区分	レンズ
A	smc PENTAX-F 35-70mmF3.5-4.5
	smc PENTAX-F 35-80mmF4-5.6
	smc PENTAX-FA 28mmF2.8AL
	smc PENTAX-FA 28mmF2.8 soft
	smc PENTAX-FA 35-80mmF4-5.6
	smc PENTAX-FAJ 18-35mmF4-5.6
	smc PENTAX-FAJ 28-80mmF3.5-5.6
	smc PENTAX-DA FISH-EYE10-17mmF3.5-4.5ED[IF]
	HD PENTAX-DA FISH-EYE10-17mmF3.5-4.5ED
	smc PENTAX-DA 50-200mmF4-5.6 ED
	smc PENTAX-DA 50-200mmF4-5.6 ED WR
	smc PENTAX-DAL 50-200mmF4-5.6 ED
	smc PENTAX-DAL 50-200mmF4-5.6 ED WR
B	smc PENTAX-DA 15mmF4ED AL Limited
	HD PENTAX-DA 15mmF4ED AL Limited
	smc PENTAX-DA 21mmF3.2AL Limited
	HD PENTAX-DA 21mmF3.2AL Limited
	HD PENTAX-DA 560mmF5.6ED AW

## 絞りリングを使用する

C6

D FA/FA/F/Aレンズで絞りをA位置以外にしたり、A位置がないレンズでも、撮影ができるようにします。

C6メニュー [絞りリングの使用] を [オン] に設定します。



自動露出では、以下のように動作します。

モードダイヤル	動作
<b>P/Sv/Av</b>	<b>Av</b> モード
<b>Tv</b>	(ISO AUTO) <b>TAv</b> モード (ISO固定値) <b>M</b> モード
<b>TAv</b>	<b>TAv</b> モード
<b>M</b>	<b>M</b> モード
<b>B</b>	<b>B</b> モード
<b>X</b>	<b>X</b> モード

### メモ

- ステータススクリーンなどの絞り値は、「F-」と表示されます。C6メニュー [絞り情報記録] を [オン] に設定しているときは、//で設定した絞り値が表示され、「F」のみ点滅表示します。
- C6メニュー [絞り情報記録] を [オン] にすると、//で設定した記録用の絞り値を画像に記録します。

### 注意

- 自動露出で撮影したときは、以下に注意してください。
  - 設定した絞り値で撮影されますが、露出の誤差が生じることがあります。
  - 光学ファインダー撮影時は撮影直前に測光が行われるため、撮影前にシャッター速度/ISO感度を確認することはできません。ライブビュー撮影時は常に絞り込みが行われるため、撮影前にシャッター速度/ISO感度を確認することができます。
  - レンズが自動絞りの場合は撮影直前に絞り込みが行われるため、リリースタイムラグが発生します。

### 絞りA位置以外で露出を測る方法

絞りをA位置以外にしたときは、以下の方法で適正露出が得られます。

- モードダイヤルを**M**に合わせる
- レンズの絞りリングを設定したい絞り値に合わせる
- を押す  
シャッター速度が適正值に設定
- 適正露出が得られないときは、ISO感度を調整



## レンズ焦点距離を入力する

**C6**

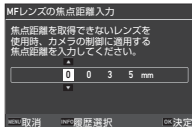
Shake Reductionは、レンズの焦点距離などの情報を取得して動作します。そのため、焦点距離が自動取得できないレンズを使用する場合は、手動で設定する必要があります。

**1** **C6メニュー** [絞りリングの使用] を [オン] に設定する

**2** カメラの電源をOFFにする

**3** カメラにレンズを装着し、電源をONにする  
[MFレンズの焦点距離入力] 画面が表示

**4** ▲▼◀▶で焦点距離を指定  
[INFO] を押すと入力履歴から選択可能



**5** [OK] を押す

### メモ

- レンズ焦点距離は、**C6** メニュー [MF レンズの焦点距離入力] で変更できます。
- ズームレンズの場合は、ズームの焦点距離を指定します。
- 焦点距離が自動取得できないレンズを装着して電源を入れたときに焦点距離入力を行わない場合は、**C6**メニュー [起動時の焦点距離入力] を [オフ] に設定します。
- **C6**メニュー [絞りリングの使用] を [オン] に設定すると、焦点距離情報が自動取得できないレンズを使用した場合に入力した焦点距離の情報を画像に記録します。

## 外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などができます。

○：使用可能 △：機能制限あり ×：使用不可

カメラの機能	対応フラッシュ	AF540FGZ AF540FGZ II AF360FGZ AF360FGZ II	AF201FG AF200FG AF160FC
赤目軽減機能		○	○
フラッシュ自動発光 <sup>*1</sup>		△ <sup>*2</sup>	△ <sup>*2</sup>
同調速度への自動切り替え		○	○
<b>P/Tv</b> モードで絞り値自動セット		△ <sup>*2</sup>	△ <sup>*2</sup>
P-TTLオートフラッシュ撮影		△ <sup>*2</sup>	△ <sup>*2</sup>
スローシンクロ撮影		○	○
フラッシュ光量補正		○	○
外付けフラッシュのAF補助光使用		△ <sup>*3</sup>	×
後幕シンクロ撮影 <sup>*4</sup>		○	△ <sup>*5</sup>
光量比制御モード		△ <sup>*6</sup>	△ <sup>*7</sup>
スレープ機能		△ <sup>*6</sup>	×
ハイスピードシンクロ撮影		○	×
ワイヤレス撮影		△ <sup>*6</sup>	×

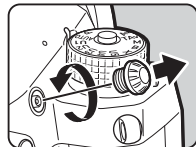
- \*1 カメラの撮影モードは、**AUTO**モードのみ
- \*2 D FA / DA / DA L / FA / FA J / F / A レンズを使用した場合のみ可能（絞り **A** 位置があるレンズは、**A** 位置で使用）
- \*3 AF540FGZ / AF360FGZのAF補助光は不可
- \*4 シャッター速度は1/100秒以下
- \*5 AF200FG / AF160FCは不可
- \*6 AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ IIを複数台組み合わせることが必要
- \*7 AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ IIと組み合わせた場合のみ可能

### ●注意

- 極性が逆（ホットシュー中央の接点がマイナス）のフラッシュは使用できません。カメラやフラッシュが壊れるおそれがあります。
- ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリーを組み合わせると誤作動の原因になるので、使用しないでください。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合があります。

### ●メモ

- AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ IIは、1/200秒より速いシャッター速度のときにもフラッシュを発光して撮影する「ハイスピードシンクロ撮影」ができません。カメラの露出モードを**Tv** / **TAv** / **M**に設定します。
- 外付けフラッシュAF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ IIの組み合わせで、フラッシュ同士をコードで接続せずにP-TTL撮影を行う「ワイヤレスモード」が利用できません。その場合のカメラのチャンネルは、外付けフラッシュで設定します。
- 外付けフラッシュの同調速度は、**C5**メニュー [Xモードの同調速度] で設定できます。
- Xシンクロソケットを利用すると、シンクロコードを使用してフラッシュ撮影ができます。シンクロコードを接続するときは、本機に取り付けられているシンクロソケット2Pキャップを外します。



## GPSユニットを利用する

別売のGPSユニットO-GPS1を本機に装着すると、画像の撮影情報にGPS情報が記録されるほか、「アストロトレーサー」が利用できます。

ステータススクリーン／ライブビューでGPS測位の状態が確認できます。

	3D測位
	2D測位
	未測位



GPSがオンの状態で静止画を撮影すると、画像にGPS情報が記録されます。動画には記録されません。GPS情報は、再生モードの「詳細情報表示」で確認できます。(p.15)

### 注意

- 本機では、[電子コンパス][直線ナビ][自動時刻修正]は使用できません。

### メモ

- GPSユニットの取り付け方や機能の詳細は、GPSユニットの使用説明書を参照してください。
- GPSユニットのGPS情報を正しく取得するため、撮影前に $\blacktriangle$ 4メニュー [GPS設定] で [キャリブレーション] を実行します。

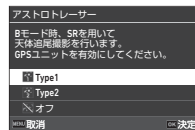
## 天体を撮影する (アストロトレーサー)

カメラに内蔵されているShake Reductionユニットを天体の動きに合わせて動かすことで、長時間露光でも天体を点状に撮影することができます。

### アストロトレーサーを設定する



- GPSユニットを装着し、電源を入れる
- $\blacktriangle$ 4メニュー [アストロトレーサー] を選択、 $\blacktriangleright$ を押す  
[アストロトレーサー] 画面が表示
- [アストロトレーサー] で $\blacktriangleright$ を押す
- タイプを選択、OKを押す



Type1	BモードでShake Reductionを用いて、天体追尾撮影を行う
Type2	BモードでShake Reductionを用いて、星景撮影に適した天体追尾撮影を行う

- [精密キャリブレーション] で $\blacktriangleright$ を押す  
[精密キャリブレーション] 画面が表示

- 画面の指示に従って、カメラを回転させる  
終了すると、処理結果が表示

## 7 OKを押す

手順4の画面に戻る

[キャリブレーションに失敗しました。やり直してください。] と表示されたときは、カメラを向ける方角を変えて再度実行

## 8 MENUを2回押す

撮影待機状態に戻る

### 注意

- キャリブレーションを行うときは、ストラップを首に巻くなどしてカメラを落とさないように注意してください。
- バッテリーを入れ直したときは、キャリブレーションをやり直してください。
- 撮影場所によって磁場環境が異なるため、撮影場所で「精密キャリブレーション」を実行してください。
- キャリブレーション実行後にレンズ交換を行うと、磁場環境に影響することがあります。その場合は、キャリブレーションを再度実行してください。

## 7

### 付録

#### 画像モニターがまぶしいとき

暗い場所で長時間撮影するときは、**2**メニュー [アウトドアモニター] を設定すると、まぶしさを軽減させることができます。

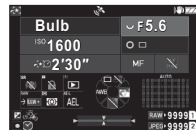
また**2**メニュー [赤色画面表示] を利用すると、暗所でのまぶしさを軽減できます。

## アストロトレーサーで撮影する

### 1 露出モードをBに設定する

アストロトレーサーが使用できる状態になる

### 2 撮影条件を設定



#### ボタン・ダイヤル操作

- |  |                              |
|--|------------------------------|
|  | タイマー露光オン/オフ切り替え              |
|  | (タイマー露光オン) 露光時間0'01"~5'00"変更 |
|  | 絞り値変更                        |
|  | 精密キャリブレーション実行                |

### 3 ピントを合わせ、SHUTTERを押す

タイマー露光を設定した場合は、設定した時間が経過すると自動的に撮影終了

タイマー露光がオフの場合は、SHUTTERを押している間、露光

### 注意

- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- GPSユニットがGPS情報を取得できていないときは、撮影できません。

## 困ったときは


### メモ

- ・ 静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないことがあります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが正しく入っていない	バッテリーの挿入方向を確認してください。
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
シャッターがきれえない	メモリーカードに空きがない	空き容量のあるメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってください。
	レンズの絞りがA位置以外になっている	絞りを <b>A</b> 位置にするか、 <b>C6</b> メニュー [絞りリングの使用] で [オン] を選択してください。(p.118)
ピントが合わない	[AFモード] が [シングルAF] でピントが合っていない	フォーカスモードを <b>MF</b> にしてピントを合わせて撮影してください。
	オートフォーカスが苦手な物を被写体に入っている	コントラストが低い (青空や白壁など)、暗い、細かい模様、速く動いている、窓やネット越しの風景などの被写体は、 <b>AF</b> が苦手な物です。被写体と同じ距離にある別の物にフォーカスロックしてから、撮りたい構図で撮影します。または、 <b>MF</b> を使用してください。
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してください。

現象	原因	対処方法
フラッシュが発光しない	[フラッシュモード] が [自動発光] になっている	<b>2</b> メニュー [フラッシュモード] が [自動発光] になっているときは、被写体が明るいと発光しません。 [フラッシュモード] を変更してください。(p.77)
パソコンと接続してもメモリーカードが認識されない	[USB設定] が [CD-ROM] になっている	<b>4</b> メニュー [USB設定] を [MTP] に設定してください。(p.97)
画像にゴミが写り込む	CMOSセンサーに汚れやほこりが付着している	<b>6</b> メニュー [ダストリムーバー] を実行してください。電源ON/OFF時に毎回動作させることもできます。それでも解消しない場合は、「センサーのクリーニング」(p.124) を参照してください。
撮影画像の表示に、欠けや常時点灯する箇所がある	CMOSセンサーの画素に欠けがある	<b>6</b> メニュー [ピクセルマッピング] を実行してください。補完処理は30秒ほど時間がかかるため、十分に充電したバッテリーを使用してください。

ミラーをアップし、ブロアーを使ってクリーニングします。

- 1 カメラの電源を切り、レンズを取り外す
- 2 カメラの電源を入れる
- 3  6メニュー [センサークリーニング] を選択、▶ を押す  
確認の画面が表示
- 4 [実行] を選択、**OK** を押す  
ミラーがアップ
- 5 ブロアーを使用してクリーニングする
- 6 電源を切る  
ミラーが戻る

### 注意

- スプレー式またはブラシ付きのブロアーは使用しないでください。CMOSセンサーが傷つくことがあります。また、CMOSセンサーは絶対に布で拭かないでください。
- ブロアー先端をレンズマウント面より中に入れてください。万一電源が切れた場合、シャッター機構部やCMOSセンサー部、ミラー部が破損するおそれがあります。また、ゴミが外に落ちるよう、レンズマウント面を下に向けてブロアーを使用してください。
- バッテリー容量が少ない場合、「電池容量が足りないためセンサークリーニングを行えません。」と画像モニターに表示されます。容量が十分に残っているバッテリーを使用してください。クリーニングの途中でバッテリー容量が少なくなるると警告音が鳴ります。その場合は、すぐにクリーニングを中止してください。

### メモ

- CMOSセンサーは精密部品ですので、清掃はできるだけ当社の修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。
- クリーニングは、別売のイメージセンサークリーニングキット O-ICK1も使用できます。

## エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません。	メモリーカードの容量いっぱいには画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
画像がありません。	メモリーカードに再生できる画像が保存されていません
この画像を表示できません。	本機で再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません。	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です。	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
カードがフォーマットされていません。	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使用したメモリーカードがセットされています。本機でフォーマットしてから使用してください。
カードがロックされています。	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされています。(p.136)
このカードは利用できません	本機が対応していないメモリーカードがセットされています。
この画像を拡大表示できません。	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
電池容量が足りないためピクセルマッピングを行えません。	▼6メニュー [ピクセルマッピング] [センサークリーニング] またはアップデート実行時にバッテリー容量が足りない場合に表示されます。十分に充電したバッテリーを使用してください。
電池容量が足りないためセンサークリーニングを行えません。	
電池容量が足りないためアップデートを行えません。	
電池容量が足りないためUSB給電を行えません。	▼5メニュー [外部機器へのUSB給電] を実行したときに、バッテリー容量が足りない場合に表示されます。十分に充電したバッテリーを使用してください。

エラーメッセージ	内容
ファイルが壊れているためアップデートを行えません。	アップデートファイルが壊れているため実行できません。アップデートファイルを再度ダウンロードしてください。
フォルダーが作成できません。	最大のフォルダー No. (999) が使用されているため、画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、メモリーカードをフォーマットしてください。
画像を保存できませんでした。	メモリーカードの異常で、撮影した画像が保存できません。
処理に失敗しました。	処理が失敗しました。もう一度やり直してください。
処理できる画像がありません。	RAW現像できる画像、またはクロスプロセス登録できる画像がありません。
この画像を処理できません。	他のカメラで撮影した画像に対して▼メニューの機能を実行した場合、最小サイズの画像に対して [リサイズ] [トリミング] を実行した場合、またはデジタルフィルター重ねがけの限度回数に達した場合に表示されます。
この機能は複数の画像をまとめて処理できません。	フォルダー表示 / 撮影日表示で、一括処理できない再生機能を実行したときに表示されます。
このモードでは設定することができません。	機能に制限がある撮影モードのときに、設定できない機能を設定しようとしています。
カメラが高温になりました。電源をオフします。	カメラ内部が高温になったため、電源が切れます。しばらくしてから電源を入れてください。
撮影できる状態までレンズのズームリングをまわしてください。	沈胴式レンズを装着しているときに、レンズが収納されているため撮影ができません。(p.46)

# 主な仕様

## カメラ本体

### 型式

型式	TTL AE・AF一眼レフデジタルカメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KAF2マウント (AFカバー・情報接点・電源接点付き)
使用レンズ	KAF4、KAF3、KAF2 (パワーズーム対応)、KAF、KAマウントレンズ

### 撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター/CMOS、サイズ：23.3×15.5mm
有効画素数	約2573万画素
総画素数	約2678万画素
ダストリムーバー	超音波振動による撮像素子クリーニング機能「DR II」
感度 (標準出力感度)	ISO AUTO/100～1600000 (1 EVステップ、1/2 EVステップまたは1/3 EVステップ)
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式「SR II」(5軸補正)、オート/流し撮り/オフ
ローパスセレクトター	SRユニットを用いたモアレ低減機能、オフ/弱/強/ブラケット撮影 (2枚) /ブラケット撮影 (3枚)

### 記録形式

画像ファイル形式	RAW (PEF/DNG)、JPEG (Exif 2.3準拠)、DCF 2.0準拠								
記録サイズ (画素数)	JPEG： <table border="0"> <tr><td>L</td><td>(26M：6192×4128)</td></tr> <tr><td>M</td><td>(15M：4752×3168)</td></tr> <tr><td>S</td><td>(9M：3648×2432)</td></tr> <tr><td>XS</td><td>(2M：1920×1280)</td></tr> </table> RAW：(26M：6192×4128)	L	(26M：6192×4128)	M	(15M：4752×3168)	S	(9M：3648×2432)	XS	(2M：1920×1280)
L	(26M：6192×4128)								
M	(15M：4752×3168)								
S	(9M：3648×2432)								
XS	(2M：1920×1280)								
画質	RAW (14bit)：PEF、DNG JPEG：★★★ (スーパーファイン)、★★ (ファイン)、★ (エコノミー) RAWとJPEGの同時記録可能								
色空間	sRGB、AdobeRGB								

記録媒体	SD、SDHC、SDXCメモリーカード (SDHC、SDXCメモリーカードはUHS-I/UHS-II規格に対応) ・UHS-IIはスロット1のみ
デュアルスロット	順次、複製、RAW/JPEG分離、画像コピー
記録フォルダー	フォルダー名設定：日付 (100_1018、101_1019...)、任意 (初期値はPENTX)
記録ファイル	ファイル名設定可能 (初期値はIMGP****) ファイルNo.設定：連番設定、リセット

### ファインダー

方式	ペンタプリズムファインダー
視野率	約100%
倍率	約1.05× (FA 50mm F1.4・∞)
アイレリーフ長	約20.5mm (見口枠より)、約22.0mm (レンズ中心より)
視度調節機能	約-4～+1m <sup>-1</sup>
フォーカシングスクリーン	ナチュラルブライトマットIII
ファインダー表示	測距点、グリッド表示、電子水準器、AFフレーム、スポット測光フレーム、クロップ、スマートファンクション、キーロック

### ライブビュー

方式	撮像素子によるTTL方式
フォーカス	コントラスト検出式 (オートエリア、ゾーンセレクト、追尾、セレクトL/M/S、スポット)
機能	フォーカスアシスト、顔検出、タッチAF
表示	視野率約100%、拡大表示 (最大16倍まで)、グリッド表示 (16分割表示、黄金分割表示、スケール表示、正方 (L)、正方 (S))、色：ブラック/グレー/ホワイト、ヒストグラム表示、白とび警告、構図微調整

### 画像モニター

形式	TFTカラーLCD、広視野角タイプ、エアギャップレス強化ガラス
イメージサイズ	3.2型 (アスペクト比3:2)
ドット数	約162万ドット
タッチパネル	静電容量方式
調整	明るさ (オート、マニュアル)、彩度、色調整



アウトドアモニター	±2ステップで調整可
赤色画面表示	オン/オフ

## ホワイトバランス

方式	撮像素子およびRGBIrセンサーによる併用方式
ホワイトバランス	オートWB、マルチパターンオート、太陽光、日陰、曇天、蛍光灯 (D: 昼光色、N: 昼白色、W: 白色、L: 電球色)、白熱灯、CTE、マニュアル (3種類登録可)、色温度設定 (3種類登録可)、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±14ステップで調整可

## オートフォーカス

方式	TTL位相差検出式
測距センサー	SAFOX13、101点測距 (中央25点はクロスタイプ)
輝度範囲	EV -4~+18 (ISO 100、常温) ・ -4 EVは、F 2.8光束対応レンズ装着時、F 2.8光束対応測距点のみ
AFモード	シングルAF (AF.S)、コンティニュアスAF (AF.C)
AFエリア	オートエリア、ゾーンセレクト、セレクト、セレクトエリア拡大 (S、M、L)、セレクト (S)、スポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

## 露出制御

測光モード	30.7万画素RGBIrセンサーによるTTL開放測光、分割測光/中央重点/スポット/ハイライト重点
露出範囲	EV -3~+20 (ISO 100・50mm F 1.4)
露出モード	シーンアナライズオート、プログラム、感度優先、シャッター優先、絞り優先、シャッター&絞り優先、マニュアル、バルブ、フラッシュ同調速度、USER1、USER2、USER3、USER4、USER5
露出補正	±5 EV (1/2 EVステップ、1/3 EVステップ選択可能)
AEロック	ボタン式 (タイマー式: カスタム設定で設定した測光作動時間の2倍)、SHUTTER半押しで継続

## シャッター

方式	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター ・リアル・レゾリューション・システム時には電子シャッターを使用
----	---

シャッタースピード	オート: 1/8000秒~30秒、マニュアル: 1/8000秒~30秒 (1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ)、バルブ (タイマー露光設定可能: 1秒~20分)
-----------	--

## ドライブ

ドライブモード	1コマ、連続 (H、M、L)、ブラケット (2コマ/3コマ/5コマ)、被写界深度ブラケット、モーションブラケット、ミラーアップ、多重露出 (平均、加算、比較明)、インターバル撮影、インターバル合成
タイマー/リモコン	セルフタイマー (12秒、2秒)、リモコン (即時、3秒)
連続撮影	最高約12コマ/秒、JPEG (L・★★★・連続H): 37コマまで、RAW: 32コマまで、RAW+: 30コマまで 最高約7.0コマ/秒、JPEG (L・★★★・連続M): 60コマまで、RAW: 37コマまで、RAW+: 33コマまで 最高約2.5コマ/秒、JPEG (L・★★★・連続L): 90コマまで、RAW: 39コマまで、RAW+: 37コマまで ・連続撮影可能コマ数はISO 100のとき ・高感度撮影時は連続撮影速度が遅くなります

## 外付けフラッシュ

発光方式	自動発光、赤目軽減自動発光、強制発光、赤目軽減強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ、P-TTL、光量比制御、ハイスピードシンクロ、ワイヤレスシンクロ可能 ・光量比制御とワイヤレスシンクロは、対応のフラッシュが2台以上必要
シンクロ同調速度	1/200秒
フラッシュ光量補正	-2.0~+1.0 EV

## 撮影機能

カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1~3、お気に入り1~3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム、粒状感モノクローム
明瞭度	-4.0~+4.0

肌色補正	Type1/Type2
HDR撮影	オート/Type1/Type2/Type3/アドバンスドHDR、振り幅設定可、自動位置調整可
Real Resolution	三脚撮影(動体補正あり)、三脚撮影(動体補正なし)
レンズ補正	ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正
ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正、シャドー補正
ノイズリダクション	長秒時ノイズ低減、高感度ノイズ低減
自動水平補正	SRオン時:最大1度まで補正可能、SRオフ時:最大2度まで補正可能
構図微調整	上下左右シフト調整範囲±1.5mm(回転時は±1mm)、回転調整範囲±1度
電子水準器	ファインダー内表示(左右・前後の傾き)、画像モニター表示(左右・前後の傾き)
プログラムライン	オート、標準、高速優先、深度優先(深い)、深度優先(浅い)、MTF優先

## 動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264 (MOV)
記録サイズ	<b>4K</b> (3840×2160、30p/24p) <b>FHD</b> (1920×1080、60p/30p/24p)
音声	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能(ステレオ録音)録音レベル調整可能、風切音低減可能
記録時間	最大4GBまたは最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
ホワイトバランス	オートWB、太陽光、日陰、曇天、蛍光灯( <b>D</b> :昼光色、 <b>N</b> :昼白色、 <b>W</b> :白色、 <b>L</b> :電球色)、白熱灯、 <b>CTE</b> 、マニュアル(3種類登録可)、色温度設定(3種類登録可)、撮影画像設定
カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅(MIYABI)、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1~3、お気に入り1~3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、レトロ、ハイコントラスト、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム

## 再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示(20、48、70画面)、拡大(最大16倍まで、等倍表示、クイック拡大、測距位置拡大)、グリッド表示(16分割表示、黄金分割表示、スケール表示、正方(L)、正方(S)、色:ブラック/グレー/ホワイト)、回転表示、ヒストグラム表示(Yヒストグラム、RGBヒストグラム)、白とび警告表示、縦位置自動回転、詳細情報表示、著作権情報表示(撮影者名、著作権者名)、GPS情報(緯度、経度、高度、協定世界時)、方位、フォルダー表示、撮影日別表示
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、撮影日消去、クイックビュー消去
デジタルフィルター	ベースメイク、色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ドラマチックアート、ハードモノクローム、粒状感モノクローム、ミニチュア、ソフト、フィッシュアイ、スリム、モノトーン、縁取り
RAW現像	RAW画像選択:1画像選択/複数画像選択/フォルダー選択/撮影日選択 RAW現像パラメーター:ホワイトバランス、カスタムイメージ、増減感、デジタルフィルター、明瞭度、肌色補正、HDR撮影、Real Resolution、ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正、フリンジ補正、高感度ノイズ低減、シャドー補正、記録形式(JPEG、TIFF)、JPEG記録サイズ、JPEG画質、アスペクト比、色空間
編集機能	プロテクト、回転、コピー、転送、RAW追加保存、リサイズ、トリミング(アスペクト比変更可、傾き修正可)、レベル補正、ホワイトバランス補正、色モアレ補正、動画切り出し、動画分割、動画フريم画像JPEG保存

## カスタマイズ機能

設定項目	ユーザーモード、FxBボタン、AF/AEロック設定、プレビューレバー、電子ダイヤル、スマートファンクション、タッチパネル、アイセンサー、ファインダー内表示、表示パネル、画像モニター表示、クイックビュー、拡大表示、警告表示、コントロールパネル、モードメモリ、露出設定ステップ、ISO感度ステップ、色温度ステップ、焦点距離入力、回転情報記録、絞り情報記録、AF微調整、著作権情報
------	---

言語	21言語：日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、デンマーク語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、トルコ語、ギリシャ語、ロシア語、タイ語、韓国語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）
----	---

#### 電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC166J（別売）
電池寿命	撮影可能枚数...約800枚 再生時間...約250分 ・満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23°C、 撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

#### 外部インターフェイス

端子	USB端子（USB Type-C）、ケーブルスィッチ端子（ $\varnothing$ 2.5mm）、Xシンクロソケット、HDMI®端子（タイプD）、マイク端子、ヘッドホン端子
USB接続	USB 3.2 Gen1、データ転送：MTP / CD-ROM、充電式バッテリーへの充電 / カメラ本体への電源供給（専用ACアダプター使用時）

#### 無線LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
使用周波数 （中心周波数）	2412MHz～2462MHz（1ch～11ch）
セキュリティ	認証方式：WPA2 暗号化方式：AES

#### Bluetooth®通信

準拠規格	Bluetooth® v4.2（Bluetooth Low Energy）
使用周波数 （中心周波数）	2402MHz～2480MHz（CH0～CH39）

#### 外形寸法・質量

外形寸法	約134.5mm（幅）×103.5mm（高）×73.5mm（厚） （突起部を除く）
質量	約820g（バッテリー、SDカード1枚を含む） 約735g（本体のみ）

#### 動作環境

使用温度	-10～40°C
------	----------

使用湿度	85%以下（結露しないこと）
------	----------------

#### 付属品

同梱物	ストラップ O-ST162、MEファインダーキャップ、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P、USB電源アダプター、電源プラグ、USBケーブルト-USB166 <これ以降はカメラに装着状態で出荷>アイキャップFu、ホットシューカバーFk、シンクロソケット2Pキャップ、ボディマウントキャップK11、バッテリーグリップ接点カバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

### USB電源アダプターAC-U1

電源	AC100～240V（50/60Hz）0.2A
出力	DC 5.0V、1000mA
使用温度	10～40°C
外形寸法	42.5mm×22mm×66.5mm（電源プラグ含まず）
質量	約40g（電源プラグ含まず）

## 撮影可能枚数と再生時間

(バッテリーフル充電時)

使用電源	使用温度	一般撮影	再生時間
D-LI90P	23°C	約800枚	約250分

- 撮影枚数（一般撮影）はCIPA規格に準じた測定条件、その他については当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

## 記録サイズ別撮影可能枚数の目安

(8GBのメモリーカード使用時)

記録サイズ	JPEG画質			RAW
	★★★	★★	★	
<b>L</b> 26M	495枚	1120枚	2190枚	141枚
<b>M</b> 15M	837枚	1872枚	3607枚	—
<b>S</b> 9M	1401枚	3105枚	5840枚	—
<b>XS</b> 2M	4717枚	9812枚	16353枚	—

- 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

## USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

### Windows®

OS	Windows® 10 (FCU/CU) (32bit/64bit) / Windows® 8.1 (32bit/64bit)
CPU	Intel® Core™ i5以上
メモリ	8GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量： 約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約15MB (JPEG) または約50MB (RAW) 程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

### Mac

OS	macOS 11.0 Big Sur / macOS 10.15 Catalina / macOS 10.14 Mojave / macOS v10.13 High Sierra / macOS v10.12 Sierra
CPU	Intel® Core™ i5以上
メモリ	8GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量： 約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約15MB (JPEG) または約50MB (RAW) 程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

### メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、MOVファイルに対応している動画再生ソフトを使用してください。

## 記号

☑メニュー	22
■メニュー	25
▶メニュー	26
Cメニュー	28
↖メニュー	34
■モード	54
☑/LV/■ダイヤル	44

## 数字

1画像表示	14, 47
1コマ撮影	66

## A

ACアダプター	41
AdobeRGB	48
AF.C 1コマ目の動作	61
AF.C時の測距点追尾方法	62
AF.C連続撮影中の動作	61
AF.Sの動作	61
AF/AEロック設定	45, 59, 104
AFエリア (位相差AF)	60
AFエリア (コントラストAF)	63
AFエリアの使用制限	61
AFカブラー	9
AF微調整	64
AFフレーム	45, 46
AFホールド	61
AF補助光	60
AF補助光ランプ	9
AFモード	60
AUTOモード	44
AV機器	87
Avブラケット	68

Avモード	50
-------	----

## B

Bluetooth®	99
Bulb	53
Bモード	53
Bモードの撮影方法	53

## C

CD-ROM	97
CTE	74

## D

Digital Camera Utility 5	93, 98
DNG	48

## E

Exifデータ	114
---------	-----

## F

Fxボタン	102
-------	-----

## G

GPS	121
GPS設定	121

## H

HDMI®端子	87
HDR撮影	81
HYPER P/Sv時の動作	105

## I

Image Sync	99
IMAGE Transmitter 2	98
ISO感度	57
ISO感度オート下限値	57
ISO感度オート上限値	57

ISO感度ステップ	57
ISO感度設定	57

## J

JPEG	48
JPEG画質	48
JPEG記録サイズ	48

## L

Language/言語	42
LV撮影時のタッチAF	51

## M

Mac	130
MEファインダーキャップ	73
MFレンズの焦点距離入力	119
MTP	97
Mモード	50

MFレンズの焦点距離入力	119
MTP	97

Mモード	50
------	----

## P

PEF	48
Pモード	50

## R

RAW	48
RAW現像	92
RAW追加保存	45, 47, 91
RAWファイル形式	48
Real Resolution	82

## S

SDメモリーカード	41
Shake Reduction	83
sRGB	48
SRの自動オフ	83
Svモード	50

## T

TAvモード	50
TIFF	92
Time	53
Tvブラケット	69
Tvモード	50

## U

USB接続	97, 130
USB設定	97
USB端子	39, 97
USER時の露出モード	101
USER設定の復元操作	101
USERモード設定登録	100
USERモード設定呼出し	101
USERモード設定リセット	100
USERモード名称変更	100

## W

Windows®	130
----------	-----

## X

Xシンクロソケット	120
Xモード	50
Xモードの同調速度	50, 120

## あ

アイセンサー	17, 107
アウトドアモニター	13, 122
赤色画面表示	13
赤目軽減	77
明るさ調節	13
明るさ補正	80

鮮やか (カスタムイメージ)	カードアクセスランプ	9	
..... 78	カードスロット設定	48	
アストロトレーサー	回折補正	81	
..... 121	回転	89	
アスペクト比	..... 89	回転情報記録	89
..... 92, 94	回転方向	105	
アドバンスドモード	外部機器へのUSB給電	40	
..... 53	顔検出	64	
アフターサービス	顔優先AE	59	
..... 139	拡大表示	45, 46, 47, 109	

## い

位相差検出式	加工	91
..... 59	画質	48
色温度 (ホワイトバランス)	画質補正	82
..... 76	カスタマイズ	102
色温度ステップ	カスタマイズメニュー	28
..... 76	カスタムイメージ	78
色空間	風切音低減	49
..... 48	画像コピー	90
色抽出 (デジタルフィルタ)	画像仕上	78
..... 79, 91	画像の自動回転	85
色の置換え (デジタルフィルター)	画像モニター	12
..... 79, 91	画像モニター調整	13, 109
色モアレ補正	画像モニター表示	108
..... 95	感度	57
インジケータランプ	感度優先AE	50
..... 110		
インターバル合成		
..... 72		
インターバル撮影		
..... 71		

## え

エラーメッセージ	..... 125
----------	-----------

## お

オートWB (ホワイトバランス)	..... 74
オートエリア (位相差AF)	..... 60
オートエリア (コントラストAF)	..... 63
オートセレクト (カスタムイメージ)	..... 78
オートパワーオフ	..... 42
オートフォーカス	..... 59
音声	..... 54
音量	..... 35

## か

カード	..... 41
-----	----------

## く

クイック拡大	..... 47, 109
クイックビュー	..... 45, 109
クリーニング	..... 124
グリッド	..... 108
クロスプロセス (カスタムイメージ)	..... 78
クロスプロセス登録	..... 79
クロップ	..... 48

## け

ケーブルスイッチ端子	..... 9
警告表示	..... 110
ケルビン	..... 76
言語設定	..... 43
現像	..... 92

## こ

光学プレビュー	..... 65
高感度ノイズ低減	..... 58
光源指定時の自動調整	..... 75
構図微調整	..... 84
光量補正	..... 77
コピー	..... 90
コンティニユアスAF	..... 60
コントラストAF	..... 62
コントラストAFの動作	..... 64
コントラスト検出式	..... 59
コントロールパネル	..... 13, 20, 106

## さ

サイズ変更	..... 93
再生音量	..... 56, 85
再生カードスロット	..... 85
再生機能選択画面	..... 85
再生順序設定	..... 85
再生情報表示	..... 14, 108
再生スロット	..... 47
再生設定メニュー	..... 26
再生モード	..... 47

撮影	..... 44
撮影可能枚数	..... 130
撮影者名	..... 114
撮影情報表示	..... 108
撮影日表示	..... 87
撮影モード	..... 49
三脚ねじ穴	..... 9

## し

シーンアナライズオート	..... 44
モード	..... 44
シェーディング (デジタルフィルター)	..... 79, 91
質感補正	..... 82
自動回転表示	..... 108
自動水平補正	..... 84
自動発光	..... 77
視度調整ダイヤル	..... 17
絞り値	..... 50
絞り優先AE	..... 50
絞りリング付きレンズ	..... 118
絞りリングの使用	..... 118
シャープネス (カスタムイメージ)	..... 78
視野外情報表示	..... 17, 107
シャッター&絞り優先AE	..... 50
シャッター速度	..... 50
シャッター優先AE	..... 50
シャドウ補正	..... 80
十字キー	..... 11, 18
充電	..... 39
充電時間	..... 40
周辺光量補正	..... 81
順次の記録先スロット	..... 48
仕様	..... 126
消去	..... 47, 88
詳細情報表示	..... 15
焦点距離入力	..... 119
省電力モード	..... 40
初期化 (メニュー)	..... 21

初期化 (メモリーカード)	43
.....	43
初期設定	42
シングルAF	60
シンクロナセット2Pキャ プ	120
人物 (カスタムイメージ)	78

## す

ステータススクリーン	12, 108
.....	12, 108
ストラップ	37
スピーカー	9
スポット (位相差AF)	60
スポット (コントラストAF)	63
.....	63
スポット測光	59
スマートファンクション	19, 106
.....	19, 106
スリム (デジタルフィル ター)	91
スローシンクロ	77

## せ

静止画/LV/動画切替ダイ ヤル	44
.....	44
静止画設定メニュー	22
セットアップメニュー	34
セルフタイマー	73
セルフタイマーランプ	9
セレクト (位相差AF)	60
セレクト (コントラストAF)	63
.....	63
セレクトエリア拡大 (位相 差AF)	60
.....	60
全画像消去	88
センサークリーニング	124
選択消去	86

## そ

ゾーンセレクト (位相差AF)	60
.....	60
ゾーンセレクト (コントラ ストAF)	63
.....	63
増減感	92
像面位置マーク	9
測距位置拡大	109
測距点	61
測距点と露出の関連付け	59
.....	59
測距点レバー	61
測距不能時の動作	61
測光作動時間	17
測光モード	59
外付けフラッシュ	119
ソフト (デジタルフィル ター)	91
.....	91
ソリッドモノカラー (デジ タルフィルター)	79, 91

## た

ダイナミックレンジ	80
ダイナミックレンジ補正	80
.....	80
タイマー露光	53
ダイヤル	10
ダイヤル指標	44
太陽光 (ホワイトバランス)	74
.....	74
ダイレクトキー	18
多重露出	70
ダストリムーバル	123
タッチ時の画像送り効果	85
.....	85
タッチパネル操作	15
縦位置	13

## ち

中央重点測光	59
--------	----

昼光色蛍光灯 (ホワイトバ ランス)	74
.....	74
昼白色蛍光灯 (ホワイトバ ランス)	74
.....	74
長秒時ノイズ低減	52
著作権者名	114
著作権情報	114
洗胴式レンズ	46

## つ

追尾 (コントラストAF)	63
.....	63

## て

ディストーション補正	81
.....	81
低速限界オートの動作	57
低速限界シャッター速度	57
.....	57
低速限界の指定方法	57
テザー撮影	98
デジタルフィルター	79, 91
デジタルレビュー	65
手ぶれ補正	83
電球色蛍光灯 (ホワイトバ ランス)	74
.....	74
電源	42
電子音	110
電子水準器	18
電子水準器の種類	107, 108
電子ダイヤル	104
転送	90
天体撮影	121

## と

トイカメラ (デジタルフィ ルター)	79, 91
.....	79, 91
動画切出し	96
動画記録中のタッチAF	55
動画設定メニュー	25
動画分割	96
動画編集	96

動画モード	54
.....	54
動画モード時のAF	64
動作環境	130
等倍表示	47
ドライブモード	66
ドラマチックアート (デジ タルフィルター)	79, 91
トリミング	94
曇天 (ホワイトバランス)	74
.....	74

## な

ナチュラル (カスタムイ メージ)	78
----------------------	----

## に

日時設定	43
------	----

## ね

ネガポジ反転 (デジタル フィルター)	79, 91
------------------------	--------

## の

ノイズリダクション	52, 58
-----------	--------

## は

バージョン情報	36
ハードモノクローム (デジ タルフィルター)	79, 91
.....	79, 91
ハイコントラスト (デジタ ルフィルター)	79, 91
.....	79, 91
配色設定	43, 108
ハイパープログラム	52
ハイパーマニュアル	52
ハイライト重点測光	59
ハイライト補正	80
倍率色収差補正	81
白色蛍光灯 (ホワイトバラ ンス)	74
.....	74
白熱灯 (ホワイトバランス)	74
.....	74
白熱灯下のオートWB	75

パソコン.....	97	フォーマット.....	43	ほのか(カスタムイメージ).....	78	モードダイヤルロックボタン.....	44
肌色補正.....	83	フォルダー新規作成.....	111	ボリュームラベル.....	73	モードメモリ.....	111
バッテリー.....	38	フォルダー表示.....	87	ホワイトバランス.....	44	モアレ低減.....	82
バッテリーグリップ.....	39	フォルダー名.....	112	ホワイトバランス補正.....	95	文字入力.....	100
バッテリーグリップ設定.....	39, 40	複数画像表示.....	85	<b>ま</b>		モノトーン(カスタムイメージ).....	78
バッテリーグリップ接点.....	9	付属ソフトウェア.....	130	マイク.....	9, 56	モノトーン(デジタルフィルター).....	91
バッファRAW保存.....	47	縁取り(デジタルフィルター).....	91	マウント指標.....	9, 37	<b>5</b>	
バルブ撮影.....	53	ブラケット撮影.....	67	マウント名称.....	117	ライブビュー.....	12, 108
バルブ露出.....	50	ブラケット撮影順.....	67	マニュアルWB登録.....	76	ライブビュー撮影.....	46
<b>ひ</b>		フラッシュ.....	77, 119	マニュアルフォーカス.....	59	ライブビュー撮影時AF.....	62
日陰(ホワイトバランス).....	74	フラッシュ同調速度.....	50	マニュアルホワイトバランス.....	76	<b>b</b>	
ピクセルマッピング.....	123	フラッシュモード.....	77	マニュアル露出.....	50	リアルレゾリューションシステム.....	82
被写界深度.....	65	フラット(カスタムイメージ).....	78	マルチパターンオート(ホワイトバランス).....	74	リサイクル.....	39
被写界深度ブラケット.....	68	フリッカー低減.....	108	<b>み</b>		リサイズ.....	93
被写体認識.....	62	フリンジ補正.....	92	ミニチュア(デジタルフィルター).....	91	リセット.....	21
表示切り替え.....	14	フレームレート.....	49	雅(MIYABI)(カスタムイメージ).....	78	リバーサルフィルム(カスタムイメージ).....	78
表示パネル.....	16, 108	プレビュー.....	65	ミラー.....	9	リモコン.....	73
<b>ふ</b>		プレビュー方式.....	65	ミラーアップ.....	69	リモコン撮影時のAF.....	74
ファイル形式.....	48	プログラムAE.....	50	ミラーアップ撮影.....	69	リモコン受光部.....	9
ファイル名.....	113	プログラムライン.....	52	ミレッド.....	76	粒状感モノクローム(デジタルフィルター).....	79, 91
ファインダー.....	16	プロテクト.....	89	<b>む</b>		<b>れ</b>	
ファインダー撮影.....	44	分割測光.....	59	無線LAN.....	99	レトロ(デジタルフィルター).....	79, 91
ファインダー撮影時AF.....	60	分割表示.....	47, 85	<b>め</b>		レバー.....	10
ファインダースクリーン.....	107	<b>へ</b>		明瞭度.....	83	レベル補正.....	94
ファインダー内照明.....	107	ベースメイク(デジタルフィルター).....	91	メニュー.....	20	レンズ.....	37, 116
ファインダー内表示.....	17, 107	ヘッドホン.....	56	メニュー選択位置保持.....	21	レンズ焦点距離.....	119
フィッシュアイ(デジタルフィルター).....	91	ヘッドホン音量.....	49	メモリーカード.....	41	レンズ情報接点.....	9
フィルター.....	79, 91	編集.....	91	<b>も</b>		レンズ取り外しボタン.....	37
風景(カスタムイメージ).....	78	<b>ほ</b>		モーションブラケット.....	69	レンズ補正.....	81
フォーカスアシスト.....	64	保護.....	89	モードダイヤル.....	44	連続撮影.....	67
フォーカスモード.....	59	補正.....	80	モードダイヤルロック解除レバー.....	45	連動外の自動補正.....	23, 51
フォーカスモード切替レバー.....	44, 59	ボタン.....	10				
		ホットシュー.....	77				
		ポップチューン(カスタムイメージ).....	78				



連番設定 .....	113
連番リセット .....	113

## ろ

ローパスセクター .....	82
ローパスフィルター .....	82
録音レベル .....	49
露出再現ライブビュー ....	51
露出設定ステップ .....	51
露出補正 .....	54
露出モード .....	50

## わ

ワンタッチRAW+ .....	103
ワンプッシュ +/-初期化 .....	54
ワンプッシュ ISOオート .....	57
ワンプッシュブラケット .....	67

## 取り扱い上の注意

### お使いになる前に

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

### バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。

### 持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでぐるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は-10～40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因となります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

### お手入れについて

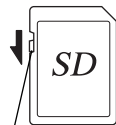
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブローアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。（有料）
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

### 保管について

- 防錆剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

### SDメモリーカードについて

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなる場合があります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
  4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき



- ・長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなる場合があります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようしてください。
- ・SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- ・未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- ・フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・SDメモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

## 商標について

- ・Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  - ・Mac、macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
  - ・iOSの商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
  - ・Intel、Intel CoreはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
  - ・SDXCロゴは、SD-3C、LLCの商標です。
  - ・Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社リコーはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
  - ・USB Type-C はUSB Implementers Forumの商標です。
  - ・この製品はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
  - ・DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
  - ・HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンシングの商標または登録商標です。
  - ・SILKYPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。
- その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

- ・本製品は株式会社リコーがデザイン制作したりコー RT Fontを使用しています。
  - ・本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching 対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
- PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

**HDMI**™  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

**SD**™  
**XC** II

**SILKYPIX**®

**DNG**™

## AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
  - (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること
- 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
- 詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。  
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

## オープンソースソフトウェアに関するお知らせ

本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェア (OSS) が含まれています。本製品に搭載される各OSSのライセンスについては、本製品の内蔵メモリー上にテキストデータとして保存してあります。本製品をPCと接続した上で、[oss\_license] フォルダ内の各テキストファイルのライセンス規定をご参照ください。

なお、GPL、LGPL等のライセンス条件に従い、本製品で利用しているOSSのソースコードを開示しております。入手をご希望されるお客様は、次のURLにアクセスしてください。

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/products/oss/>

## BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件に基づき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term

Copyright (C) 1994-1998 T. Teranishi

(C) 2004-2018 TeraTerm Project

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店が使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口へ直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中〔ご購入後 1 年間〕は、保証書〔販売店印および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
  - ・ 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
  - ・ 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
  - ・ 火災・天災・地変等による故障
  - ・ 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
  - ・ 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
  - ・ お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。



**フォトスクール・写真クラブのご案内** <http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/>

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧いただくか、ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

## ***Pentax Ricoh Family Club***

### **ペンタックスリコーファミリークラブ事務局**

TEL 0570-006371

FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）

営業時間 10：30～18：30（火・水曜日、弊社休業日、ビル施設点検日を除く）

### **リコーイメージングオンラインストア**

<https://ricohimagingstore.com/>

製品はもちろん、純正アクセサリや各種オリジナルグッズを販売しています。

### **ショールーム・ギャラリーのご案内**

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/>

#### **リコーイメージングスクエア東京（修理受付可）**

TEL（ナビダイヤル）0570-006371

FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）

営業時間 10：30～18：30（火・水曜日、弊社休業日、ビル施設点検日を除く）

#### **リコーイメージングスクエア大阪（修理受付可）**

TEL（ナビダイヤル）0570-007996

FAX 06-6949-1330

〒540-6591 大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル1階

営業時間 10：30～18：30（火・水曜日、弊社休業日、ビル施設点検日を除く）

#### **ユーザー登録のお願い**

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。  
当社ホームページから登録が可能です。

## お客様相談センター

営業時間 10:00～17:00

※ 日曜日、年末年始、弊社休業日、ビル施設点検日は休業

**ナビダイヤル 0570-001313**

(市内通話料金でご利用いただけます。)

## 修理受付

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html>

### ピックアップリペアサービス申し込み

営業時間 10:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

※ このサービスは日本全国どこからでも電話一本で弊社指定の宅配業者が梱包資材を持って伺いし、故障した製品を梱包してお預かりのうえ、弊社修理拠点まで安全にお届けするサービス(無料)です。  
インターネットからもお申し込みいただけます。

[http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair\\_entry-j.html](http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html)

**ナビダイヤル 0570-001301**

(市内通話料金でご利用いただけます。)

### 修理お問い合わせ窓口

営業時間 10:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

**ナビダイヤル 0570-005140**

(市内通話料金でご利用いただけます。)

**FAX 03-3775-8548**

※ 都道府県別の修理品のご送付またはお持ち込み先につきましては、弊社ホームページでご確認いただけます。

[http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair\\_entry-j.html](http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html)

リコーイメージング株式会社

〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6



\* 4 R E 2 Z O 2 1 \*

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。  
51552

R02DTC21

Printed in Philippines